

第3節 区有施設の類型別実態把握

本節では、施設規模や施設配置、利用状況や管理運営にかかるコストなど、区有施設の実態を把握します。本施設白書では、以下に示す中分類ごと24類型に分けて、データをまとめています（データの見方については、第2節「類型別実態把握の見方と分析手法」を参照してください）。

大分類	中分類	項目No.	掲載ページ
1. 行政系施設	(1) 庁舎等	1	41～53
	(2) 防災関係施設	2	54～58
	(3) 区民等利用施設	3	59～64
2. 市民文化系施設	(1) 地域センター	4	65～73
	(2) ホール	5	74～80
3. 保健・福祉施設	(1) 高齢者活動・交流施設	6	81～91
	(2) 高齢者福祉施設	7	92～96
	(3) 障害者福祉施設	8	97～100
	(4) その他福祉施設	9	101～103
4. 子育て支援施設	(1) 保育園	10	104～111
	(2) 子ども園	11	112～119
	(3) 幼稚園	12	120～128
	(4) 児童館等	13	129～139
5. 学校教育系施設	(1) 小学校	14	140～151
	(2) 中学校	15	152～159
	(3) 特別支援学校	16	160～162
6. 社会教育系施設	(1) 図書館	17	163～172
	(2) 博物館・記念館	18	173～179
	(3) 生涯学習施設	19	180～186
7. スポーツ・レクリエーション系施設	(1) スポーツ施設	20	187～193
	(2) 保養施設等	21	194～200
8. 公営住宅		22	201～210
9. 貸付施設等		23	211～215
10. その他施設		24	216～220

1 行政系施設／庁舎等

(1) 施設概要

庁舎等としては、本庁舎、分庁舎、特別出張所（10 所）のほか、工事事務所・公園事務所（2 所）、清掃関連施設（4 所）、保健センター（4 所）、産業会館、教育センターなどがあります。

図表 2-3-1-(1)-1 庁舎等の施設概要

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
本庁舎・分庁舎等						
本庁舎	歌舞伎町一丁目 4 番 1 号	22,389	昭和 41	SRC		
第一分庁舎	歌舞伎町一丁目 5 番 1 号	2,821	平成 3	SRC		
第二分庁舎	新宿五丁目 18 番 21 号	4,353	平成 15	S		延床面積には、第二分 庁舎分館・倉庫・駐輪 場等を含む
特別出張所						
四谷特別出張所	内藤町 87 番地	4,965	平成 8	SRC	四谷地域センター・四谷 区民ホール・四谷図書館	建物は東京都水道局と 区分所有
笹塚特別出張所	笹塚町 15 番地	2,366	平成 3	SRC	牛込笹塚地域センター・ 牛込笹塚区民ホール	
榎町特別出張所	早稲田町 85 番地	427	平成 13	RC	榎町地域センター	
若松町特別出張所	若松町 12 番 6 号	1,161	平成 7	RC	若松地域センター	
大久保特別出張所	大久保二丁目 12 番 7 号	759	平成 5	SRC	大久保地域センター・大 久保図書館	土地は厚生労働省から 賃貸借契約により借用、 建物は区分所有
戸塚特別出張所	高田馬場二丁目 18 番 1 号	1,849	平成 21	S	戸塚地域センター	土地の一部(29 ㎡)を 鉄道事業者から使用賃 借により借用
落合第一特別出張所	下落合四丁目 6 番 7 号	1,518	平成 8	RC	落合第一地域センター・ 落合保健センター	
落合第二特別出張所	中落合四丁目 17 番 13 号	752	平成 18	RC	落合第二地域センター	土地は個人から賃貸借 契約により借用
柏木特別出張所	北新宿二丁目 3 番 7 号	702	平成 6	RC	柏木地域センター・柏木 子ども園(乳児園舎)・北 新宿第一児童館・北新 宿地域交流館	
角筈特別出張所	西新宿四丁目 33 番 7 号	2,012	平成元	SRC	角筈地域センター・角筈 区民ホール・角筈図書館	
工事事務所・公園事務所						
東部工事事務所・東 部公園事務所	市谷仲之町 2 番 42 号	854	平成 7	SRC	防災センター	
西部工事事務所・西 部公園事務所	下落合一丁目 9 番 8 号	平成 25 年 10 月から仮施設移転中(西部公園事務所→小滝橋地域防災活動拠 点、西部工事事務所→新宿清掃事務所) 新施設(下落合図書館及び西部工事事務所・西部公園事務所の複合施設)は、平 成 29 年 1 月～3 月頃に開設予定				

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
清掃関連施設						
新宿清掃事務所	下落合二丁目 1 番 1 号	7,644	平成 5	RC		25 年 10 月から施設の一部を西部工事事務所の仮施設として使用
新宿東清掃センター	三栄町 25 番地	1,748	平成 25	S	四谷保健センター	
歌舞伎町清掃センター	歌舞伎町二丁目 42 番 7 号	779	昭和 43	RC		
新宿中継・資源センター	大久保三丁目 7 番 42 号	5,789	平成 8	SRC	大久保スポーツプラザ	
保健センター						
四谷保健センター	三栄町 25 番地	3,379	平成 25	S	新宿東清掃センター	延床面積は訪問看護ステーション及び集会施設(集会室、多目的室)分を含む
牛込保健センター	弁天町 50 番地	1,450	昭和 50	RC	弁天町保育園・新宿生活実習所	
東新宿保健センター	新宿七丁目 26 番 4 号	1,884	平成 26	S	新宿区医師会区民健康センター	平成 26 年 6 月 30 日開設
落合保健センター	下落合四丁目 6 番 7 号	1,099	平成 8	RC	落合第一特別出張所・落合第一地域センター	落合第一特別出張所が光熱水費・施設管理経費を支出
その他						
産業会館	西新宿六丁目 8 番 2 号	3,266	平成 14	SRC		新宿オークシティ内
教育センター	大久保三丁目 1 番 2 号	4,158	平成 4	SRC	新宿コズミックスポーツセンター	
健康部分室	西新宿七丁目 5 番 8 号	1,733	昭和 46	RC		旧西新宿保健センター(平成 26 年 6 月まで)
地域福祉課高田馬場一丁目事務所	高田馬場一丁目 17 番 20 号	1,357	昭和 52	RC		社会福祉法人新宿区社会福祉協議会の事務所等として利用
地域文化部新宿七丁目事務所(しごと棟)	新宿七丁目 3 番 29 号	2,998	平成 22	RC	子ども総合センター	公益財団法人勤労者・仕事支援センター、公益社団法人新宿区シルバー人材センターの事務所等として利用

図表 2-3-1-(1)-2 主な施設の概況

主な施設	開館日時等	設置目的等
本庁舎・分庁舎	月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00(毎週火曜日は一部の窓口で 19:00 まで) 毎月第 4 日曜日は休日窓口を開設	区が行政運営を行うための施設です。なお、本庁舎内に新宿区議会があるほか、第二分庁舎内には社会福祉法に基づく福祉事務所、地域保健法に基づく保健所、消費者安全法に基づく消費生活センターが設置されています。
特別出張所	月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00(毎週火曜日は 19:00 まで)	区内 10 地域に 1 所ずつ設置しており、地域のミニ区役所として各種窓口サービスのほかコミュニティに関する業務を行っています。平成元年度～平成 21 年度にかけて全特別出張所の建替えを行い、地域コミュニティの核となる施設として地域センターなどを併設しています。
工事事務所・公園事務所	月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00	工事事務所は道路・橋りょうの維持管理などを、公園事務所は公園・公衆便所の維持管理などを行っています。
清掃関連施設	月～土曜日(年末年始を除く) 7:40～16:25	資源回収や廃棄物の収集・運搬・処分のほか、ごみの減量・リサイクルの普及啓発など清掃に関するさまざまな事業を行っています。
保健センター	月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00	地域の保健活動の拠点として区民の健康の保持・増進を図るため、健康相談、保健指導、健康診査などに関する事業を行っています。
産業会館	9:00～19:00(貸施設利用は 22:00 まで) 休館日: 第 2 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始	産業・商業の従事者が主体的に学習しながら相互交流する場と機会を提供することにより、経営改革や新産業の創出を促す中小企業支援の拠点として設置した施設です。
教育センター	月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00	教職員の研修や教育に関する調査研究など、新宿区における教育の振興、充実を図る施設です。

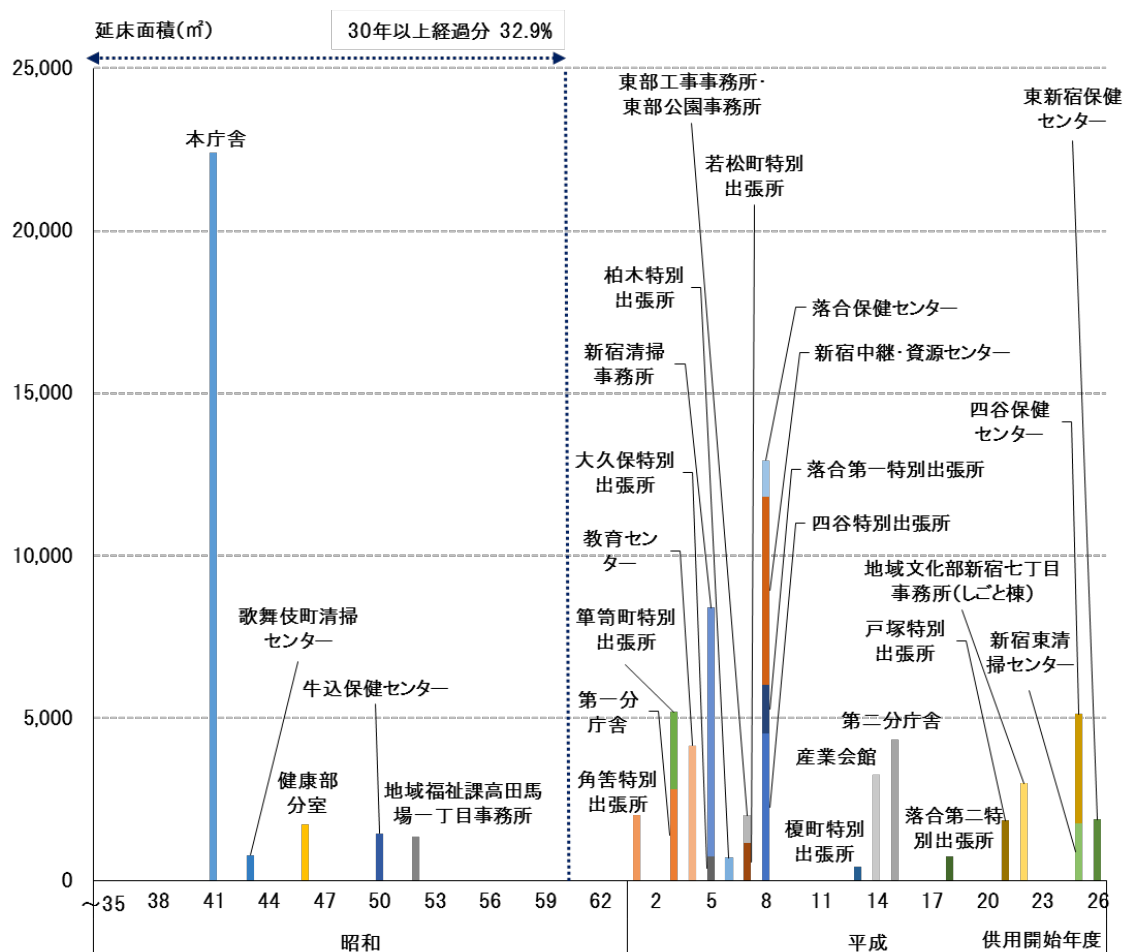
(2) 老朽化度

30 年以上経過した庁舎等の割合は、延床面積ベースで 32.9%と老朽化度は低くなっています。平成元年度以降に整備された施設が多いことが理由です。

ただし、昭和 41 年度に建設された本庁舎については、「所要の耐震性に疑問あり」との診断結果を受け、平成 26 年から平成 27 年にかけて免震改修工事を実施しました。

また、特別出張所については、平成元年度から平成 8 年度に集中して整備されたことから、将来これらの施設が一斉に老朽化することが想定されます。

図表 2-3-1-(2) 庁舎等の供用開始年度別延床面積



【本庁舎の免震改修工事について】

本庁舎については、昭和 55 年の耐震診断では総合的にみて耐震性能があるとされてきましたが、東日本大震災を経てより高度の耐震性能が求められ、平成 23 年から平成 24 年にかけて改めて本庁舎の耐震診断を行いました。

耐震診断評価機関による評価を受けた診断結果として「所要の耐震性に疑問あり」とされ、大地震に遭遇した後も本庁舎が区の防災拠点としての機能を果たし継続して使用できるよう、免震改修と防災機能強化のための工事を実施しました。

本工事は平成 26 年 5 月に着手し、平成 27 年 11 月 20 日に完了しました。

【区有施設の耐震対策について】

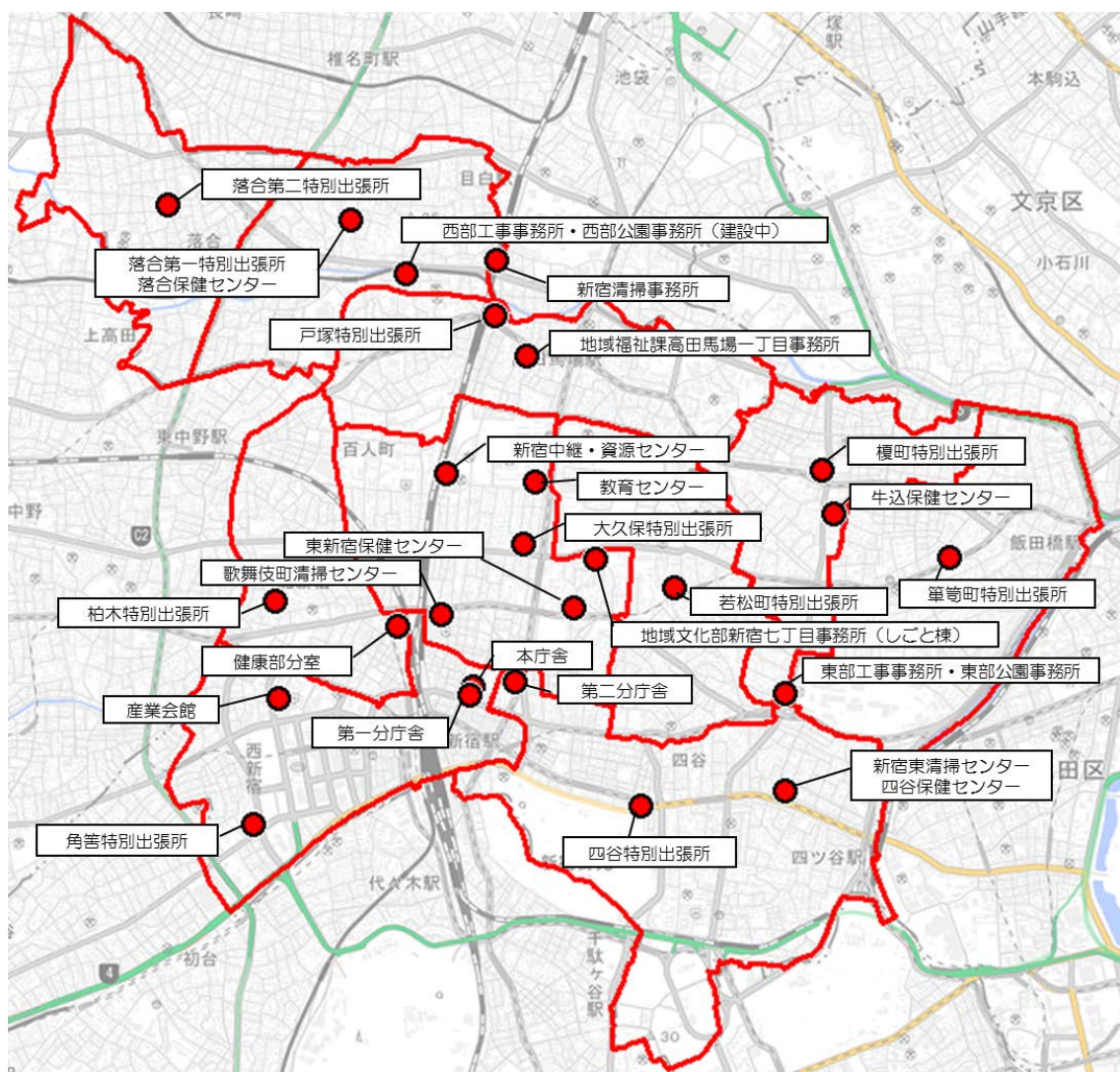
新宿区では、昭和 56 年以前に建築した区有施設について、平成 16 年度までに耐震診断を実施しました。耐震診断の結果、第一次避難所（小・中学校）及び第二次避難所（児童館・ことぶき館等）などのうち耐震補強が必要とされた区有施設については、施設のあり方を検討している施設を除き、平成 19 年までに必要な工事等を完了しました。

その後、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を踏まえて、耐震未実施の区有施設についても、解体又は補強工事を行いました。

（３）施設配置状況

庁舎等の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-1-(3) 庁舎等の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

庁舎等では様々な公共サービスを提供しているほか、内部管理的な業務も多く担っており、全ての施設の利用状況データを定量的に把握することが困難であることから、ここでは、特別出張所の窓口サービスの取扱件数と産業会館の貸室実績を代表的な利用状況・運営状況としてみていきます。

①特別出張所の窓口サービス

図表 2-3-1-(4)-1 特別出張所の担当事務

項目	事務
(1)コミュニティに関する事務	ア 地域団体等及び各種委員等との連携に関すること。
	イ 地域の安全・安心の推進及び災害対策に関すること。
	ウ 地域の住民等との協働に関すること。
	エ 地域の情報の収集及び提供に関すること。
	オ 地域における広報及び広聴に関すること。
(2)窓口サービスに関する事務	ア 住民基本台帳に関すること。
	イ 印鑑登録に関すること。
	ウ 戸籍に関すること。
	エ 国民健康保険に関すること。
	オ 後期高齢者医療制度に関すること。
	カ その他各種事務に係る届出、申請等の受付及び諸証明等の発行に関すること。
	キ 収入金の収納に関すること。
	ク 区政全般にわたる総合的な相談及び案内その他区民生活に係る窓口サービスに関すること。
(3)区民ホール及び地域センターに関する事務 (区民ホールに関する事務は、四谷特別出張所、筆筥町特別出張所、角筥特別出張所のみ)	

上記の事務のうち、(2)の窓口サービスに係る取扱件数は下表のとおりです。

図表 2-3-1-(4)-2 特別出張所における窓口サービス※の取扱件数(平成 26 年度、単位:件)

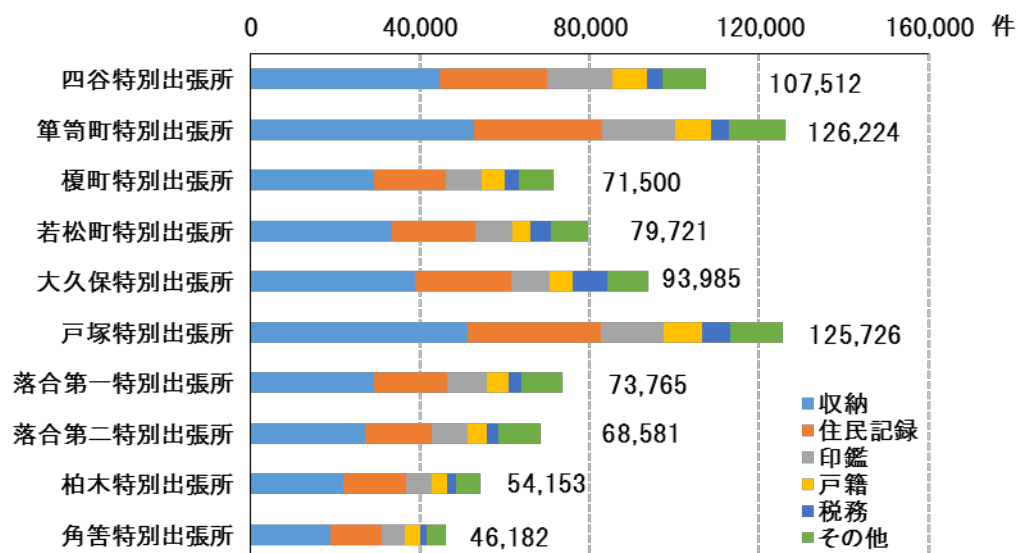
施設名	収納	住民記録	印鑑登録	戸籍	税務	その他	合計
四谷特別出張所	44,604	25,456	15,322	8,255	3,629	10,246	107,512
筆筥町特別出張所	52,931	30,075	17,135	8,625	4,224	13,234	126,224
榎町特別出張所	29,152	17,037	8,440	5,338	3,250	8,283	71,500
若松町特別出張所	33,370	19,597	8,936	4,295	4,614	8,909	79,721
大久保特別出張所	38,832	22,845	8,981	5,502	8,066	9,759	93,985
戸塚特別出張所	51,393	31,359	14,653	9,051	6,897	12,373	125,726
落合第一特別出張所	29,232	17,258	9,452	5,066	3,046	9,711	73,765
落合第二特別出張所	27,008	15,787	8,554	4,516	2,753	9,963	68,581
柏木特別出張所	22,101	14,546	6,138	3,609	2,025	5,734	54,153
角筥特別出張所	18,967	11,924	5,603	3,741	1,428	4,519	46,182

※窓口サービスの主な業務内容は次のとおりです。

収納	収入金の収納
住民記録	転入・転出・転居・世帯変更等の届出、住民票の写し・住民票記載事項証明書の交付など
印鑑登録	印鑑登録の届出、印鑑登録証明書の交付など
戸籍	出生・死亡・婚姻等の戸籍に関する届出、戸籍謄(抄)本・附票・身分証明書等の交付など
税務	特別区民税・都民税・軽自動車税の納入、税証明の交付など
その他	自動交付機の利用登録、国民年金の加入・脱退に関する届出、国民健康保険の加入・脱退に関する届出・保険料の納入、後期高齢者医療制度の資格・療養費等の申請・保険料の納入、母子健康手帳の発行、児童手当の申請、乳幼児医療証・子ども医療証の申請・医療費助成の申請、私立幼稚園保育料等補助金の申請、介護保険要介護(要支援)認定の申請・保険料の納入、つえの支給、ふれあい入浴証の交付など

窓口サービスの取扱件数の多い特別出張所上位 3 所をあげると、筆筈町特別出張所（126 千件）、戸塚特別出張所（126 千件）、四谷特別出張所（108 千件）の順となっています。

図表 2-3-1-(4)-3 特別出張所の施設別取扱件数(平成 26 年度)



②産業会館の貸室

産業会館では、多目的ホールや商談室、和室、研修室の一般貸出しを行っています。利用実績は下表のとおりです。

図表 2-3-1-(4)-4 産業会館の利用実績(平成 26 年度)

貸室	定員 (人)	利用件数 (件)	稼働率 (%)	利用者数 (人)	年間開館日 数	1 日利用可 能コマ数
多目的ホール	椅子あり 93 椅子なし 228	565	71.6	69,424	347 日	3 コマ
商談室	15	408	51.7	4,116		
和室	30	157	19.9	2,167		
研修室 A	96	561	71.1	35,529		
研修室 B	10	469	59.4	3,621		
研修室 C	19	494	62.6	6,261		
楽屋	—	74	9.4	1,253		
展示ホール	—	25	3.2	2,746		
合計	330.5	2,753	43.6	125,117		

③運営状況

庁舎等の職員配置は、次のとおりです。

本庁舎は庁舎管理業務及び宿日直事務のための職員を表記しており、本庁舎を除く次の施設では、運営業務を含めた全職員を表記しています。

特別出張所は、職員数合計で 13～17 人、うち常勤職員が 10～13 人となっています。

工事・公園事務所 2 施設には道路や公園管理を行う職員が合計 49 人、清掃施設 4 施設には廃棄物収集・中継事業を行う職員が合計 228 人配置されています。

保健センター4 施設にはそれぞれ 20 人前後の職員が配置されています。

産業会館には 28 人、教育センターには 4 人の職員が配置されています。

図表 2-3-1-(4)-5 庁舎等の職員配置(平成 26 年度、単位:人)

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
本庁舎・分庁舎					
本庁舎	6	4	0	0	10
第一分庁舎					
第二分庁舎					
特別出張所					
四谷特別出張所	13	1	1	1	16
筆筥町特別出張所	12	2	0	1	15
榎町特別出張所	10	2	0	1	13
若松町特別出張所	10	3	0	1	14
大久保特別出張所	12	2	0	1	15
戸塚特別出張所	13	3	0	1	17
落合第一特別出張所	11	2	0	1	14
落合第二特別出張所	11	2	0	1	14
柏木特別出張所	10	1	1	1	13
角筈特別出張所	10	2	0	1	13
土木・清掃関連施設					
東部工事事務所 ・東部公園事務所	18	3	1	0	22
西部工事事務所 ・西部公園事務所	24	3	0	0	27
新宿清掃事務所	94	17	1	0	112
新宿東清掃センター	52	5	0	0	57
歌舞伎町清掃センター	37	9	0	0	46
新宿中継・資源センター	9	3	1	0	13
保健センター					
四谷保健センター	18	2	1	1	22
牛込保健センター	18	2	1	0	21
東新宿保健センター	20.5	1	2	0	23.5
落合保健センター	12.5	3	2	0	17.5
産業会館・教育センター					
産業会館	14	2	1	11	28
教育センター	2	1	0	1	4

※他の施設等と兼務の職員が配置されている場合は、0.5 人で計上しています。

※産業会館については産業振興課産業振興係、教育センターについては教育支援課教育センター(係)の職員数を表記しています。

(5) コスト状況

庁舎等の行政コストをまとめると、下表のとおりです。平成 26 年度の年間費用：トータルコストは 68.8 億円です。費目では人件費が最大の 43 億円となっています。

図表 2-3-1-(5)-1 庁舎等の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	本庁舎	第一分庁舎	第二分庁舎	四谷 特別出張所	筆筈町 特別出張所	榎町 特別出張所
費用(トータルコスト)	614,284	92,992	92,070	454,143	240,938	146,276
人件費	69,742	0	0	125,434	118,095	99,983
光熱水費	91,353	9,057	14,949	71,583	19,693	7,189
施設管理経費	278,616	54,289	50,079	155,872	67,224	28,162
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	16,591	3,130	4,258	11,961	9,524	6,255
減価償却費	157,982	26,516	22,784	89,293	26,402	4,687
その他	0	0	0	0	0	0
収入	4,922	46	83	138,704	33,037	24
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0
その他	4,922	46	83	138,704	33,037	24
収支差額(ネットコスト)	609,362	92,946	91,986	315,439	207,900	146,252

※本庁舎及び分庁舎の人件費については、施設別に区分することができないため、本庁舎にまとめて計上しています。

※各特別出張所の光熱水費・施設管理経費には、それぞれ併設の地域センター、区民ホール、図書館及び保健センター分と、各建物全体の共用部分の光熱水費・施設管理経費が含まれています。

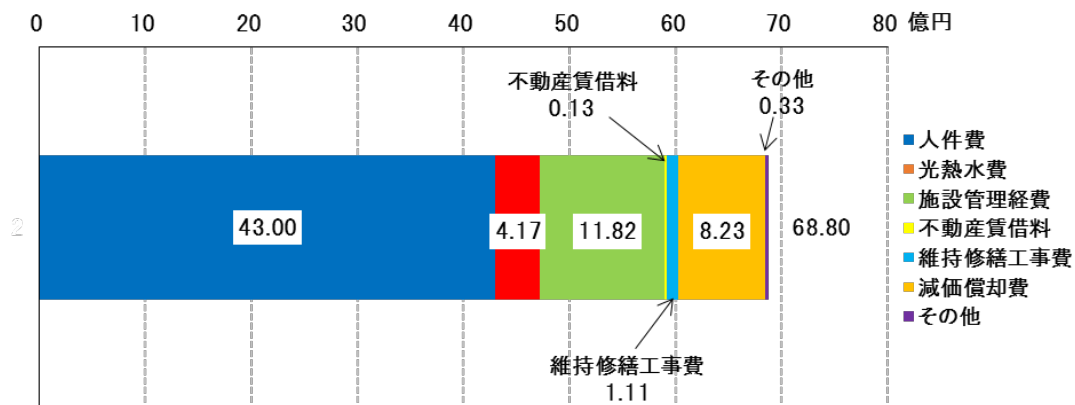
	若松町 特別出張所	大久保 特別出張所	戸塚 特別出張所	落合第一 特別出張所	落合第二 特別出張所	柏木 特別出張所
費用(トータルコスト)	165,273	188,453	197,589	186,398	161,766	180,512
人件費	104,013	117,857	130,932	108,920	108,920	98,665
光熱水費	9,809	11,614	9,557	14,124	5,931	18,429
施設管理経費	33,122	32,437	36,763	36,682	31,095	49,040
不動産賃借料	0	5,166	0	0	8,100	0
維持修繕工事費	2,099	3,720	336	9,590	1,137	3,177
減価償却費	16,230	17,659	20,001	17,082	6,582	11,200
その他	0	0	0	0	0	0
収入	19	119	146	73	30	46
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0
その他	19	119	146	73	30	46
収支差額(ネットコスト)	165,254	188,334	197,442	186,326	161,736	180,466

	角筈 特別出張所	東部工事事務所・東部公園事務所	西部工事事務所・西部公園事務所(建替中)	新宿清掃事務所	新宿東清掃センター	歌舞伎町清掃センター
費用(トータルコスト)	225,892	182,813	232,983	996,270	526,396	389,873
人件費	100,156	175,499	226,578	911,131	484,874	366,939
光熱水費	24,036	0	4,129	26,451	6,055	8,268
施設管理経費	65,489	194	2,277	14,818	11,247	4,240
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	8,060	0	0	6,707	805	1,003
減価償却費	28,151	7,119	0	37,162	23,414	9,423
その他	0	0	0	0	0	0
収入	25,924	0	0	489	110	116
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0
その他	25,924	0	0	489	110	116
収支差額(ネットコスト)	199,968	182,813	232,983	995,781	526,285	389,757

	新宿中継・資源センター	四谷保健センター	牛込保健センター	東新宿保健センター	落合保健センター	産業会館
費用(トータルコスト)	255,724	273,784	200,854	234,032	141,168	264,037
人件費	95,066	174,084	171,469	192,325	128,889	166,084
光熱水費	11,986	16,117	6,114	4,927	0	25,468
施設管理経費	36,729	38,335	9,327	11,705	0	43,091
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	19,407	0	1,030	313	360	826
減価償却費	92,537	45,248	12,915	24,763	11,920	28,568
その他	0	0	0	0	0	0
収入	71	2,863	0	2,406	0	0
利用料金等	0	2,863	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0
その他	71	0	0	2,406	0	0
収支差額(ネットコスト)	255,653	270,920	200,854	231,626	141,168	264,037

	教育センター	健康部分室	地域福祉課 高田馬場一丁目事務所	地域文化部 新宿七丁目事務所 (しごと棟)	合 計
費用(トータルコスト)	135,339	21,005	32,030	47,110	6,880,002
人件費	24,642	0	0	0	4,300,296
光熱水費	0	0	0	0	416,840
施設管理経費	66,533	0	0	24,691	1,182,057
不動産賃借料	0	0	0	0	13,266
維持修繕工事費	0	0	0	1,186	111,474
減価償却費	44,164	10,008	16,873	14,746	823,428
その他	0	10,997	15,158	6,487	32,642
収入	695	0	0	0	209,925
利用料金等	695	0	0	0	3,559
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	206,366
収支差額(ネットコスト)	134,643	21,005	32,030	47,110	6,670,077

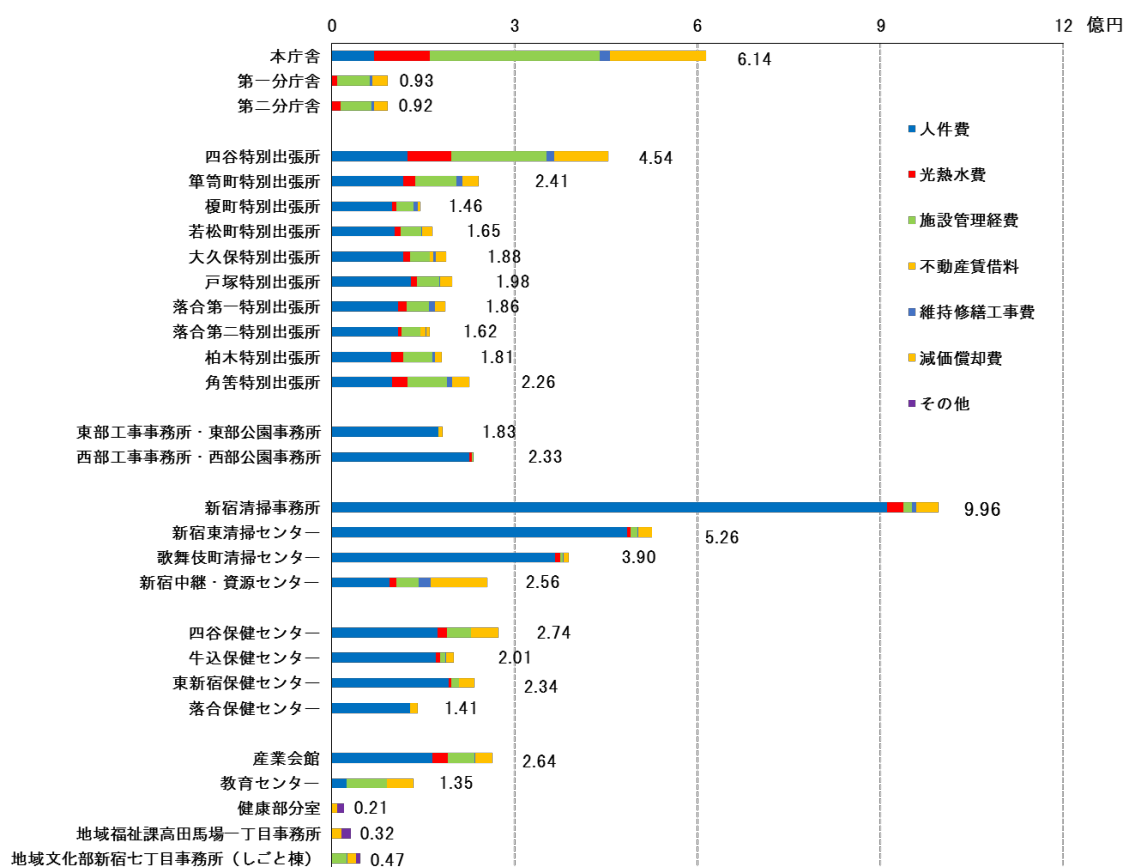
図表 2-3-1-(5)-2 庁舎等のトータルコスト(平成 26 年度)



コストの大きい施設は新宿清掃事務所 9.96 億円、本庁舎 6.14 億円などです。
新宿清掃事務所は職員数が多いことから、人件費が 9.11 億円となっており、コストの大部分を占めています。

特別出張所、保健センターは 1 施設あたりおおむね 2 億円前後です。

図表 2-3-1-(5)-3 庁舎等の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、庁舎等の中で比較可能な窓口サービスの取扱件数のデータがある特別出張所を対象として、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積 (㎡)、コストは年間費用：トータルコスト (円)、利用度は窓口サービスの取扱件数 (件) の合計の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積 (円／㎡)
- ② 施設規模当たり利用度：窓口サービスの取扱件数／延床面積 (件／㎡)
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／窓口サービスの取扱件数 (円／件)

の3つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-1-(6)-1 特別出張所の施設別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

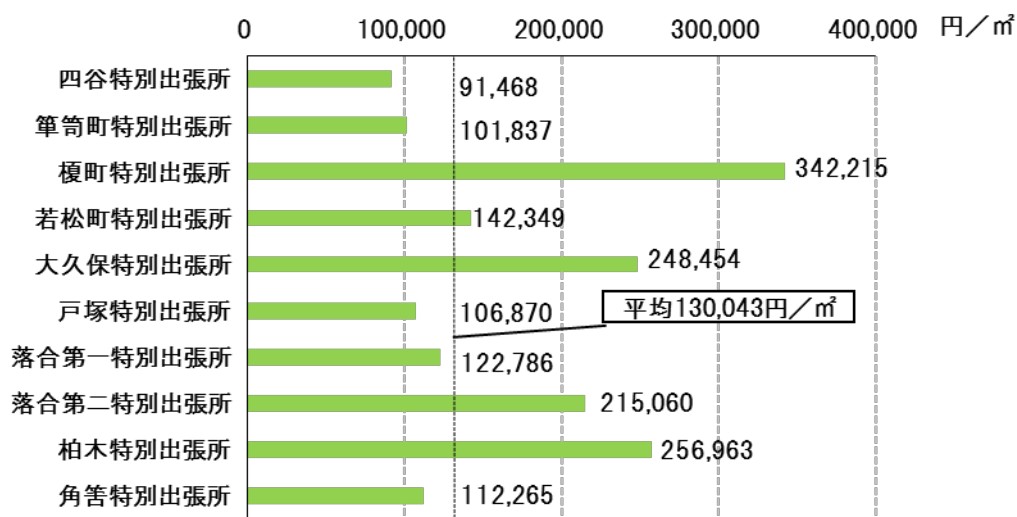
施設名	延床面積(㎡)	取扱件数(件)	費用(トータルコスト、千円)
四谷特別出張所	4,965	107,512	454,143
筆筈町特別出張所	2,366	126,224	240,938
榎町特別出張所	427	71,500	146,276
若松町特別出張所	1,161	79,721	165,273
大久保特別出張所	759	93,985	188,453
戸塚特別出張所	1,849	125,726	197,589
落合第一特別出張所	1,518	73,765	186,398
落合第二特別出張所	752	68,581	161,766
柏木特別出張所	702	54,153	180,512
角筈特別出張所	2,012	46,182	225,892

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト(円)} \div \text{延床面積(㎡)}$$

施設規模当たりコストの平均は 130,043 円/㎡です。施設によって差があり、もっとも高い榎町特別出張所は、もっとも低い四谷特別出張所の 3.7 倍となっています。

図表 2-3-1-(6)-2 特別出張所の施設別施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

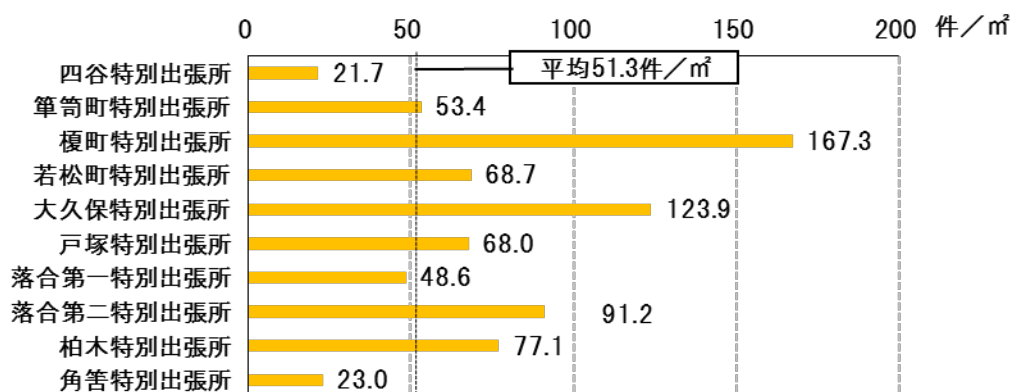


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{窓口サービスの取扱件数（件）} / \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は 51.3 件／㎡です。施設によって大きな差があり、もっとも高い榎町特別出張所は、もっとも低い四谷特別出張所の 7.7 倍となっています。

図表 2-3-1-(6)-3 特別出張所の施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

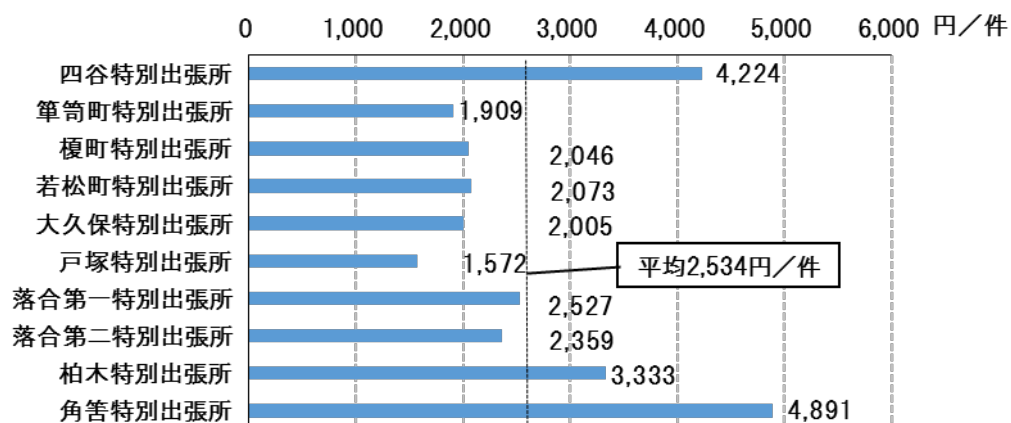


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} / \text{窓口サービスの取扱件数（件）}$$

利用度当たりコストの平均は 2,534 円／件です。施設によって差があり、もっとも高い角筈特別出張所は、もっとも低い戸塚特別出張所の 3.1 倍となっています。

図表 2-3-1-(6)-4 特別出張所の利用度当たりコスト(平成 26 年度)

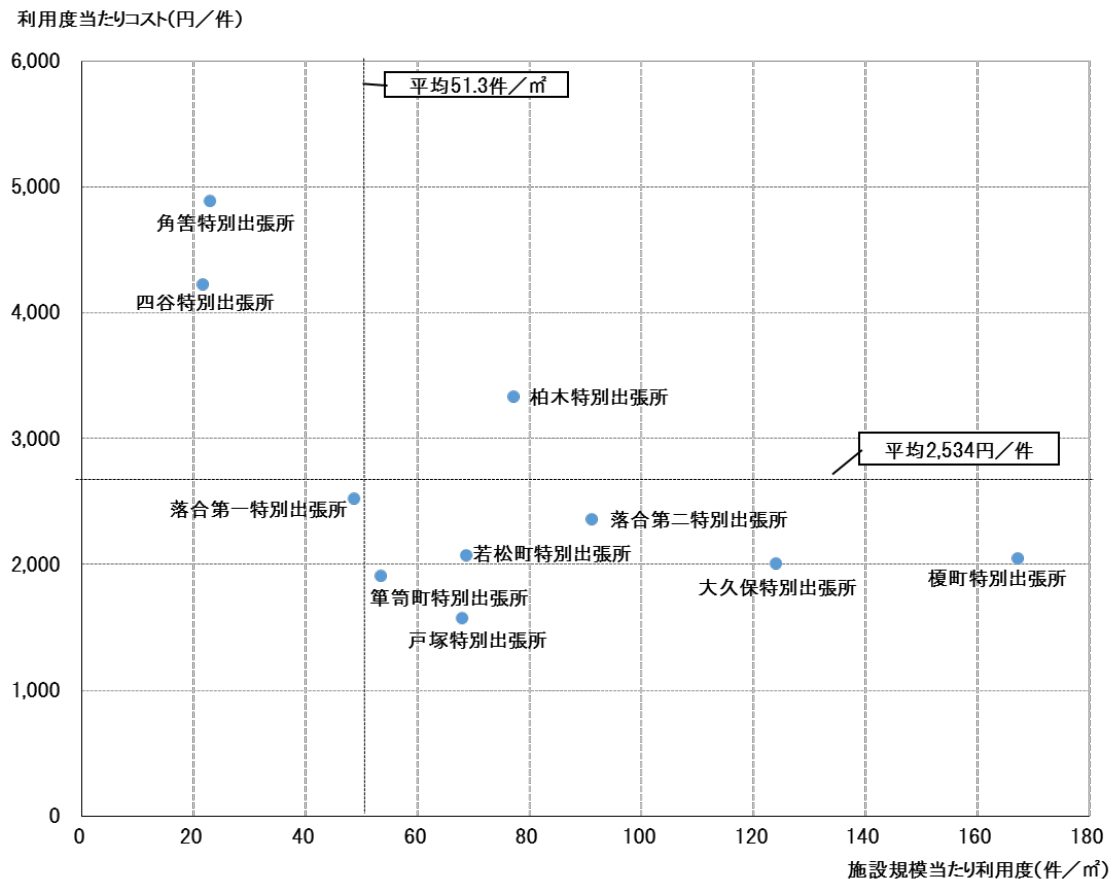


④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には榎町特別出張所、大久保特別出張所などが属しています。施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には角筈特別出張所、四谷特別出張所が属しています。

図表 2-3-1-(6)-5

特別出張所の施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況(平成 26 年度)



【庁舎等のまとめ】

- 庁舎等には、本庁舎・分庁舎、特別出張所(10)、土木・清掃関連施設(6)、保健センター(4)、教育センター、産業会館等があります。
- 30 年以上経過した庁舎等の割合は延床面積ベースで 32.9%と老朽化度は低くなっています。平成元年度以降に整備された施設が多いことが理由です。昭和 41 年度に建設された本庁舎は、平成 26 年から平成 27 年にかけて免震改修工事を実施しました。
- 年間トータルコストは 68.80 億円です。コストの大きいものは新宿清掃事務所 9.96 億円、本庁舎 6.14 億円などです。
- 統一した利用度が把握できる窓口サービスの取扱件数により特別出張所のコスト分析を行うと、施設規模当たり利用度（取扱件数）の平均は 51.3 件/㎡で、利用度（取扱件数）当たりコストの平均は 2,534 円/件となっています。

2 行政系施設／防災関係施設

(1) 施設概要

防災関係施設としては、防災センター、防災活動拠点、職員防災住宅、多目的環境防災広場及び備蓄倉庫があります。

図表 2-3-2-(1)-1 防災関係施設の設置目的

施設名	設置目的等
防災センター	災害時に備えて本庁舎のバックアップ機能(新宿区災害情報支援システム等)をもった施設であり、災害時に本庁舎が機能しなくなった場合に活動司令の拠点となります。平常時は防災思想の普及・啓発の拠点として各種事業を行っています。
防災活動拠点	災害時は応急活動拠点としての役割を担い、平常時には防災講習及び防災訓練の場として活用しています。
職員防災住宅	災害対策要員を確保するために設置した職員住宅です。住戸数は、4か所で計42戸となっています。入居した職員は、災害対策要員及び危機管理課兼務職員となります。
多目的環境防災広場	地域の防災活動とリサイクル活動の拠点として、消防団用倉庫、防災区民組織の資器材倉庫、リサイクル用のストックヤード及び防火貯水槽などを設置しています。
備蓄倉庫	備蓄倉庫には「避難所倉庫」と「区備蓄倉庫」があります。 避難所倉庫は原則として各避難所(50カ所)内にあり、避難者の1日分の食糧、生活用品、避難所運営用資材など、避難所生活に最低限必要な物資を保管している倉庫です。 区備蓄倉庫は、発災後2日目以降に避難所へ追加供給する物資を保管する倉庫であり、平成27年3月現在で37か所あります。食糧、トイレ用品、毛布などを配備しています。 なお、設置形態としては、①独立した施設として設置、②他の施設との併設、③区有施設内に設置、④民間施設の一部を使用貸借契約により借用、などがあります。本施設白書では、このうち①と②に該当する区備蓄倉庫6か所及び避難所倉庫2か所を対象としています。

図表 2-3-2-(1)-2 防災関係施設の施設概要

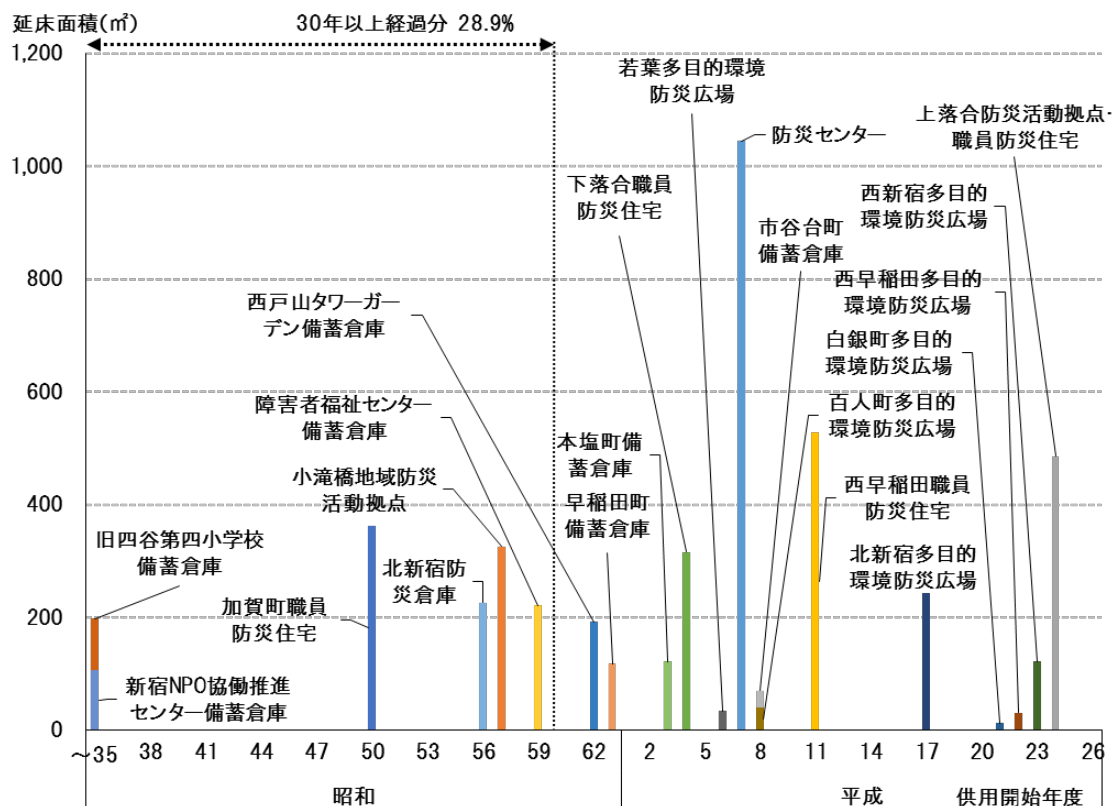
施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
防災センター	市谷仲之町2番42号	1,045	平成7	SRC	東部工事事務所・東部公園事務所	
小滝橋地域防災活動拠点	高田馬場三丁目46番14号	326	昭和57	RC		平成25年10月から2階部分を西部公園事務所仮施設として使用
上落合防災活動拠点・職員防災住宅	上落合二丁目26番4号	486	平成24	RC		単身用6戸
西早稲田職員防災住宅	西早稲田二丁目17番23号	529	平成11	RC		単身用12戸、世帯用1戸
加賀町職員防災住宅	市谷加賀町二丁目1番13号	362	昭和50	RC		単身用12戸
下落合職員防災住宅	下落合三丁目9番5号	316	平成4	S		単身用10戸、世帯用1戸
白銀町多目的環境防災広場	白銀町1番7号	12	平成21	S		
西早稲田多目的環境防災広場	西早稲田二丁目16番10号	31	平成22	S		
若葉多目的環境防災広場	若葉二丁目5番2号	34	平成6	S		都市整備用地内、延床面積は同用地内の防災倉庫を含みます
百人町多目的環境防災広場	百人町三丁目8番10号	40	平成8	S		
北新宿多目的環境防災広場	北新宿一丁目25番22号	243	平成17	S		

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
西新宿多目的環境 防災広場	西新宿八丁目 16 番1号 新宿グランド ウイング202	83	平成 23	SRC		
北新宿防災倉庫	北新宿三丁目 20 番 2 号	226	昭和 56	RC	北新宿第二地域交流館・ 北新宿子ども園・北新宿 子ども家庭支援センター・ 北新宿図書館・北新宿生 涯学習館	区備蓄倉庫
早稲田町備蓄倉庫	早稲田町 68 番 5 号	118	昭和 63	RC		区備蓄倉庫
市谷台町備蓄倉庫	市谷台町 15 番 2 号	30	平成 8	S		区備蓄倉庫
障害者福祉センター 備蓄倉庫	戸山一丁目 22 番	222	昭和 59	RC	障害者福祉センター・ 新宿福祉作業所	区備蓄倉庫
本塩町備蓄倉庫	本塩町 8 番地	122	平成 3	RC	本塩町児童館・本塩町 地域交流館	区備蓄倉庫
西戸山タワーガーデン 備蓄倉庫	百人町三丁目 1 番 2 号	192	昭和 62	RC		区備蓄倉庫 東京グローブ座内
旧四谷第四小学校 備蓄倉庫	四谷四丁目 20 番 地	92	昭和 10	RC	四谷ひろば	避難所倉庫
新宿 NPO 協働推進 センター備蓄倉庫	高田馬場四丁目 36 番 12 号	106	昭和 32	RC	新宿 NPO 協働推進セン ター・私立子ども園・高田 馬場自転車保管場所	避難所倉庫

(2) 老朽化度

30 年以上経過した防災関係施設の割合は、延床面積ベースで 28.9%と老朽化度は低くなっています。比較的大規模な防災センター等が平成年代に整備されたことが理由です。

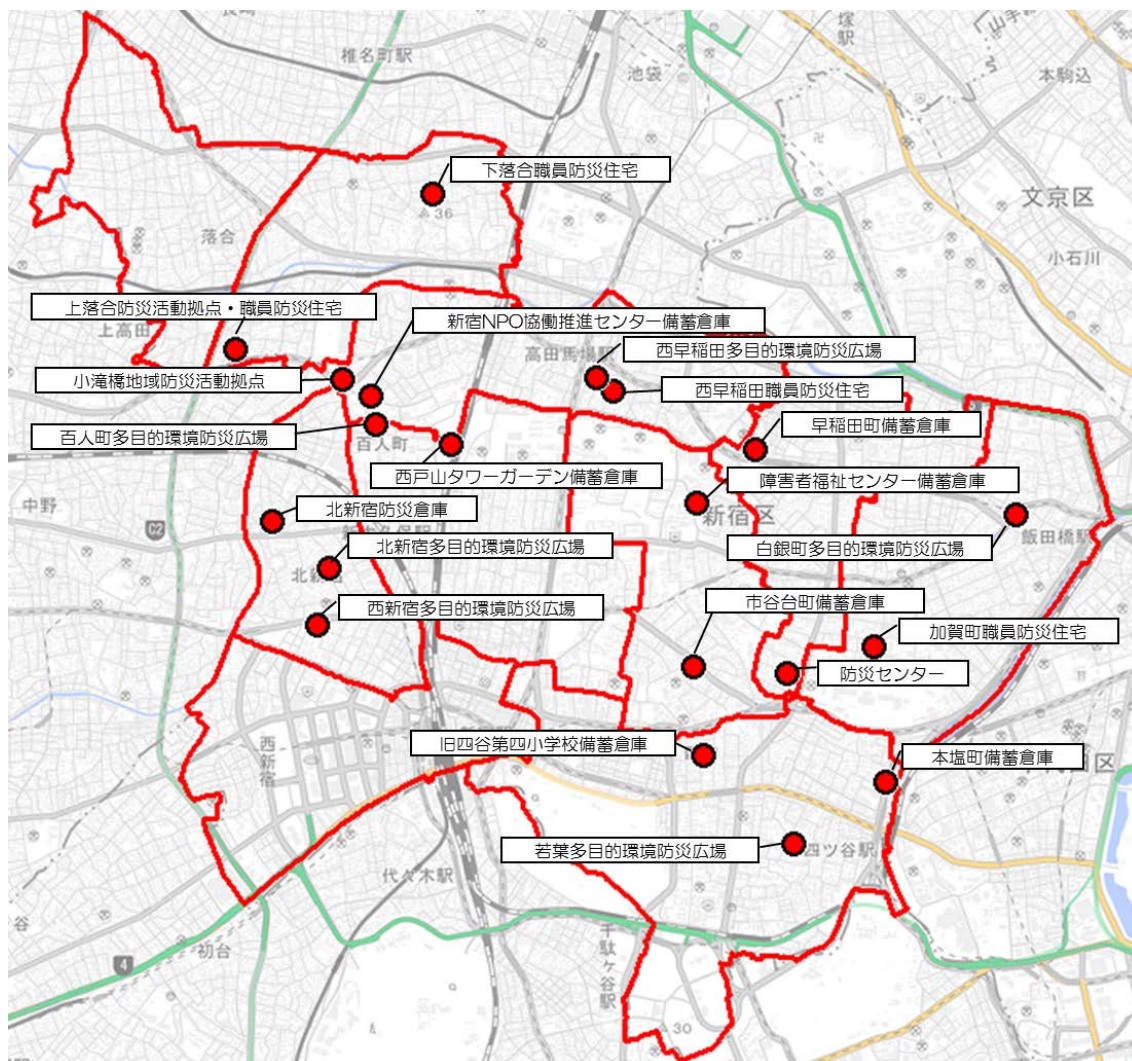
図表 2-3-2-(2) 防災関係施設の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

防災関係施設の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-2-(3) 防災関係施設の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

防災関係施設は、不特定多数の方が利用する施設ではないため、利用者数などのデータはありません。

職員配置については、防災センターが非常勤職員を配置しているほかは、職員が常駐する施設はありません。

図表 2-3-2-(4) 防災関係施設の職員配置(平成 26 年度、単位:人)

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
防災センター	0	0	0	6	6

(5) コスト状況

平成 26 年度の年間費用：トータルコストは 7,700 万円となっています。費目では減価償却費が 3,767 万円、人件費が 1,653 万円です。

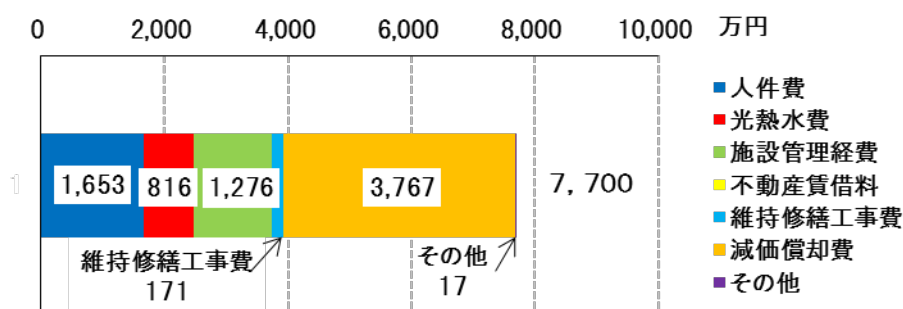
図表 2-3-2-(5)-1 防災関係施設の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位：千円)

	防災センター	小滝橋地域防災活動拠点	上落合防災活動拠点・職員防災住宅	西早稲田職員防災住宅	加賀町職員防災住宅	下落合職員防災住宅	白銀町多目的環境防災広場
費用(トータルコスト)	44,181	8,083	5,159	5,055	2,472	3,854	236
人件費	16,529	0	0	0	0	0	0
光熱水費	6,479	1,190	131	0	0	0	10
施設管理経費	9,690	1,349	510	396	108	241	51
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	818	0	259	280	41	219	0
減価償却費	10,665	5,544	4,259	4,378	2,323	3,393	176
その他	0	0	0	0	0	0	0
収入	57	21	1,863	2,688	1,516	2,227	0
利用料金等	0	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0	0
その他	57	21	1,863	2,688	1,516	2,227	0
収支差額(ネットコスト)	44,124	8,062	3,297	2,367	955	1,627	236

	西早稲田多目的環境防災広場	若葉多目的環境防災広場	百人町多目的環境防災広場	北新宿多目的環境防災広場	西新宿多目的環境防災広場	北新宿防災倉庫	早稲田町備蓄倉庫
費用(トータルコスト)	292	450	488	1,356	993	1,133	656
人件費	0	0	0	0	0	0	0
光熱水費	4	54	80	78	0	29	51
施設管理経費	51	51	51	209	55	0	0
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	0	0	94	0	0	0	0
減価償却費	238	345	263	1,069	766	1,104	606
その他	0	0	0	0	172	0	0
収入	0	0	0	0	0	0	0
利用料金等	0	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	292	450	488	1,356	993	1,133	656

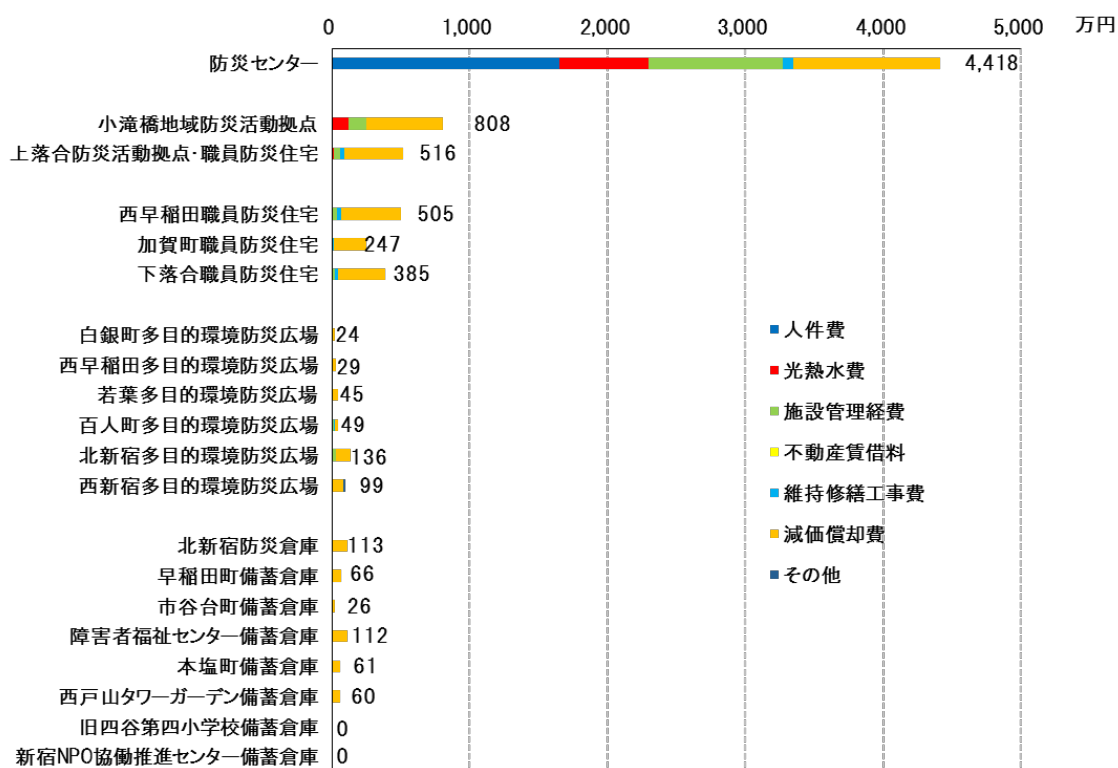
	市谷台町備蓄倉庫	障害者福祉センター備蓄倉庫	本塩町備蓄倉庫	西戸山タワーガーデン備蓄倉庫	旧四谷第四小学校備蓄倉庫	新宿 NPO 協働推進センター備蓄倉庫	合計
費用(トータルコスト)	261	1,120	611	601	0	0	77,002
人件費	0	0	0	0	0	0	16,529
光熱水費	50	0	0	0	0	0	8,156
施設管理経費	0	0	0	0	0	0	12,760
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	0	0	0	0	0	0	1,712
減価償却費	211	1,120	611	601	0	0	37,673
その他	0	0	0	0	0	0	172
収入	0	0	0	0	0	0	8,372
利用料金等	0	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	8,372
収支差額(ネットコスト)	261	1,120	611	601	0	0	68,629

図表 2-3-2-(5)-2 防災関係施設のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にコストを見ると、防災センターが4,418万円となっており、そのほかの施設は1,000万円以下となっています。なお、旧四谷第四小学校備蓄倉庫と新宿NPO協働推進センター備蓄倉庫は、減価償却が終了しているため減価償却費が0円となっています。

図表 2-3-2-(5)-3 防災関係施設の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



【防災関係施設のまとめ】

○防災関係施設には、防災センター(1)、防災活動拠点(2)、職員防災住宅(4)、多目的環境防災広場(6)、備蓄倉庫(8)があります(うち防災活動拠点と職員防災住宅を兼ねた施設が1)。

○30年以上経過した防災関係施設の割合は延床面積ベースで28.9%と老朽化度は低くなっています。

○年間トータルコストは7,700万円です。

3 行政系施設／区民等利用施設

(1) 施設概要

区民の方等にご利用いただける施設のうち、男女共同参画や環境保全など、特定の分野の取組みの推進や普及、活動の場の提供などを目的として開設している以下の8施設を区民等利用施設として分類しています。

このうち、高田馬場創業支援センターと新宿消費生活センター分館は同じ建物に併設しています。また、しんじゅく多文化共生プラザと男女共同参画推進センターを除く6施設では、指定管理者制度を導入しています。

図表 2-3-3-(1)-1 区民等利用施設の設置目的

施設名	設置目的
新宿 NPO 協働推進センター	区内において社会貢献活動を行うNPO法人等の協働の取組を推進し、地域の課題を解決するための基盤を整備することにより、区内における社会貢献活動の健全な発展を図ります。
しんじゅく多文化共生プラザ	日本人と外国人との交流を促進し、文化、歴史等の相互理解を深めることにより、多様な文化を持つ人々が共に生きる地域社会を形成します。
男女共同参画推進センター	区民・事業者・地域団体の男女共同参画の推進に関する取組を支援します。
環境学習情報センター	環境の保全に関する活動を支援するとともに、環境の保全に関する学習及び情報の発信の拠点とします。
新宿リサイクル活動センター、 西早稲田リサイクル活動センター	区内におけるごみの減量及びリサイクル活動を推進し、資源循環型社会を形成します。
高田馬場創業支援センター	中小企業の経営改革を支援するとともに、創業及び新産業の創出を促し、区内における産業の活性化を図ります。
新宿消費生活センター分館	区民の消費生活の安定及び向上を図ります。

図表 2-3-3-(1)-2 区民等利用施設の施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
新宿 NPO 協働推進 センター	高田馬場四丁目 36 番 12 号	1,805	昭和 32	RC	備蓄倉庫・私立子ども園・高田馬場自転車保管場所	旧西戸山第二中学校、平成 25 年度から現施設
しんじゅく多文化 共生プラザ	歌舞伎町 2-44 -1 ハイジア 11 階	248	平成 17	SRC		建物は民間事業者から賃貸借契約により借用
男女共同参画推進 センター	荒木町 16 番地	523	昭和 57	RC		
環境学習情報 センター	西新宿二丁目 11 番 4 号	616	昭和 43	SRC	区民ギャラリー	新宿中央公園内
新宿リサイクル活動 センター	新宿区高田馬場 四丁目 10 番 2 号	1,335	平成 25	RC	高田馬場福祉作業所・高田馬場駅第一自転車等駐輪場	
西早稲田リサイクル 活動センター	西早稲田三丁目 19 番 5 号	525	昭和 38	RC		
高田馬場創業支援 センター	高田馬場一丁目 32 番 10 号	316	昭和 60	RC	新宿消費生活センター分館	平成 23 年度から現施設
新宿消費生活 センター分館	高田馬場一丁目 32 番 10 号	288	昭和 60	RC	高田馬場創業支援センター	平成 23 年度から現施設

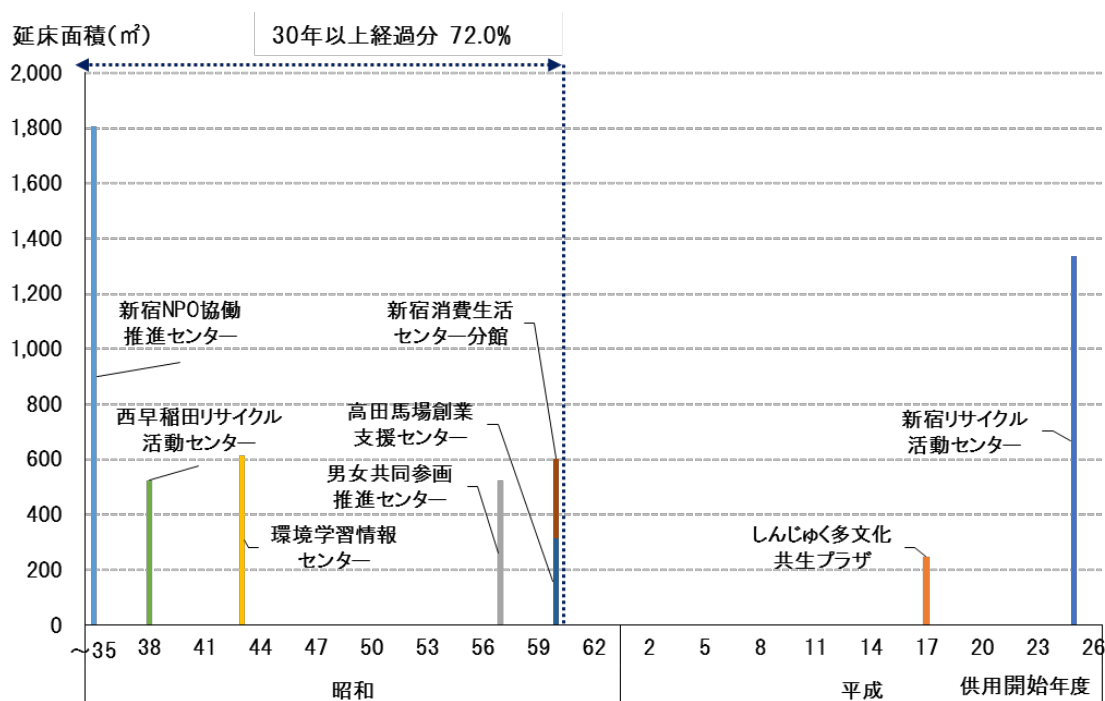
図表 2-3-3-(1)-3 区民等利用施設の施設概要(2)

施設名	運営体制	開館日・開館時間	利用可能施設
新宿 NPO 協働推進センター	指定管理者	9:00～22:00(多目的室は 21:00 まで) ※多目的グラウンドは 17:15(6 月～8 月は 18:00) まで(日・祝のみ利用可) 休館日:火曜・年末年始	会議室 5 室(定員 16～72 名)、多目的室 2 室(定員 81 名、264 名)、多目的グラウンド
しんじゅく多文化共生プラザ	直営	9:00～21:00 休館日:毎月第2・第4水曜・年末年始	多目的スペース、日本語学習コーナー、資料・情報コーナー、外国人相談コーナー
男女共同参画推進センター	直営	9:00～20:00 (日曜は 17:00 まで。会議室は 22:00 まで。資料の貸出は、月～土曜の 9:00～17:00) 休館日:祝日・年末年始(図書資料室は図書整理日(毎月第 3 木曜)、特別図書整理期間も休み)	会議室 1 室(定員 70 名)、図書室
環境学習情報センター	指定管理者	10:00～21:00 休館日:第 4 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始	研修室 1 室(定員 50 名)、展示室、情報コーナー
新宿リサイクル活動センター	指定管理者	9:00～17:00(会議室利用は 22:00 まで) 休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始	会議室 2 室(40 名、40 名)
西早稲田リサイクル活動センター	指定管理者	10:00～17:00 休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始	フリーマーケット用 15 区画(毎月第 2・4 土曜日)
高田馬場創業支援センター	指定管理者	8:30～24:00 休館日:年末年始	定員 32 名 シェアードオフィス(10 席)、個室オフィス(2 室)、会議室(定員 20 名)、交流スペース
新宿消費生活センター分館	指定管理者	8:30～22:00 休館日:年末年始	会議室(定員 36 名)、調理室兼商品テスト室(1 室)

(2) 老朽化度

30 年以上経過した区民等利用施設の割合は、延床面積ベースで 72.0%と老朽化度は高くなっています。昭和 60 年以前に整備された施設が大半を占めることが理由です。

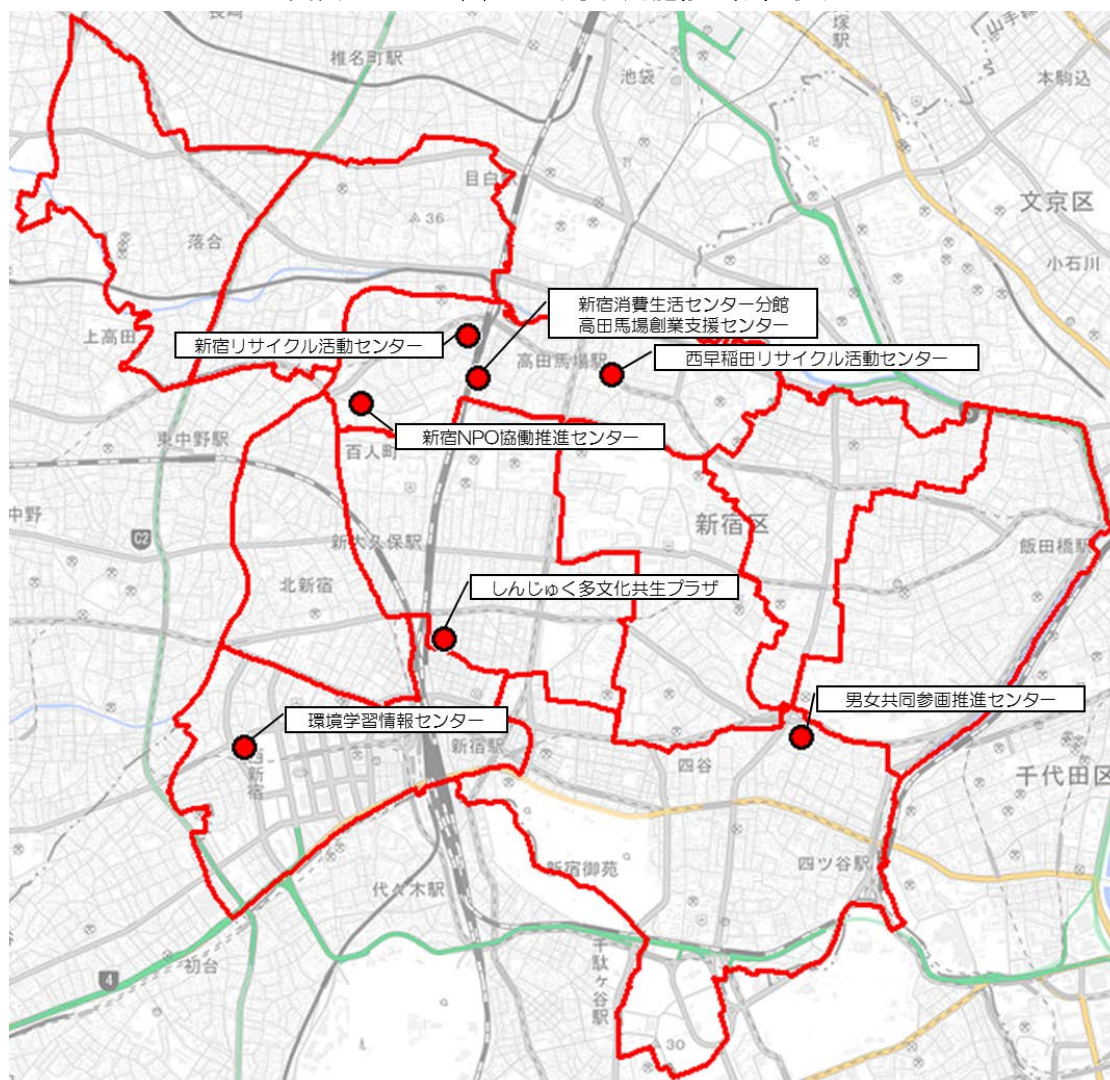
図表 2-3-3-(2) 区民等利用施設の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

区民等利用施設の配置状況は、下図のとおりとなっています。

図表 2-3-3-(3) 区民等利用施設の配置状況



(4) 利用状況・運営状況

区民等利用施設は、施設ごとに設置目的や機能（貸室の有無など）が異なることから、利用実績に係るデータは施設によって異なります。

図表 2-3-3-(4)-1 区民等利用施設の利用状況・運営状況(平成 26 年度)

施設名	利用実績データの内容	利用実績データ
新宿 NPO 協働推進センター	施設利用件数(会議室 5 室、多目的室 2 室、多目的グラウンドの利用件数の合計)	3,002 件
しんじゅく多文化共生プラザ	施設利用者数	22,978 人
男女共同参画推進センター	施設利用者数(会議室の利用者数)	7,571 人
	図書貸出冊数	9,434 冊
環境学習情報センター	施設への来館者数	24,313 人
新宿リサイクル活動センター	施設利用者数	19,959 人
西早稲田リサイクル活動センター	施設利用者数	9,209 人
高田馬場創業支援センター	在籍者数	24 人
新宿消費生活センター分館	施設利用者数(会議室、調理室兼商品テスト室の利用者数)	13,911 人

直営施設であるしんじゅく多文化共生プラザ及び男女共同参画推進センターには、下表のとおり職員を配置しています。

図表 2-3-3-(4)-2 区民等利用施設の職員配置(平成 26 年度、単位:人)

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
しんじゅく多文化共生プラザ	1	1	0	0	2
男女共同参画推進センター	6	2	0	2	10

※男女共同参画推進センターについては男女共同参画課の職員数を表記しています。

(5) コスト状況

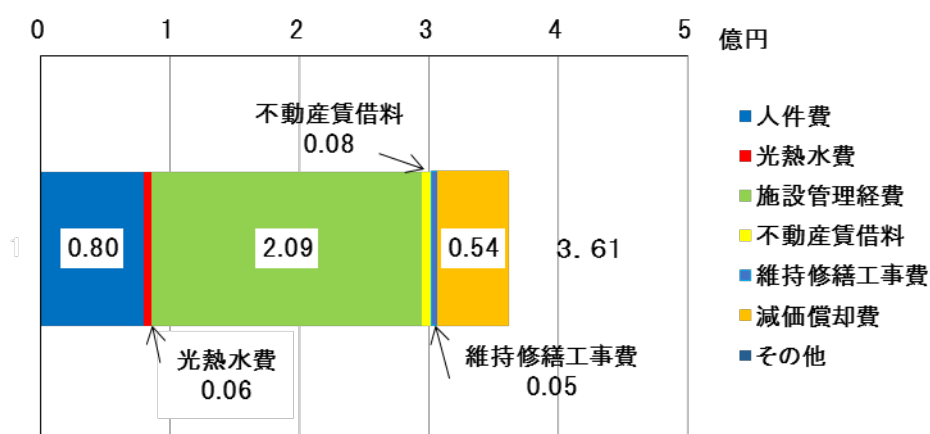
平成 26 年度の区民等利用施設 8 施設の年間費用：トータルコストは、3.61 億円となっています。なお、指定管理者制度を導入している施設については、指定管理料を施設管理経費に計上しています。

図表 2-3-3-(5)-1 区民等利用施設の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	新宿 NPO 協働推進センター	しんじゅく多文化共生プラザ	男女共同参画推進センター	環境学習情報センター	新宿リサイクル活動センター
費用(トータルコスト)	64,858	23,502	78,323	45,328	72,683
人件費	0	12,967	66,956	0	0
光熱水費	0	2,245	1,373	0	1,905
施設管理経費	53,092	783	4,861	29,196	56,125
不動産賃借料	0	7,507	0	0	0
維持修繕工事費	826	0	666	2,848	0
減価償却費	10,861	0	4,466	13,284	14,653
その他	79	0	0	0	0
収入	0	0	267	0	0
利用料金等	0	0	267	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	64,858	23,502	78,056	45,328	72,683

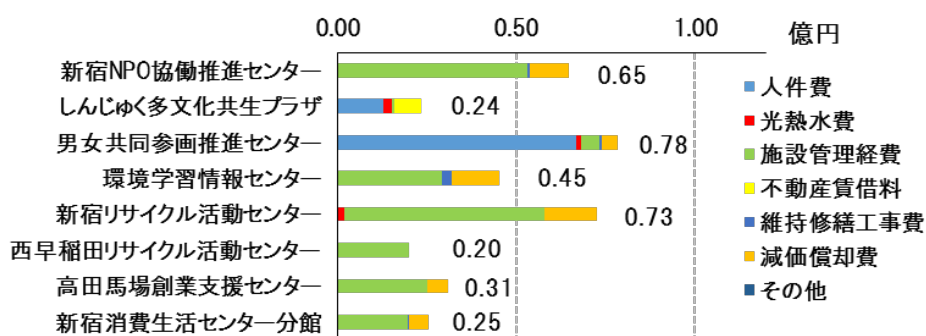
	西早稲田リサイクル活動センター	高田馬場創業支援センター	新宿消費生活センター分館	合計
費用(トータルコスト)	20,105	31,071	25,453	361,323
人件費	0	0	0	79,923
光熱水費	0	0	0	5,523
施設管理経費	20,105	25,181	19,714	209,057
不動産賃借料	0	0	0	7,507
維持修繕工事費	0	140	499	4,980
減価償却費	0	5,749	5,240	54,254
その他	0	0	0	79
収入	0	0	0	267
利用料金等	0	0	0	267
国・都補助金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	20,105	31,071	25,453	361,056

図表 2-3-3-(5)-2 区民等利用施設のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別に見ると、コストが大きい順に、男女共同参画推進センター（7,832 万円）、新宿リサイクル活動センター（7,268 万円）、新宿 NPO 協働推進センター（6,486 万円）となっています。

図表 2-3-3-(5)-3 区民等利用施設の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

区民等利用施設は、施設ごとに設置目的や機能（貸室の有無など）が異なるため、分析データを単純に比較することはできませんが、参考データとして、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積（円／㎡）
 - ② 施設規模当たり利用度：利用者数、利用件数など／延床面積（人／㎡、件／㎡）
 - ③ 利用度当たりコスト：コスト／利用者数、利用件数など（円／人、円／件）
- の3つのコスト指標の数値を算出します。

図表 2-3-3-(6)-1 区民等利用施設の施設別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

施設名	延床面積 (㎡)	利用実績データ	費用 (トータルコスト、 千円)
新宿 NPO 協働推進センター	1,805	施設利用件数 3,002 件	64,858
しんじゅく多文化共生プラザ	248	施設利用者数 22,978 人	23,502
男女共同参画推進センター	523	施設利用者数 7,571 人	78,323
環境学習情報センター	616	施設への来館者数 24,313 人	45,328
新宿リサイクル活動センター	1,335	施設利用者数 19,959 人	72,683
西早稲田リサイクル活動センター	525	施設利用者数 9,209 人	20,105
高田馬場創業支援センター	316	在籍者数 24 人	31,071
新宿消費生活センター分館	288	施設利用者数 13,911 人	25,453

図表 2-3-3-(6)-2 区民等利用施設の各分析指標データ(平成 26 年度)

施設名	① 施設規模当たり コスト	② 施設規模当たり 利用度	③ 利用度当たり コスト
新宿 NPO 協働推進センター	35,932 円/㎡	1.66 件/㎡	21,605 円/件
しんじゅく多文化共生プラザ	94,766 円/㎡	92.65 人/㎡	1,023 円/人
男女共同参画推進センター	149,757 円/㎡	14.48 人/㎡	10,345 円/人
環境学習情報センター	73,584 円/㎡	39.47 人/㎡	1,864 円/人
新宿リサイクル活動センター	54,444 円/㎡	14.95 人/㎡	3,642 円/人
西早稲田リサイクル活動センター	38,295 円/㎡	17.55 人/㎡	2,183 円/人
高田馬場創業支援センター	98,326 円/㎡	0.08 人/㎡	1,294,625 円/人
新宿消費生活センター分館	88,378 円/㎡	48.30 人/㎡	1,830 円/人

【区民等利用施設のまとめ】

- 区民等利用施設は、男女共同参画や環境保全など特定の分野に関連して 8 施設設置されています。
- 30 年以上経過した区民等利用施設の割合は延床面積ベースで 72.0%と老朽化度は高くなっています。
- 年間トータルコストは 3.61 億円です。

4 市民文化系施設／地域センター

(1) 施設概要

地域センターは、地域コミュニティの核となる施設として、平成元年度以降の特別出張所の建替えに伴い、特別出張所に併設する形で整備を進めてきた施設です。平成 21 年度に竣工した戸塚地域センターをもって、10 地域すべてに整備されています。

地域センターでは、多目的ホール、集会室・会議室、調理室、工芸・美術室、音楽室などの部屋の貸し出しのほか、コミュニティ事業の企画運営や地域誌の発行などを行っています。

図表 2-3-4-(1)-1 地域センターの施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
四谷地域センター	内藤町 87 番地	2,003	平成 8	SRC	四谷特別出張所・四谷区民ホール・四谷図書館	建物は東京都水道局と区分所有
牛込筆筍地域センター	筆筍町 15 番地	1,585	平成 3	SRC	筆筍町特別出張所・牛込筆筍区民ホール	
榎町地域センター	早稲田町 85 番地	1,460	平成 13	RC	榎町特別出張所	
若松地域センター	若松町 12 番 6 号	1,577	平成 7	RC	若松町特別出張所	
大久保地域センター	大久保二丁目 12 番 7 号	1,136	平成 5	SRC	大久保特別出張所・大久保図書館	土地は厚生労働省から賃貸借契約により借用、建物は区分所有
戸塚地域センター	高田馬場二丁目 18 番 1 号	1,145	平成 21	S	戸塚特別出張所	土地の一部(29 ㎡)を鉄道事業者から使用貸借により借用
落合第一地域センター	下落合四丁目 6 番 7 号	1,392	平成 8	RC	落合第一特別出張所・落合保健センター	
落合第二地域センター	中落合四丁目 17 番 13 号	1,058	平成 18	RC	落合第二特別出張所	土地は個人から賃貸借契約により借用
柏木地域センター	北新宿二丁目 3 番 7 号	1,407	平成 6	RC	柏木特別出張所・柏木子ども園(乳児園舎)・北新宿第一児童館・北新宿地域交流館	
角筈地域センター	西新宿四丁目 33 番 7 号	1,069	平成元	SRC	角筈特別出張所・角筈区民ホール・角筈図書館	

全ての地域センターで、指定管理者制度を導入して運営しています。
開館日時等は下表のとおりです。

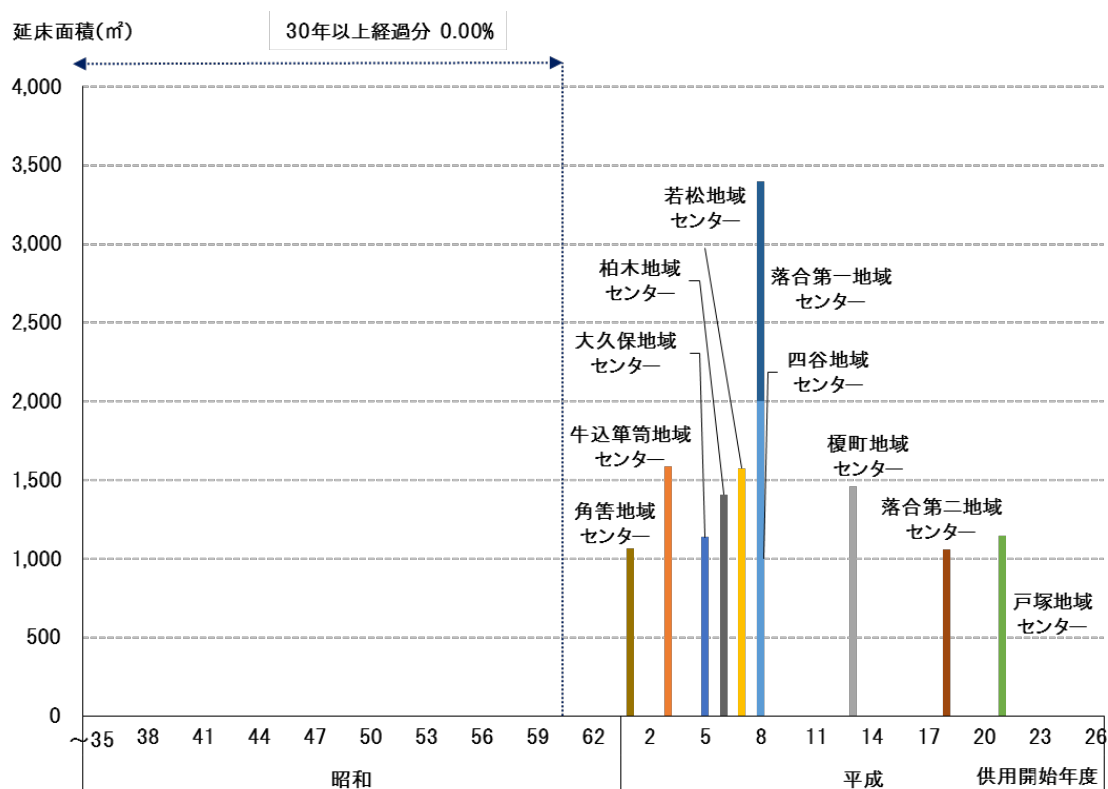
図表 2-3-4-(1)-2 地域センターの施設概要(2)

施設名	運営体制	開館日時	休館日
四谷地域センター	指定管理者	開館時間:9:00~22:00 受付時間:9:00~20:00 利用時間:9:00~21:45	2月・5月・8月・11月の第3日曜・年末年始
牛込筆筈地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第2日曜・年末年始
榎町地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第4日曜・年末年始
若松地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第3日曜・年末年始
大久保地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第3日曜・年末年始
戸塚地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第2日曜・年末年始
落合第一地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第3日曜・年末年始
落合第二地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第4日曜・年末年始
柏木地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第2日曜・年末年始
角筈地域センター	指定管理者		2月・5月・8月・11月の第4日曜・年末年始

(2) 老朽化度

30年以上経過した地域センターはないため老朽化度は0%になっています。平成元年度から平成8年度に集中して建設を行ったことが理由です。そのため、将来これらの施設が一斉に老朽化することが想定されます。

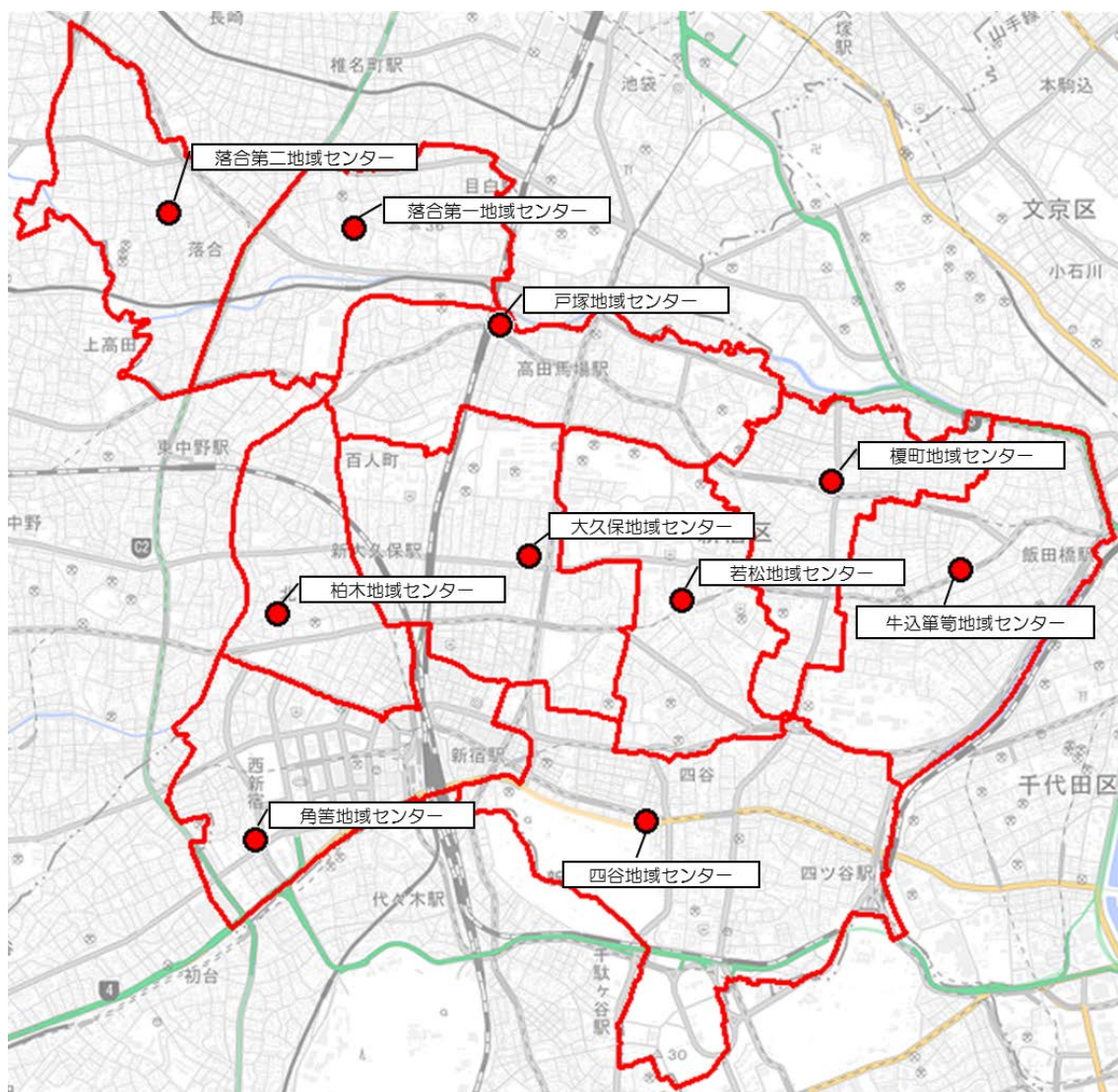
図表 2-3-4-(2) 地域センターの供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

地域センターは、区内 10 地域に 1 所ずつ配置している特別出張所に併設しています。配置状況は下図のとおりです。

図表 2-3-4-(3) 地域センターの施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

地域センターには、多目的ホール、集会室・会議室・洋室、和室・茶室、調理室・調理工作室などが設けられ、貸し出しを行っています。

このうち、多目的ホール、調理室・調理工作室は各地域センターに 1 室ずつ設けられ、規模が小さく様々な用途に利用できる集会室・会議室・洋室は各地域センターに複数設けられています。また、地域センターによっては、工芸・美術室、音楽室、葬儀ができる多目的ホールがあります。

図表 2-3-4-(4)-1 地域センターの機能（単位：室）

施設名	多目的 ホール	集会室・会 議室・洋室	和室・茶室	調理室・調 理工作室	工芸・美術 室	音楽室	葬儀ができる多 目的ホール等
四谷地域センター	1	3	2	1	—	1	—
牛込筆筈地域センター	1	2	2	1	—	—	3
榎町地域センター	1	3	1	1	1	1	3
若松地域センター	1	3	2	1	—	1	2
大久保地域センター	1	3	1	1	—	—	—
戸塚地域センター	1	4	1	1	—	1	3
落合第一地域センター	1	3	1	1	—	—	3
落合第二地域センター	1	3	2	1	1	1	—
柏木地域センター	1	3	1	1	—	1	—
角筈地域センター	1	2	2	1	—	—	—

※「葬儀ができる多目的ホール等」には、多目的ホールのほか、葬儀の際、一体で利用できる和室控室や集会室も含まれます。

利用状況を見ると、地域センターでは、あらかじめ登録した団体（登録団体）の利用が多くなっていますが、登録していない一般利用も可能となっています。

利用率^(※)は約55～84%となっています。

※利用率＝利用件数÷利用可能件数（コマ数）

利用可能件数（コマ数）＝室数×開館日数（平成26年度は355日）×1日当たり利用可能コマ数（5コマ）－修繕工事等による休室（全体の1%以下）

図表 2-3-4-(4)-2 地域センターの利用状況(1) 利用率・利用件数(平成26年度)

施設名	利用率 (%)	登録団体数 (団体)	利用件数(件)		
			登録団体	その他	合計
四谷地域センター	73.1	415	8,824	2,777	11,601
牛込筆筈地域センター	62.5	415	6,255	3,659	9,914
榎町地域センター	60.5	242	6,510	4,169	10,679
若松地域センター	59.9	353	7,304	3,252	10,556
大久保地域センター	75.5	240	5,756	2,261	8,017
戸塚地域センター	83.9	631	10,658	5,667	16,325
落合第一地域センター	57.4	229	5,871	3,300	9,171
落合第二地域センター	55.3	288	6,771	2,035	8,806
柏木地域センター	64.4	205	6,072	1,914	7,986
角筈地域センター	67.0	120	4,215	2,870	7,085

利用率を室別にみると、音楽室が 87.6%、多目的ホールが 81.0%と高く、調理室・調理工作室が 44.3%、工芸・美術室が 44.9%と低くなっています。

図表 2-3-4-(4)-3

地域センターの利用状況(2) 施設別・室別利用率(平成 26 年度、単位:%)

施設名	多目的 ホール	集会室・会 議室・洋室	和室・茶室	調理室・調 理工作室	工芸・ 美術室	音楽室	葬儀ができる 多目的ホール
四谷地域センター	84.3	76.4	66.3	56.9	—	88.8	—
牛込笹笹地域センター	81.2	77.9	75.3	40.0	—	—	44.8
榎町地域センター	84.8	68.7	58.1	32.3	45.5	93.6	42.2
若松地域センター	80.9	59.6	66.4	23.6	—	83.2	39.6
大久保地域センター	83.0	75.5	79.2	64.1	—	—	—
戸塚地域センター	89.7	87.0	81.0	74.7	—	93.3	78.8
落合第一地域センター	78.5	65.7	47.9	32.0	—	—	56.8
落合第二地域センター	75.9	53.2	49.7	33.3	44.2	85.6	—
柏木地域センター	82.1	66.2	45.4	43.7	—	81.0	—
角筈地域センター	69.8	75.2	69.5	42.7	—	—	—
平均(加重平均)	81.0	70.3	63.5	44.3	44.9	87.6	55.3

※地域センターによって部屋の数異なるため、単純平均ではなく加重平均としています。

(5) コスト状況

指定管理料は施設管理経費に計上しています。また、地域センターは指定管理者制度を導入していますが、利用料金制度を採用していないため、利用料金は区が歳入しています。

平成 26 年度の地域センターの年間費用：トータルコストは 3.74 億円です。内訳は施設管理経費（指定管理料ほか）と減価償却費です。

図表 2-3-4-(5)-1 地域センターの施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

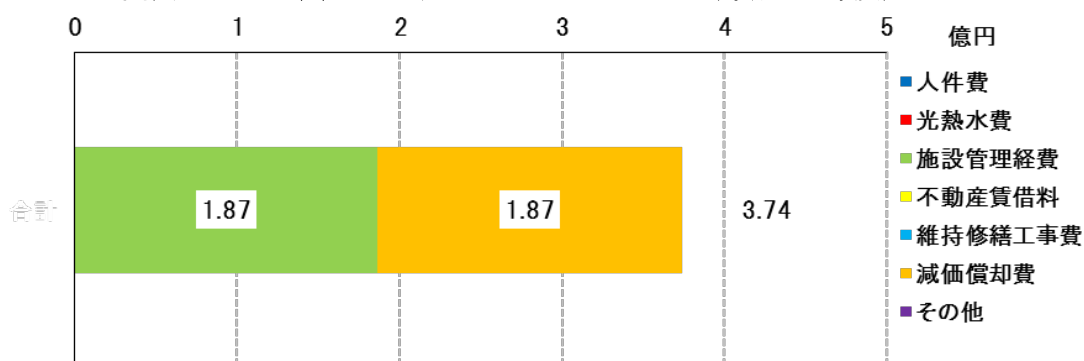
	四谷 地域センター	牛込笹笹 地域センター	榎町 地域センター	若松 地域センター	大久保 地域センター	戸塚 地域センター
費用(トータルコスト)	62,688	37,899	32,639	38,206	35,588	28,978
人件費	0	0	0	0	0	0
光熱水費	0	0	0	0	0	0
施設管理経費	18,322	18,443	18,522	18,598	18,564	18,882
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	0	0	0	0	0	0
減価償却費	44,366	19,456	14,116	19,607	17,024	10,096
その他	0	0	0	0	0	0
収入	12,108	10,819	9,645	11,358	8,512	11,691
利用料金等	12,108	10,819	9,645	11,358	8,512	11,691
国・都補助金	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	50,580	27,080	22,994	26,848	27,076	17,288

	落合第一 地域センター	落合第二 地域センター	柏木 地域センター	角筈 地域センター	合計
費用(トータルコスト)	36,276	28,939	42,390	30,050	373,653
人件費	0	0	0	0	0
光熱水費	0	0	0	0	0
施設管理経費	18,919	18,749	18,455	19,062	186,518
不動産賃借料	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	0	0	0	0	0
減価償却費	17,357	10,190	23,934	10,988	187,135
その他	0	0	0	0	0
収入	10,064	6,538	9,336	7,262	97,332
利用料金等	10,064	6,538	9,336	7,262	97,332
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	26,212	22,402	33,053	22,788	276,321

※各地域センターの光熱水費、指定管理料以外の施設管理経費、維持修繕工事費は、それぞれ併設の特別出張所が建物全体分を一括して支出しているため、上表には含まれていません。

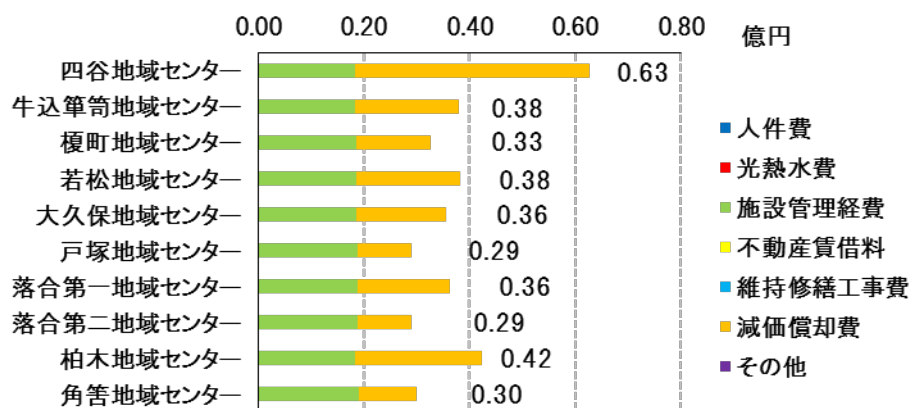
※各地域センターの指定管理経費には、指定管理料のほか、社会保険料、使用料徴収委託料を含んでいます。

図表 2-3-4-(5)-2 地域センターのトータルコスト(平成 26 年度)



施設別コストは、施設規模の大きな四谷地域センターが 0.63 億円となっており、他の地域センターは概ね 0.3～0.4 億円となっています。施設管理経費の大半は指定管理者への指定管理料であり、どの地域センターもほぼ同じ額になっています。

図表 2-3-4-(5)-3 地域センターの施設別トータルコスト(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積（㎡）、コストは年間費用：トータルコスト（円）、利用度は貸出施設の利用件数（件）の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積（円／㎡）
- ② 施設規模当たり利用度：貸出施設の利用件数／延床面積（件／㎡）
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／貸出施設の利用件数（円／件）

の3つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-4-(6)-1 地域センターの施設別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

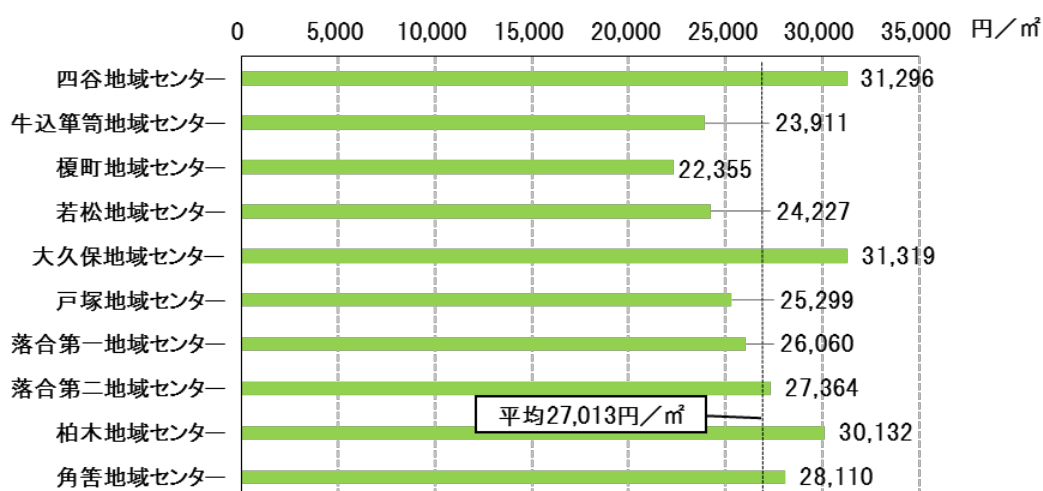
施設名	延床面積(㎡)	利用件数(件)	費用(トータルコスト、千円)
四谷地域センター	2,003	11,601	62,688
牛込笹笹地域センター	1,585	9,914	37,899
榎町地域センター	1,460	10,679	32,639
若松地域センター	1,577	10,556	38,206
大久保地域センター	1,136	8,017	35,588
戸塚地域センター	1,145	16,325	28,978
落合第一地域センター	1,392	9,171	36,276
落合第二地域センター	1,058	8,806	28,939
柏木地域センター	1,407	7,986	42,390
角筈地域センター	1,069	7,085	30,050

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト（円）} \div \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たりコストの平均は 27,013 円／㎡です。もっとも高い大久保地域センターは、もっとも低い榎町地域センターの 1.4 倍となっています。

図表 2-3-4-(6)-2 地域センターの施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

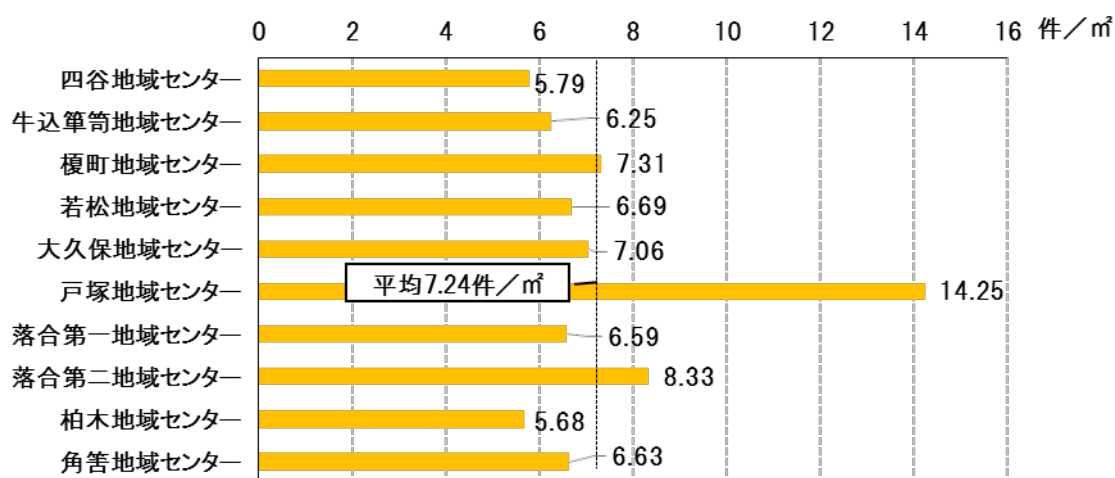


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{貸出施設の利用件数（件）} / \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は 7.24 件／㎡です。施設によって差があり、もっとも高い戸塚地域センターは、もっとも低い柏木地域センターの 2.5 倍となっています。

図表 2-3-4-(6)-3 地域センターの施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

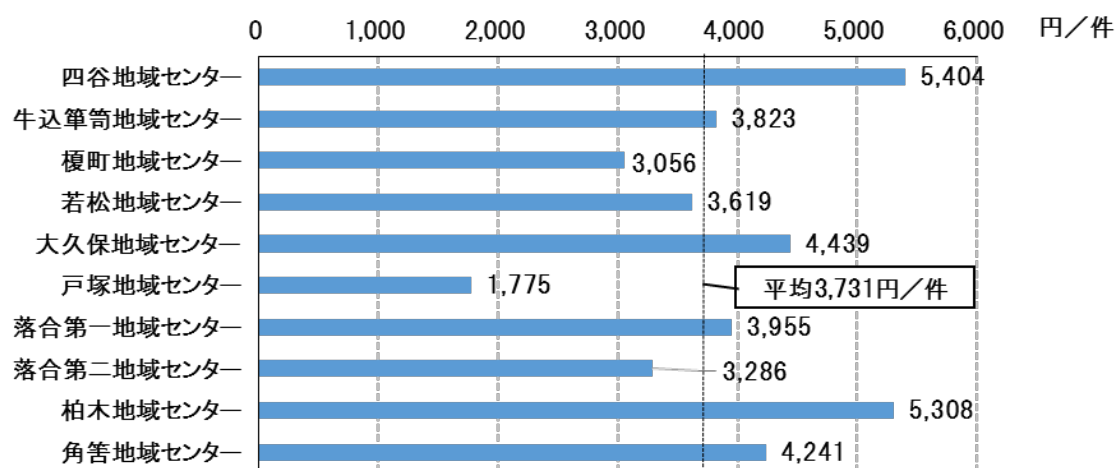


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} / \text{貸出施設の利用件数（件）}$$

利用度当たりコストの平均は 3,731 円／件です。施設によって差があり、もっとも高い四谷地域センターは、もっとも低い戸塚地域センターの 3.0 倍となっています。

図表 2-3-4-(6)-4 地域センターの利用度当たりコスト(平成 26 年度)



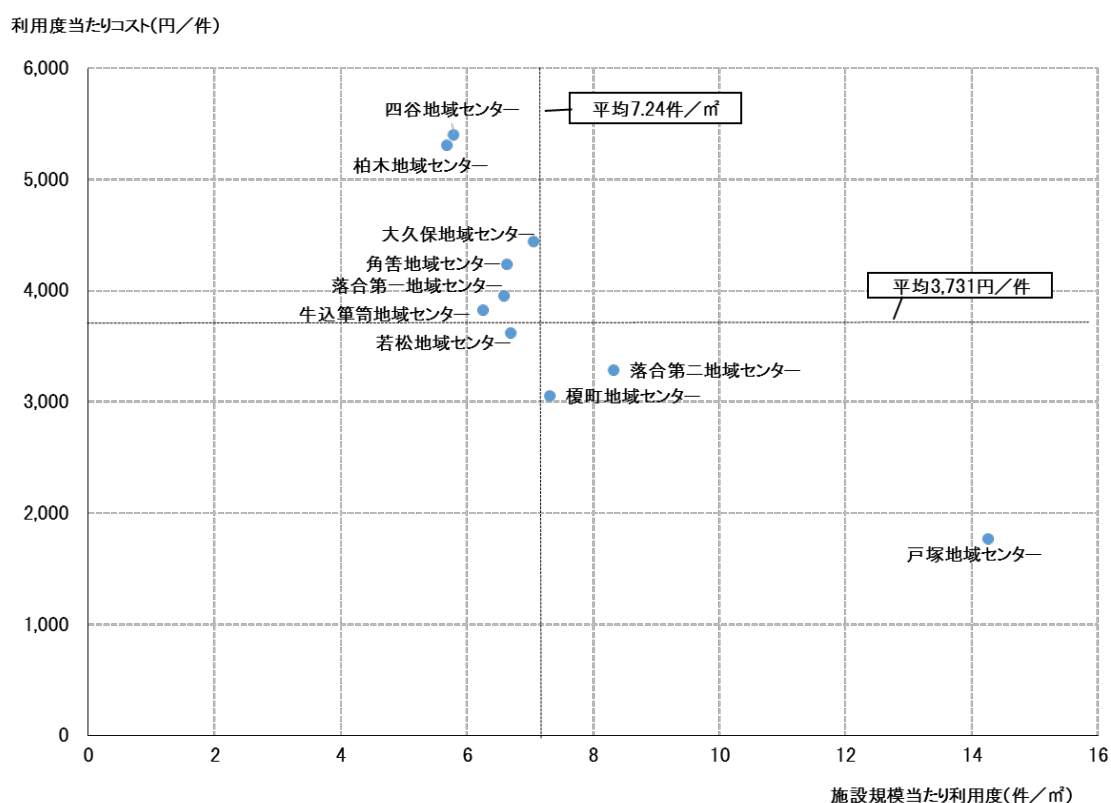
(4) 利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には、戸塚地域センター、落合第二地域センター及び榎町地域センターが属しています。

施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には、四谷地域センター、柏木地域センター、角筈地域センター、大久保地域センター、牛込筆筈地域センター及び落合第一地域センターが属しています。

図表 2-3-4-(6)-5

地域センターの施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況(平成 26 年度)



【地域センターのまとめ】

- 地域センターは、地域コミュニティの核となる施設として 10 地区すべてに設置されています。
- 30 年以上経過した地域センターはないため老朽化度は 0%になっています。
- 年間トータルコストは 3.74 億円/年です。
- 施設規模当たりの利用度（利用件数）は平均 7.24 件/㎡で、利用度（利用件数）当たりコストの平均は 3,731 円/件となっています。

5 市民文化系施設／ホール

(1) 施設概要

区民に文化的活動等の場を提供することにより、文化芸術の振興や、区民の文化の向上を図る施設として、新宿文化センター及び四谷・牛込筆筥・角筥の各区民ホールを設置しています。

新宿文化センターは単独施設です。区民ホールは、特別出張所や地域センターとの複合施設になっています。

図表 2-3-5-(1)-1 ホールの施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
新宿文化センター	新宿六丁目 14 番 1 号	16,446	昭和 53	SRC		
四谷区民ホール	内藤町 87 番地	2,422	平成 8	SRC	四谷特別出張所・四谷 地域センター・四谷図書 館	建物は東京都水道 局と区分所有
牛込筆筥区民ホール	筆筥町 15 番地	1,528	平成 3	SRC	筆筥町特別出張所・牛 込筆筥地域センター	
角筥区民ホール	西新宿四丁目 33 番 7 号	1,023	平成元	SRC	角筥特別出張所・角筥 地域センター・角筥図書 館	

新宿文化センター及び全ての区民ホールで、指定管理者制度を導入しています。
開館日時等は下表のとおりです。

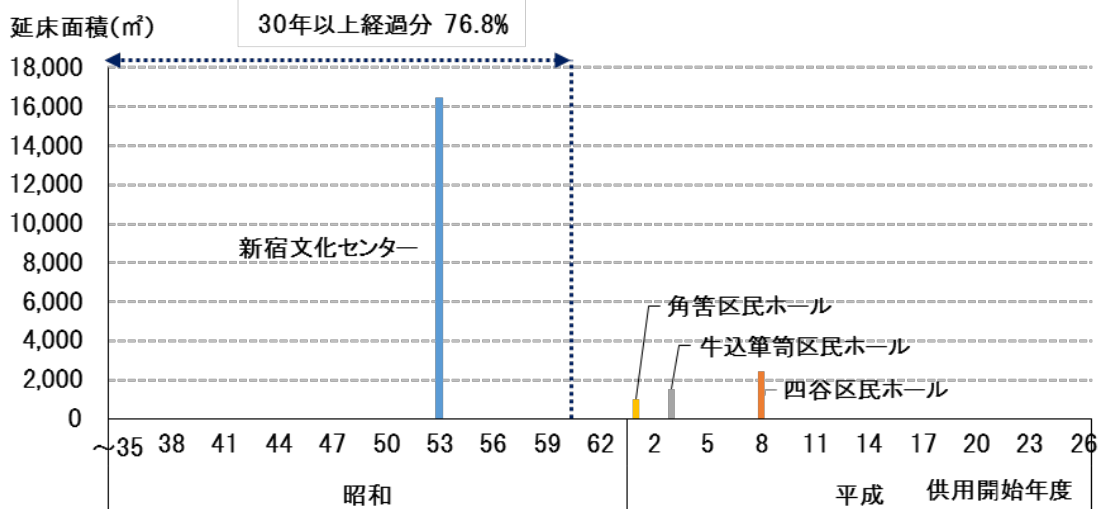
図表 2-3-5-(1)-2 ホールの施設概要(2)

施設名	運営体制	開館日時	休館日
新宿文化センター	指定管理者	窓口時間:9:00～22:00	毎月第 2 火曜、年末年始
四谷区民ホール	指定管理者	受付時間:8:30～19:00 利用時間:9:00～21:45	2 月・5 月・8 月・11 月の第 3 日曜、 年末年始
牛込筆筥区民ホール	指定管理者		2 月・5 月・8 月・11 月の第 2 日曜、 年末年始
角筥区民ホール	指定管理者		2 月・5 月・8 月・11 月の第 4 日曜、 年末年始

(2) 老朽化度

30 年以上経過したホールの割合は、延床面積ベースで 76.8%と老朽化度は高くなっています。これは、最も規模の大きい新宿文化センターが供用開始から37 年を経過していることが理由です。区民ホールは3館とも 20 年以内となっていますが、同じ年代に集中して建設されたため、将来の老朽化も集中することが予想されます。併せて、音響・照明等の設備を適切に保守・更新していく必要があります。

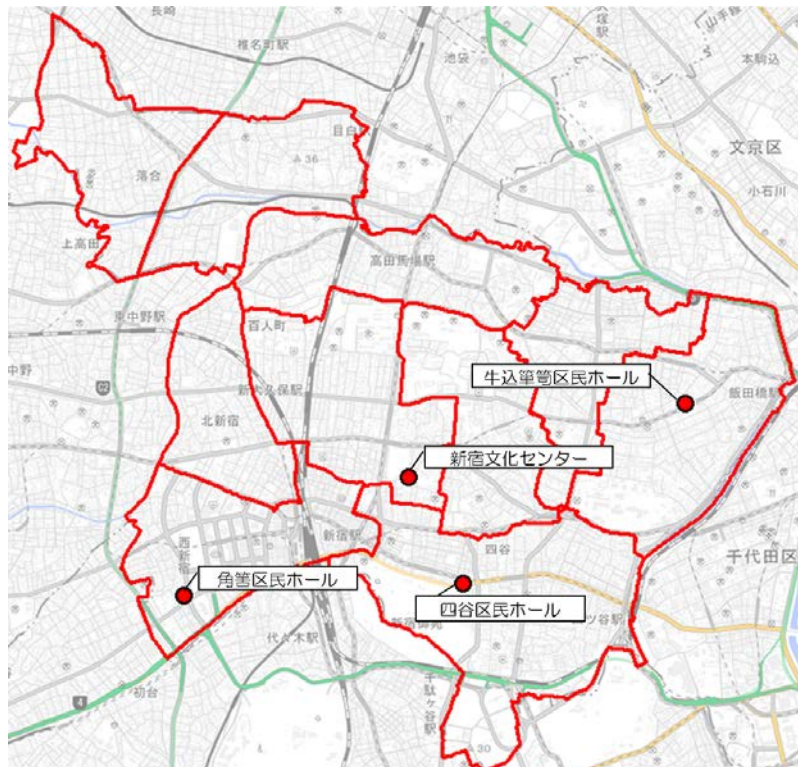
図表 2-3-5-(2) ホールの供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

ホールの配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-5-(3) ホールの施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

新宿文化センターには、大ホール（1,802 席）、小ホール（210 席）のほか、展示室、リハーサル室、会議室（6 室）があります。

各区民ホールの規模は、238 席～452 席となっています。

図表 2-3-5-(4)-1 ホールの規模

施設名		座席数(席)・定員(人)
新宿文化センター	大ホール	1,802 席
	小ホール	210 席
	展示室	100 人
	リハーサル室	100 人
	会議室(6 室)	計 195 人
四谷区民ホール		452 席
牛込筆筈区民ホール		392 席
角筈区民ホール		238 席

新宿文化センターの利用状況は図表 2-3-5-(4)-2、各区民ホールの利用状況は図表 2-3-5-(4)-3 のとおりです。

新宿文化センターの稼働率は約 7 割～9 割、入場者数は合計で約 47 万人となっています。利用件数は合計 7,904 件です。

各区民ホールの利用件数は 600 件～700 件台、稼働率は約 7 割～8 割となっています。

図表 2-3-5-(4)-2 新宿文化センターの利用状況(平成 26 年度、利用件数・稼働率)

施設名		座席数・定員	利用回数(件)	稼働率(%)	入場者数(人)
新宿文化センター	大ホール	1,802 席	758	79.5	284,171
	小ホール	210 席	683	68.6	57,998
	展示室	100 人	922	89.6	33,788
	リハーサル室	100 人	869	85.6	23,468
	会議室(6 室)	195 人	4,672	75.3	74,894
	合計	—	7,904	77.5	474,319

図表/2-3-5-(4)-3 区民ホールの利用状況(平成 26 年度、利用件数・稼働率)

施設名	利用件数(件)	稼働率(%)
四谷区民ホール	777	81.8
牛込筆筈区民ホール	605	72.8
角筈区民ホール	631	68.0

【参考：定員稼働率から見た利用状況】

上表の統計では、例えば、1 回の催しの来場者が 500 人だった場合も、50 人だった場合も、同じように 1 件とカウントしています。施設の規模が実際の利用規模のニーズに合致しているかという観点から「定員稼働率^(※)」を推計すると、新宿文化センター大ホールの場合、49.4%となります。

※新宿文化センター大ホールにおける定員稼働率は「1 年間の入場者数÷(座席数×年間開館日数)」で算出しています。

(5) コスト状況

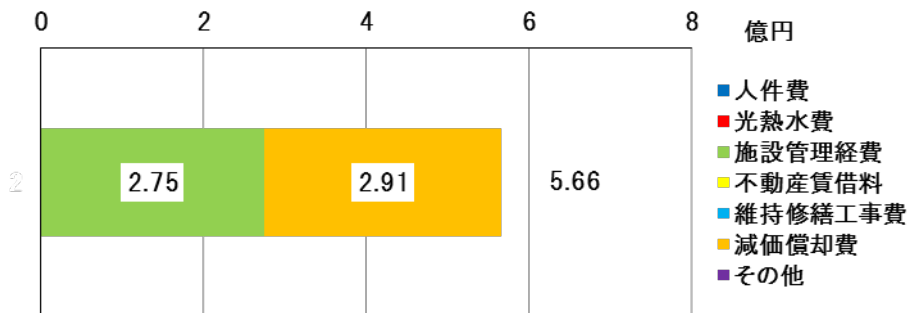
平成 26 年度のホールの年間費用：トータルコストは 5.66 億円です。指定管理者制度を導入しているため、費目は指定管理料などの施設管理経費及び減価償却費となっています。

図表 2-3-5-(5)-1 ホールの施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	新宿文化センター	四谷区民ホール	牛込筆筈区民ホール	角筈区民ホール	合計
費用(トータルコスト)	365,741	103,766	57,827	39,073	566,407
人件費	0	0	0	0	0
光熱水費	0	0	0	0	0
施設管理経費	166,971	47,031	33,790	27,124	274,916
不動産賃借料	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	0	0	0	0	0
減価償却費	198,770	56,735	24,037	11,949	291,491
その他	0	0	0	0	0
収入	0	0	0	0	0
利用料金等	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	365,741	103,766	57,827	39,073	566,407

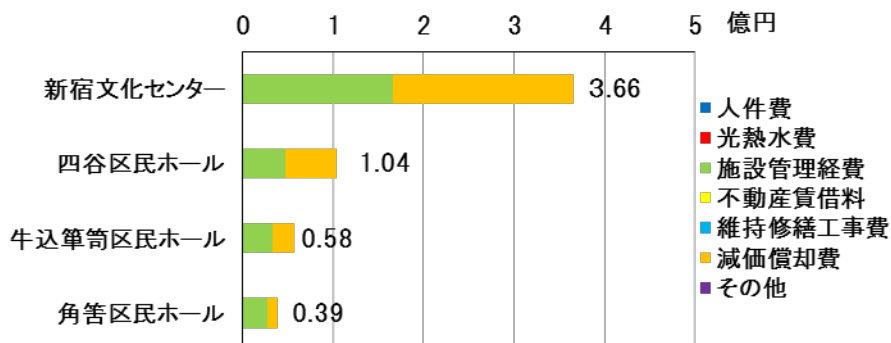
※各区民ホールの光熱水費、指定管理料以外の施設管理経費及び維持修繕工事費は、それぞれ併設の特別出張所が建物全体を一括して支出しているため、上表には含まれていません。

図表 2-3-5-(5)-2 ホールのトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、施設規模の大きい新宿文化センターが 3.66 億円となっているほか、各区民ホールは 0.39 億円～1.04 億円となっています。

図表 2-3-5-(5)-3 ホールの施設別トータルコスト(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積（㎡）、コストは年間費用：トータルコスト（円）、利用度は貸出施設の利用件数（件）の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積（円／㎡）
- ② 施設規模当たり利用度：貸出施設の利用件数／延床面積（件／㎡）
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／貸出施設の利用件数（円／件）

の3つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-5-(6)-1 ホール別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

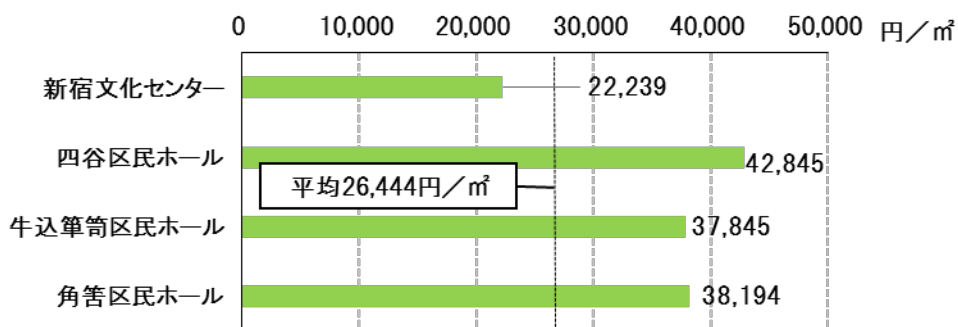
施設名	延床面積(㎡)	利用件数(件)	費用(トータルコスト、千円)
新宿文化センター	16,446	7,904	365,741
四谷区民ホール	2,422	777	103,766
牛込筆筈区民ホール	1,528	605	57,827
角筈区民ホール	1,023	631	39,073

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト（円）} \div \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たりコストの平均は 26,444 円／㎡です。もっとも高い四谷区民ホールは、もっとも低い新宿文化センターの 1.9 倍となっています。

図表 2-3-5-(6)-2 ホールの施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

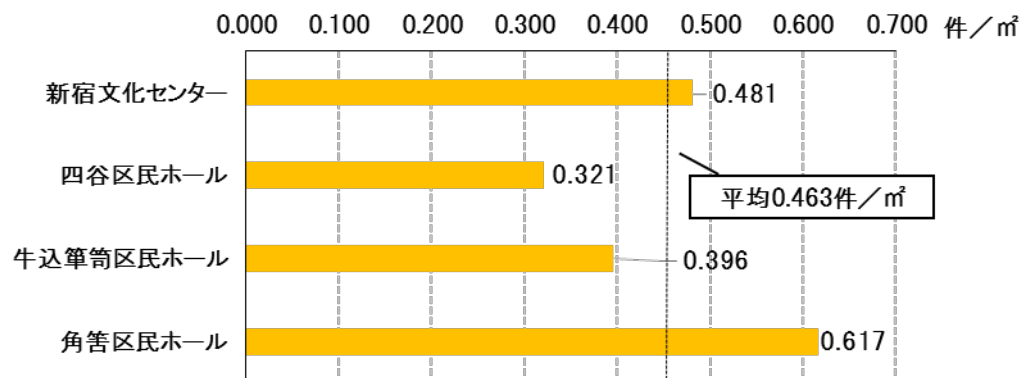


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{貸出施設の利用件数（件）} / \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は、0.463 件／㎡です。もっとも高い角筈区民ホールは、もっとも低い四谷区民ホールの 1.9 倍となっています。

図表 2-3-5-(6)-3 ホールの施設規模当たり利用度(平成 26 年度)



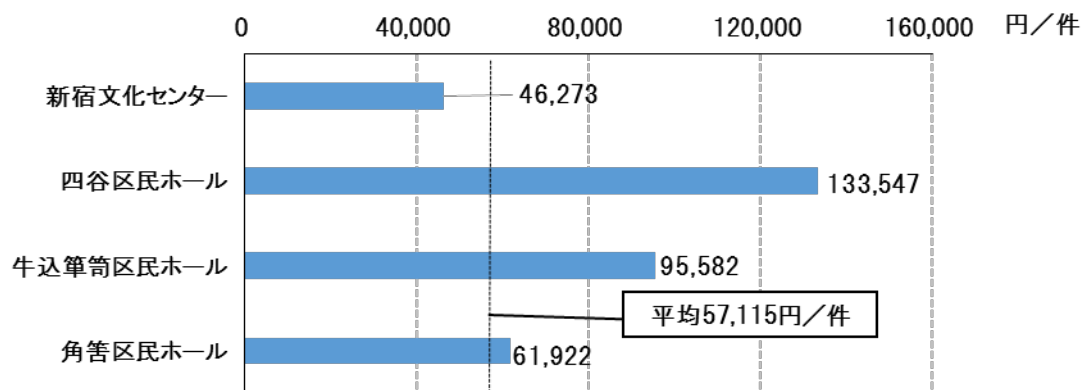
③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} / \text{貸出施設の利用件数（件）}$$

利用度当たりコストの平均は、57,115 円／件です。

施設によって差があり、もっとも高い四谷区民ホールは、もっとも低い新宿文化センターの 2.9 倍となっています。

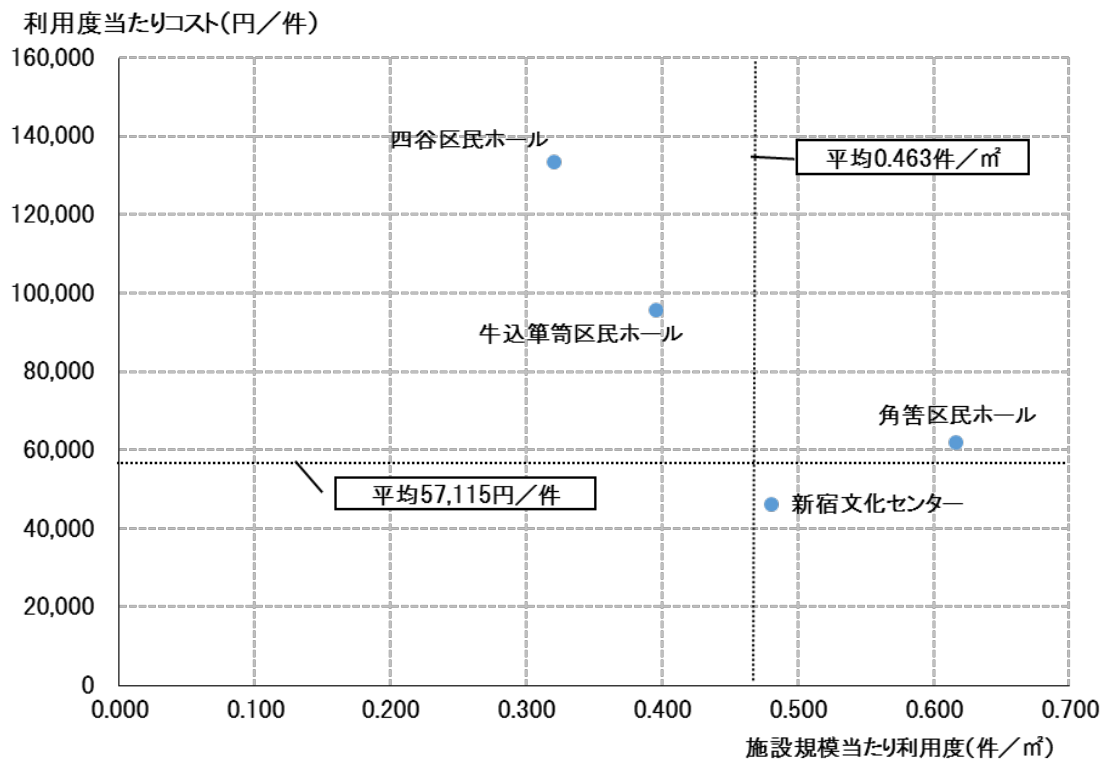
図表 2-3-5-(6)-4 ホールの利用度当たりコスト(平成 26 年度)



④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には新宿文化センターが属しています。施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には四谷区民ホール及び牛込筆筈区民ホールが属しています。

図表 2-3-5-(6)-5 ホールの施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況（平成 26 年度）



【ホールのまとめ】

- ホールには、新宿文化センター及び3か所の区民ホール（四谷、牛込筆筈、角筈）があります。
- 供用開始後 30 年以上経過したホールの割合は延床面積ベースで 76.8%と老朽化度は高くなっています。
- 年間トータルコストは 5.66 億円です。
- 施設規模当たりの利用度（利用件数）の平均は 0.463 件/㎡で、利用度（利用件数）当たりコストの平均は 57,115 円/件です。

6 福祉施設／高齢者活動・交流施設

(1) 施設概要

高齢者活動・交流施設として、ことぶき館、シニア活動館、地域交流館、高齢者いこいの家を、計 22 か所設置しています。これらの施設の多くが、保育所、子ども園、児童館等との複合施設となっています。

図表 2-3-6-(1)-1 高齢者活動・交流施設の施設概要(1)

名称	施設の概要・対象	施設数 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	運営 体制	開館日時等
ことぶき館	区内にお住まいの 60 歳以上の方が、集会や娯楽などを楽しんでいただく施設です。	3 館	直営	9:30～17:00 休館日：年末年始
シニア活動館	区内にお住まいの 50 歳以上の方に、集会や娯楽のほか、ボランティアなどの社会貢献活動の場として活用していただく施設です。	4 館	指定 管理者	9:00～18:00 休館日：年末年始
地域交流館	区内にお住まいの 60 歳以上の方に、集会や娯楽のほか、文化活動・健康の増進に向けた活動の場として活用していただく施設です。	14 館	指定 管理者	9:00～18:00 休館日：年末年始
高齢者いこいの家	高齢者の方が相互の交流を図り、生きがいのある 1 日が過ごせるように憩いの場を提供することを目的とし、都内在住の 60 歳以上の方が利用できる施設です。	1 館	直営	9:30～17:00 休館日：毎月第 3 火曜・年末年始

【ことぶき館の地域交流館等への機能転換について】

区では、ことぶき館を、シニア活動館と地域交流館へ機能転換を進めてきました。

シニア活動館は、シニア世代にも幅広く利用される施設として、ボランティアなどを中心とする活動拠点です。また、地域交流館は、趣味や生きがい活動、健康づくりなどことぶき館の交流の場としての役割に加え、介護予防に関する事業を行う施設です。

図表 2-3-6-(1)-2 高齢者活動・交流施設の施設概要(2)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
薬王寺 ことぶき館	市谷薬王寺町 51 番地	935	昭和 45	RC	薬王寺児童館	
大久保 ことぶき館	大久保一丁目 17 番 20 号	96	平成 27	S		西大久保公園内仮 施設
高田馬場第二 ことぶき館(現 高田馬場地域 交流館)	高田馬場一丁目 4 番 17 号	516	昭和 46	RC	高田馬場第二保育園・ 高田馬場第二児童館	平成 27 年 4 月から 地域交流館に機能 転換
高田馬場 シニア活動館	高田馬場三丁目 39 番 29 号	531	平成 19	RC		
信濃町 シニア活動館	信濃町 20 番地	483	昭和 46	RC	信濃町子ども家庭支援セ ンター・しなのまち子ども園	

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
戸山 シニア活動館	戸山二丁目 27 番 2 号	1,276	昭和 52	S		土地は東京都から行政財産使用許可により借用
西新宿 シニア活動館	西新宿四丁目 8 番 35 号	829	昭和 41	RC		
早稲田南町 地域交流館	早稲田南町 50 番地	327	昭和 47	RC	早稲田南町保育園・早稲田南町児童館・旧早稲田南町アパート(アパートは平成 27 年 7 月閉鎖)	
西早稲田 地域交流館	西早稲田一丁目 22 番 2 号	510	平成 5	SRC		
新宿 地域交流館	新宿五丁目 3 番 13 号	247	昭和 52	RC	新宿第二保育園(平成 27 年 10 月から私立保育園)	
山吹町 地域交流館	山吹町 342 番地	237	昭和 59	RC		
上落合 地域交流館	上落合二丁目 28 番 8 号	510	昭和 59	SRC	上落合児童館	土地は個人から賃貸借契約により借用
北新宿 地域交流館	北新宿二丁目 3 番 7 号	347	平成 6	RC	柏木特別出張所・柏木地域センター・柏木子ども園(乳児園舎)・北新宿第一児童館	
下落合 地域交流館	下落合三丁目 12 番 33 号	311	昭和 53	RC		
百人町 地域交流館	百人町二丁目 18 番 21 号	340	昭和 49	RC	百人町保育園・百人町児童館	
東五軒町 地域交流館	東五軒町 5 番 24 号	416	昭和 50	RC	東五軒町保育園・東五軒町児童館	
中町 地域交流館	中町 25 番地	251	昭和 58	RC	あいじつ子ども園(乳児園舎)・中町図書館・中町児童館	
本塩町 地域交流館	本塩町 8 番地	507	平成 3	RC	本塩町児童館・本塩町備蓄倉庫	
北山伏 地域交流館	北山伏町 2 番 17 号	338	昭和 45	RC	北山伏児童館	
中落合 地域交流館	中落合二丁目 7 番 24 号	322	昭和 52	RC	中落合第二保育園・中落合子ども家庭支援センター	
北新宿第二 地域交流館	北新宿三丁目 20 番 2 号	420	昭和 56	RC	北新宿子ども園・北新宿子ども家庭支援センター・北新宿図書館・北新宿生涯学習館・北新宿防災倉庫	
高齢者いこいの家清風園	中落合一丁目 7 番 26 号	1,265	昭和 55	RC		

※薬王寺ことぶき館(薬王寺児童館併設)については、平成 28 年度～29 年度に、段差解消工事やエレベーター設置、誰でもトイレ設置等のバリアフリー改修を行います。これに併せて私立認可保育所を整備するほか、薬王寺ことぶき館については、従来の地域交流館に新たな機能を付加し、健康寿命の延伸に向けた体力向上の取組み等を実施する施設に機能転換します。

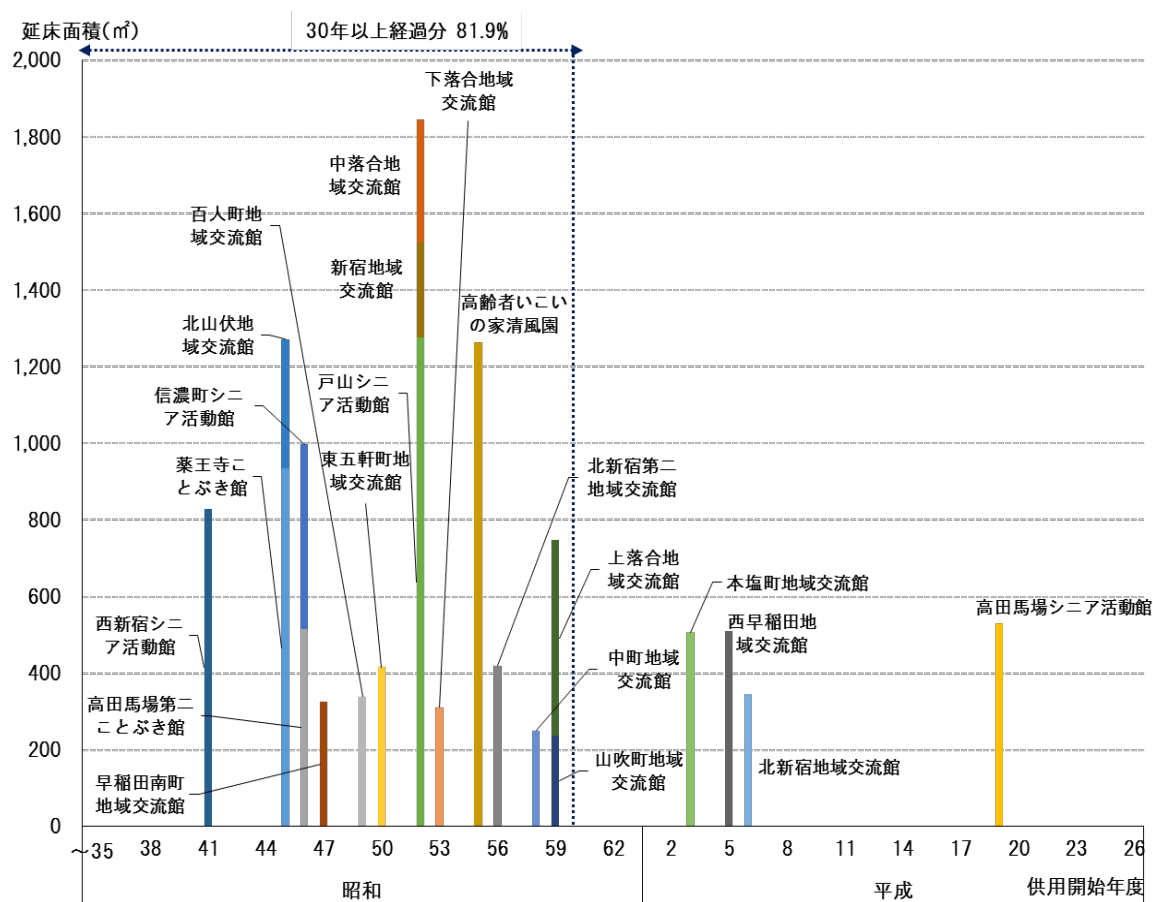
※大久保ことぶき館(西大久保公園内仮施設)は、平成 27 年 3 月まで大久保第二保育園を併設していましたが、平成 27 年 9 月に単独施設として再設置しました。

今後は、ことぶき館の代替機能として、旧大久保特別出張所(大久保一丁目 10 番 8 号)に建設する認知症グループホームに高齢者地域交流スペースを併設し、生きがいづくりや地域での仲間づくり、介護予防等に取り組むこととしています。

(2) 老朽化度

30年以上経過した高齢者活動・交流施設の割合は、延床面積ベースで81.9%と老朽化度は非常に高くなっています。昭和40～50年代に供用開始された施設が多いことが理由です。

図表 2-3-6-(2) 高齢者活動・交流施設の供用開始年度別延床面積

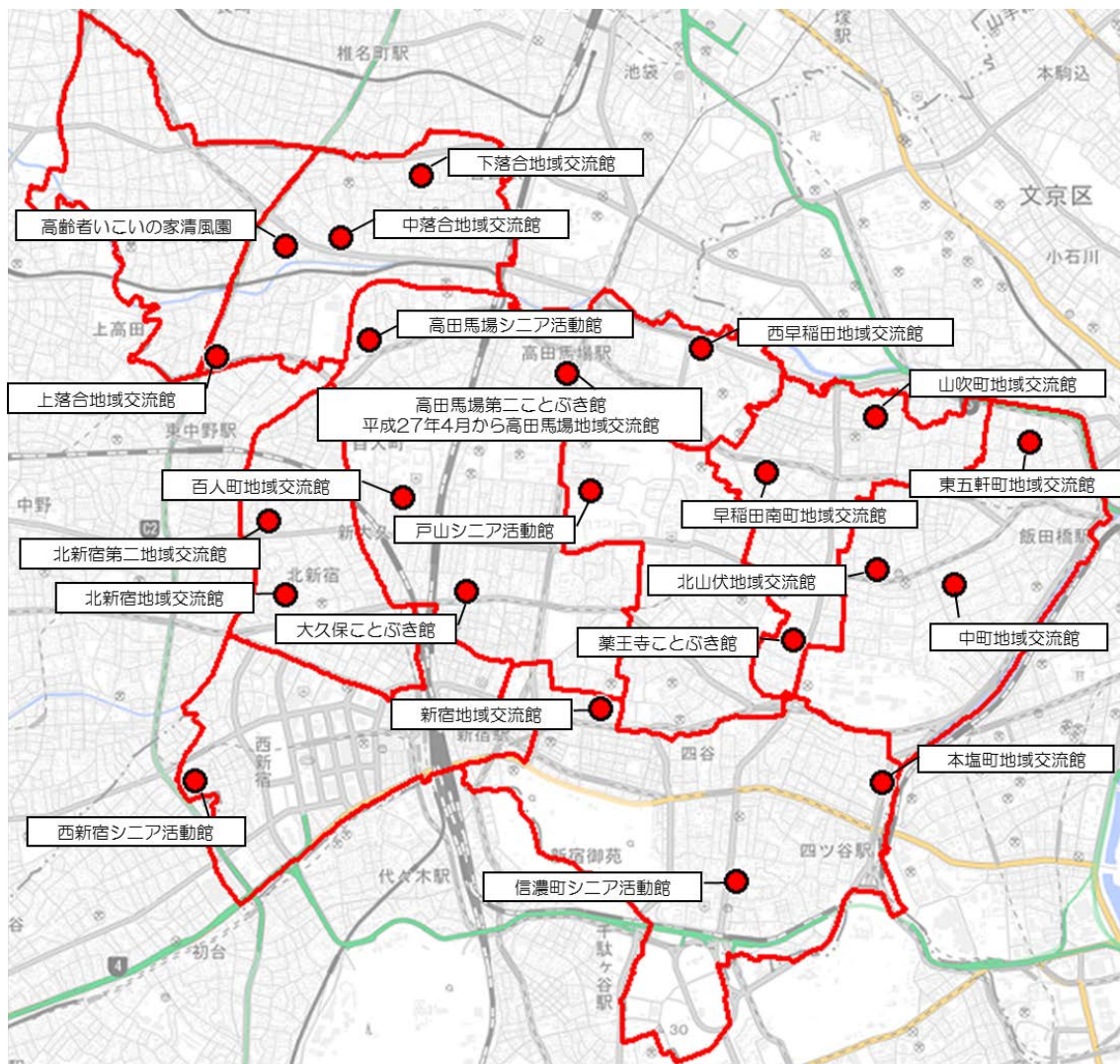


(3) 施設配置状況

高齢者活動・交流施設は、区内全域に設置されています。

配置状況は下図のとおりです。

図表 2-3-6-(3) 高齢者活動・交流施設の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

高齢者活動・交流施設には、主に活動団体が団体利用するための大広間や和室のほか、主に個人利用のための談話室や娛樂室などが設けられています。各施設の利用状況は下表のとおりです。

図表 2-3-6-(4)-1 高齢者活動・交流施設利用状況(平成 26 年度)

施設名		定員 (人)	利用者数(人)		
			個人利用	団体利用	合計
ことぶき館	薬王寺ことぶき館	80	13,121	5,417	18,538
	大久保ことぶき館	30	—	3,373	3,373
	高田馬場第二ことぶき館	100	15,619	6,678	22,297
シニア活動館	高田馬場シニア活動館	140	27,153	13,571	40,724
	信濃町シニア活動館	120	22,617	6,855	29,472
	戸山シニア活動館	240	38,833	27,406	66,239
	西新宿シニア活動館	200	26,001	7,665	33,666
地域交流館	早稲田南町地域交流館	70	23,050	6,967	30,017
	西早稲田地域交流館	100	22,675	11,225	33,900
	新宿地域交流館	40	15,348	3,070	18,418
	山吹町地域交流館	40	15,450	6,588	22,038
	上落合地域交流館	100	27,256	11,943	39,199
	北新宿地域交流館	80	19,330	3,192	22,522
	下落合地域交流館	60	19,292	7,173	26,465
	百人町地域交流館	100	20,763	2,725	23,488
	東五軒町地域交流館	60	17,661	5,928	23,589
	中町地域交流館	50	11,331	4,336	15,667
	本塩町地域交流館	100	18,961	9,061	28,022
	北山伏地域交流館	80	14,071	5,445	19,516
	中落合地域交流館	100	9,231	2,520	11,751
	北新宿第二地域交流館	100	17,640	1,752	19,392
高齢者いこいの家清風園		150	26,991	—	26,991

ことぶき館及び清風園は直営施設であり、下表のとおり職員を配置しています。

図表 2-3-6-(4)-2 高齢者活動・交流施設職員配置(単位:人)

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
薬王寺ことぶき館	1.5	0	1	0	2.5
大久保ことぶき館	0	0	1	0	1
高田馬場第二ことぶき館	1.5	0	0.5	0	2
高齢者いこいの家清風園	0	0	2	0	2

※他の施設等と兼務の職員が配置されている場合は、0.5 人で計上しています。

※高田馬場第二ことぶき館は、平成 27 年 4 月に地域交流館に機能転換し、指定管理者制度に移行しています。

(5) コスト状況

平成 26 年度の高齢者活動・交流施設の年間費用：トータルコストは 6.25 億円です。

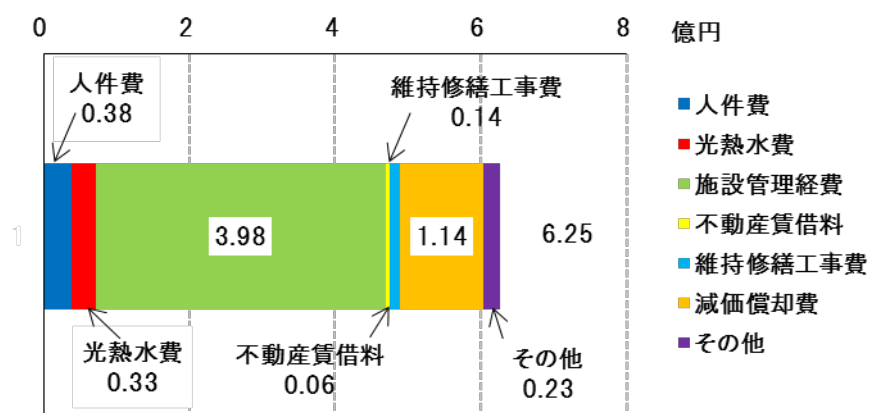
図表 2-3-6-(5)-1 高齢者活動・交流施設の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	薬王寺 ことぶき 館	大久保 ことぶき 館	高田馬場 第二こと ぶき館	高田馬場 シニア活 動館	信濃町 シニア活 動館	戸山 シニア活 動館	西新宿 シニア活 動館	早稲田南 町地域交 流館
費用(トータルコスト)	28,480	15,390	23,634	30,805	24,305	49,059	38,737	20,928
人件費	15,949	2543	14677	0	0	0	0	0
光熱水費	1,154	454	1,796	0	2,204	3,277	0	1,825
施設管理経費	6,137	7,380	1,519	26,044	19,463	25,185	29,295	15,399
不動産賃借料	0	5,013	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	152	0	5,277	0	0	135	0	1,357
減価償却費	5,087	0	3,096	4,761	2,638	20,461	9,442	2,346
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
収入	30	0	98	25	0	59	23	0
利用料金等	0	0	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	30	0	98	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	25	0	59	23	0
収支差額(ネットコスト)	28,450	15,390	26,267	30,780	24,305	49,000	38,714	20,928

	西早稲田 地域交流 館	新宿 地域交流 館	山吹町 地域交流 館	上落合 地域交流 館	北新宿 地域交流 館	下落合 地域交流 館	百人町 地域交流 館	東五軒町 地域交流 館
費用(トータルコスト)	35,591	27,018	28,637	35,952	17,341	27,765	19,740	21,218
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水費	0	3,007	0	783	0	0	1,964	1,224
施設管理経費	21,813	21,818	25,351	23,150	11,436	25,306	15,507	15,947
不動産賃借料	0	0	0	1,481	0	0	0	0
維持修繕工事費	34	106	1,047	383	0	0	0	189
減価償却費	10,859	2,087	2,239	5,646	5,905	2,459	2,268	3,858
その他	2,885	0	0	4,509	0	0	0	0
収入	59	0	0	0	0	1	0	5
利用料金等	0	0	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	59	0	0	0	0	1	0	5
収支差額(ネットコスト)	35,532	27,018	28,637	35,952	17,341	27,764	19,740	21,213

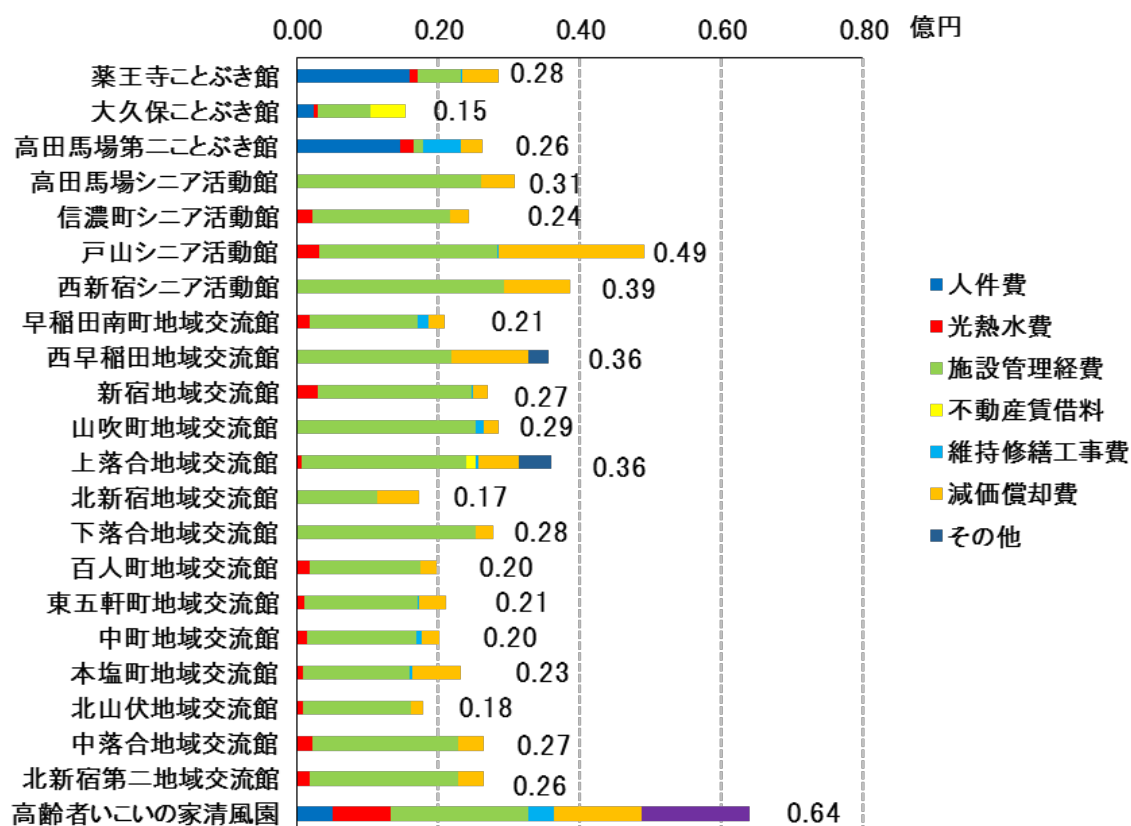
	中町 地域交流 館	本塩町 地域交流 館	北山伏 地域交流 館	中落合 地域交流 館	北新宿 第二地域 交流館	高齢者い こいの家 清風園	合計
費用(トータルコスト)	20,165	23,160	17,870	26,521	26,381	63,989	625,414
人件費	0	0	0	0	0	5,086	38,255
光熱水費	1,446	851	882	2,358	1,844	8,170	33,238
施設管理経費	15,579	15,060	15,287	20,485	20,946	19,431	397,538
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0	6,494
維持修繕工事費	691	526	0	0	0	3,696	13,595
減価償却費	2,450	6,723	1,701	3,678	3,591	12,316	113,611
その他	0	0	0	0	0	15,290	22,684
収入	0	0	0	0	0	1,517	1,817
利用料金等	0	0	0	0	0	12	12
国・都補助金	0	0	0	0	0	1,412	1,539
その他	0	0	0	0	0	94	266
収支差額(ネットコスト)	20,165	23,160	17,870	26,521	26,381	62,472	623,597

図表 2-3-6-(5)-2 高齢者活動・交流施設のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、施設規模が大きい高齢者いきいの家清風園が0.64 億円、戸山シニア活動館が0.49 億円となっており、その他はおおむね0.2 億円～0.4 億円程度となっています。

図表 2-3-6-(5)-3 高齢者活動・交流施設の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積（㎡）、コストは年間費用：トータルコスト（円）、利用度は利用者数（人）の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積（円／㎡）
- ② 施設規模当たり利用度：利用者数／延床面積（人／㎡）
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／利用者数（円／人）

の3つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-6-(6)-1

高齢者活動・交流施設の施設別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

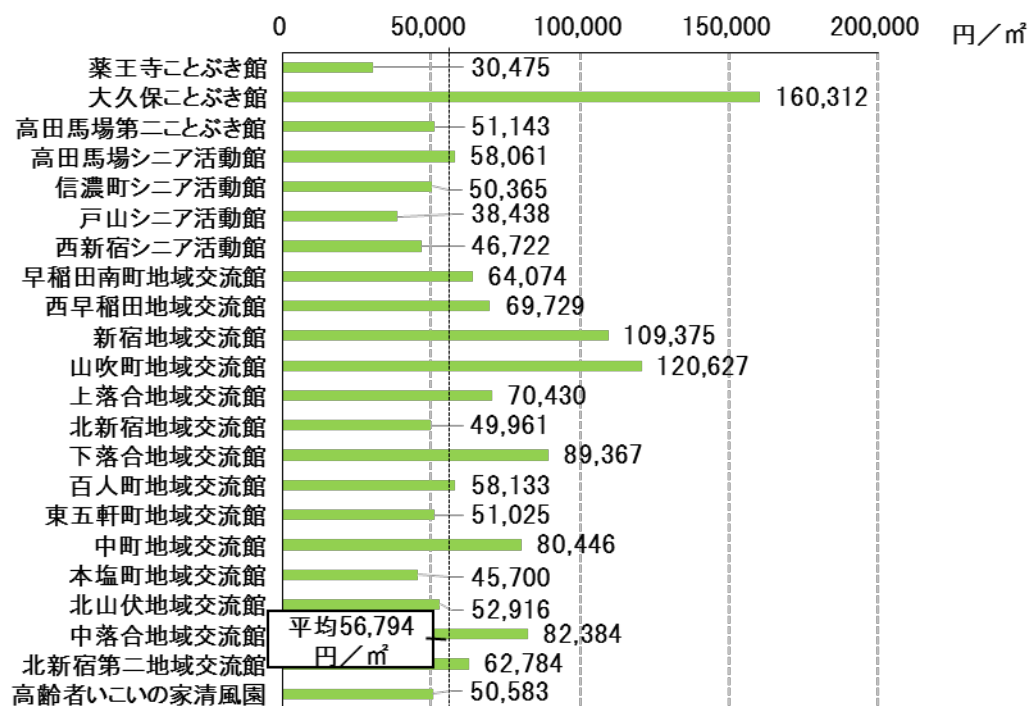
施設名	延床面積(㎡)	利用者数(人)	費用(トータルコスト、千円)
薬王寺ことぶき館	935	18,538	28,480
大久保ことぶき館	96	3,373	15,390
高田馬場第二ことぶき館	516	22,297	23,634
高田馬場シニア活動館	531	40,724	30,805
信濃町シニア活動館	483	29,472	24,305
戸山シニア活動館	1,276	66,239	49,059
西新宿シニア活動館	829	33,666	38,737
早稲田南町地域交流館	327	30,017	20,928
西早稲田地域交流館	510	33,900	35,591
新宿地域交流館	247	18,418	27,018
山吹町地域交流館	237	22,038	28,637
上落合地域交流館	510	39,199	35,952
北新宿地域交流館	347	22,522	17,341
下落合地域交流館	311	26,465	27,765
百人町地域交流館	340	23,488	19,740
東五軒町地域交流館	416	23,589	21,218
中町地域交流館	251	15,667	20,165
本塩町地域交流館	507	28,022	23,160
北山伏地域交流館	338	19,516	17,870
中落合地域交流館	322	11,751	26,521
北新宿第二地域交流館	420	19,392	26,381
高齢者いきいの家清風園	1,265	26,991	63,989

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト（円）} \div \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たりコストの平均は 56,794 円／㎡です。施設によって大きな差があり、もっとも高い大久保ことぶき館は、もっとも低い薬王寺ことぶき館の 5.2 倍となっています。

図表 2-3-6-(6)-2 高齢者活動・交流施設の施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

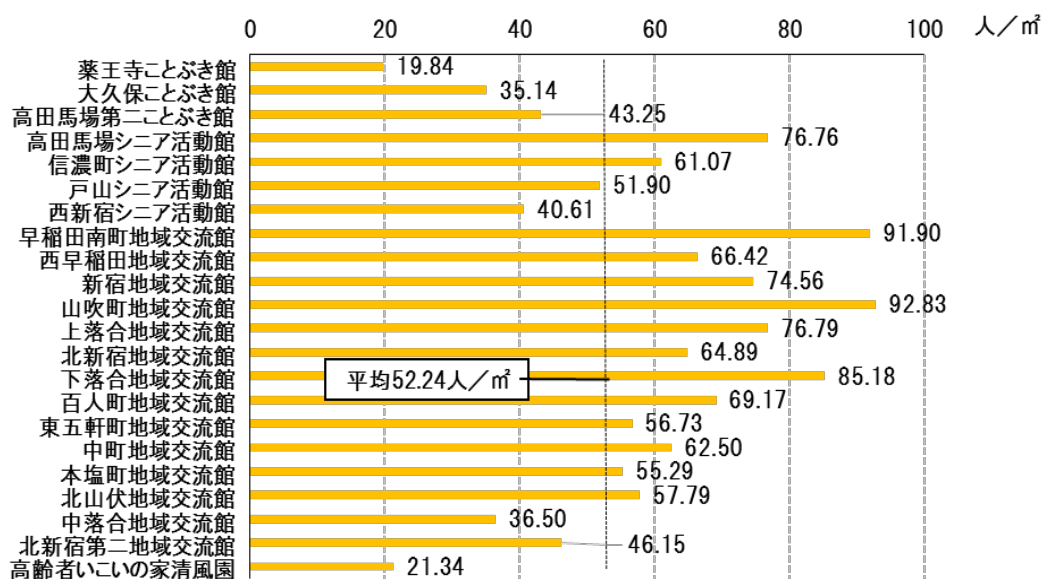


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{利用者数（人）} / \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は、52.24 人／㎡です。施設によって大きな差があり、もっとも高い山吹町地域交流館は、もっとも低い薬王寺ことぶき館の 4.7 倍となっています。

図表 2-3-6-(6)-3 高齢者活動・交流施設の施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

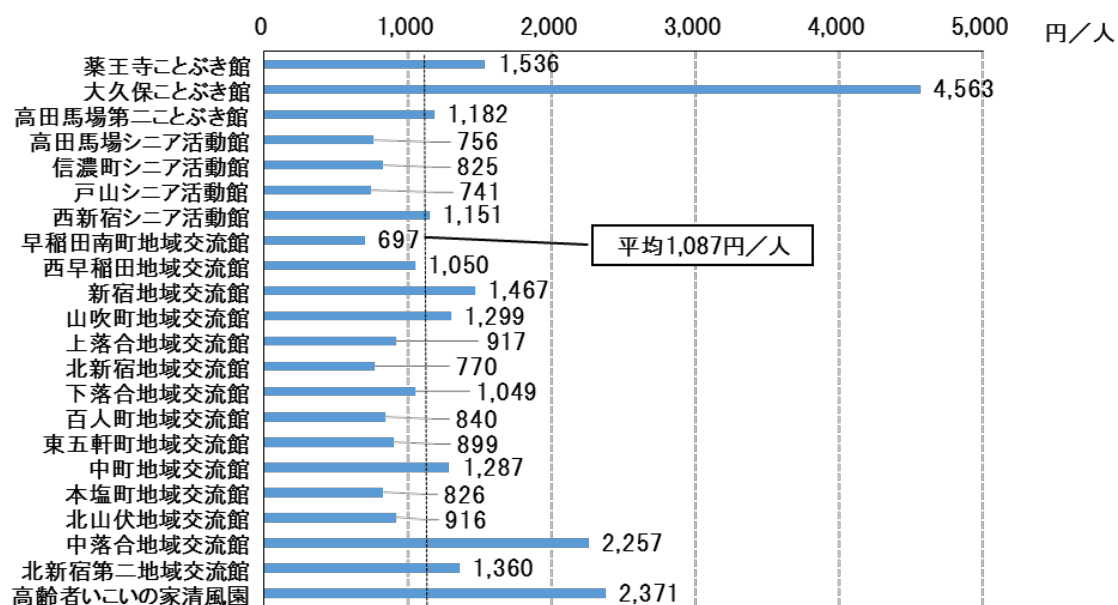


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} / \text{利用件数（人）}$$

平均は 1,087 円／人です。施設によって差があり、もっとも高い大久保ことぶき館は、もっとも低い早稲田南町地域交流館の 6.5 倍となっています。

図表 2-3-6-(6)-4 高齢者活動・交流施設の利用度当たりコスト(平成 26 年度)



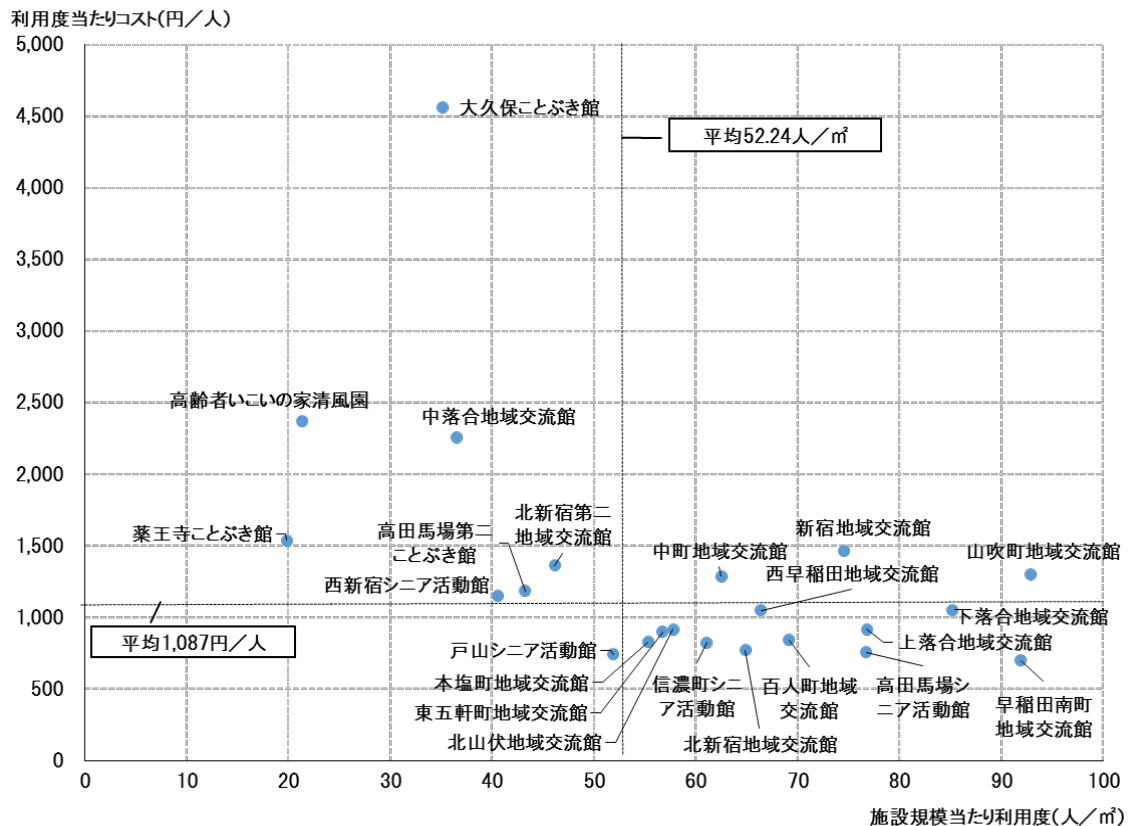
④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には、早稲田南町地域交流館、下落合地域交流館及び高田馬場シニア活動館などが属しています。

施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には、高齢者いこいの家清風園、大久保ことぶき館及び薬王寺ことぶき館などが属しています。

図表 2-3-6-(6)-5

高齢者活動・交流施設の施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況(平成 26 年度)



【高齢者活動・交流施設のまとめ】

- 高齢者活動・交流施設には、ことぶき館(3)、シニア活動館(4)、地域交流館(14)、高齢者いこいの家(1)があります。
- 30 年以上経過した高齢者活動・交流施設の割合は延床面積ベースで 81.9%と老朽化度は非常に高くなっています。
- 年間トータルコストは 6.25 億円です。
- 施設規模当たり利用度（利用者数）の平均は 52.24 人/㎡で、利用度（利用者数）当たりコストの平均は 1,087 円/人となっています。

7 福祉施設／高齢者福祉施設

(1) 施設概要

高齢者在宅サービスセンターは、介護を必要とする在宅の高齢者等及びその家族の福祉の向上を図るための施設で、7 施設あります。

また、特別養護老人ホームは、在宅での介護が困難になった高齢者のセーフティネットとして整備している施設で、2 施設あります。

なお、百人町及び東戸山高齢者在宅サービスセンターは指定管理者が管理運営を行っており、これ以外の7施設は社会福祉法人が自主運営しています。

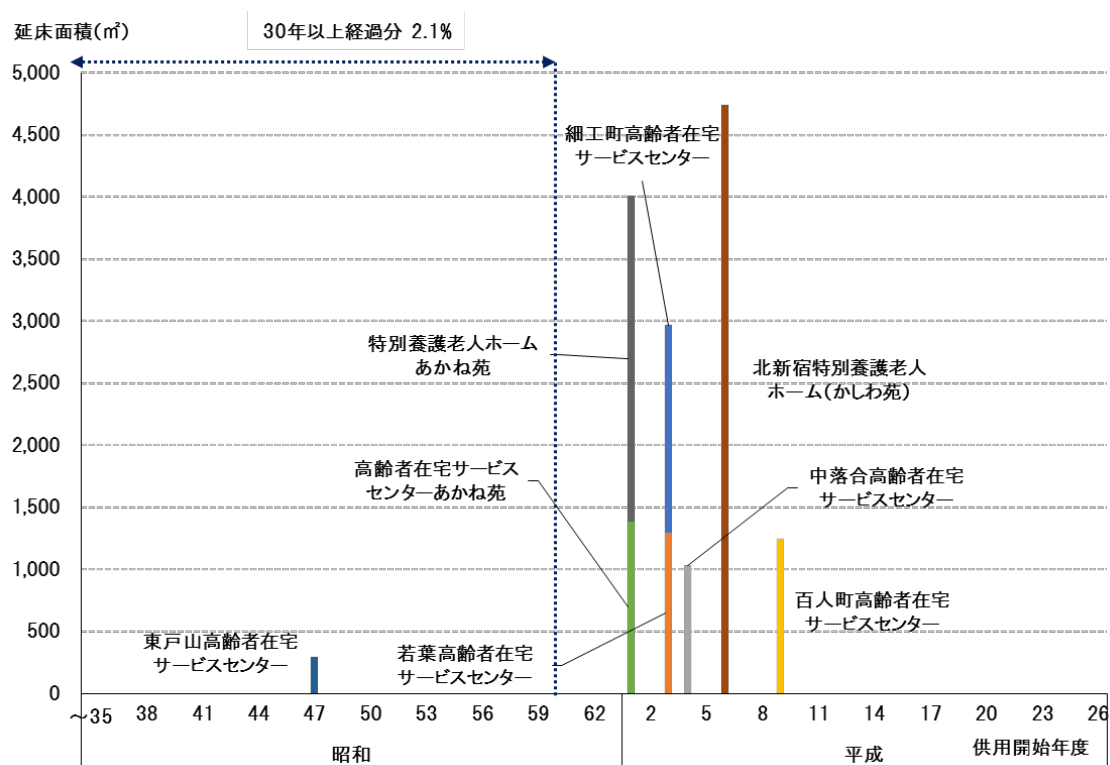
図表 2-3-7-(1) 高齢者福祉施設の施設概要・運営形態

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考	運営 形態
北新宿高齢者在宅サービスセンター	北新宿三丁目 27 番 6 号	—	平成 6	RC	北新宿特別養護老人ホーム・北新宿三丁目第1区営住宅・第1区民住宅・事業住宅	延床面積は北新宿特別養護老人ホームに計上	自主運営
若葉高齢者在宅サービスセンター	若葉三丁目 6 番地	1,295	平成 3	RC			自主運営
中落合高齢者在宅サービスセンター	中落合一丁目 7 番 1 号	1,031	平成 4	RC		土地は東京都から賃貸借契約により借用	自主運営
百人町高齢者在宅サービスセンター	百人町三丁目 30 番 2 号	1,245	平成 9	RC		土地は東京都から無償貸付により借用	指定 管理者
細工町高齢者在宅サービスセンター	細工町 1 番 3 号	1,670	平成 3	RC			自主運営
高齢者在宅サービスセンターあかね苑	北山伏町 2 番 12 号	1,388	平成元	RC	特別養護老人ホームあかね苑		自主運営
東戸山高齢者在宅サービスセンター	戸山二丁目 34 番 2 号	298	昭和 47	RC	東戸山小学校	土地は財務省から有償貸付により借用	指定 管理者
北新宿特別養護老人ホーム(かしわ苑)	北新宿三丁目 27 番 6 号	4,743	平成 6	RC	北新宿高齢者在宅サービスセンター・北新宿三丁目第1区営住宅・第1区民住宅・事業住宅		自主運営
特別養護老人ホームあかね苑	北山伏町 2 番 12 号	2,620	平成元	RC	高齢者在宅サービスセンターあかね苑		自主運営

(2) 老朽化度

30年以上経過した高齢者福祉施設の割合は、延床面積ベースで2.1%と老朽化度は非常に低くなっています。多くの高齢者福祉施設が平成に入ってから供用開始された施設であることが理由です。

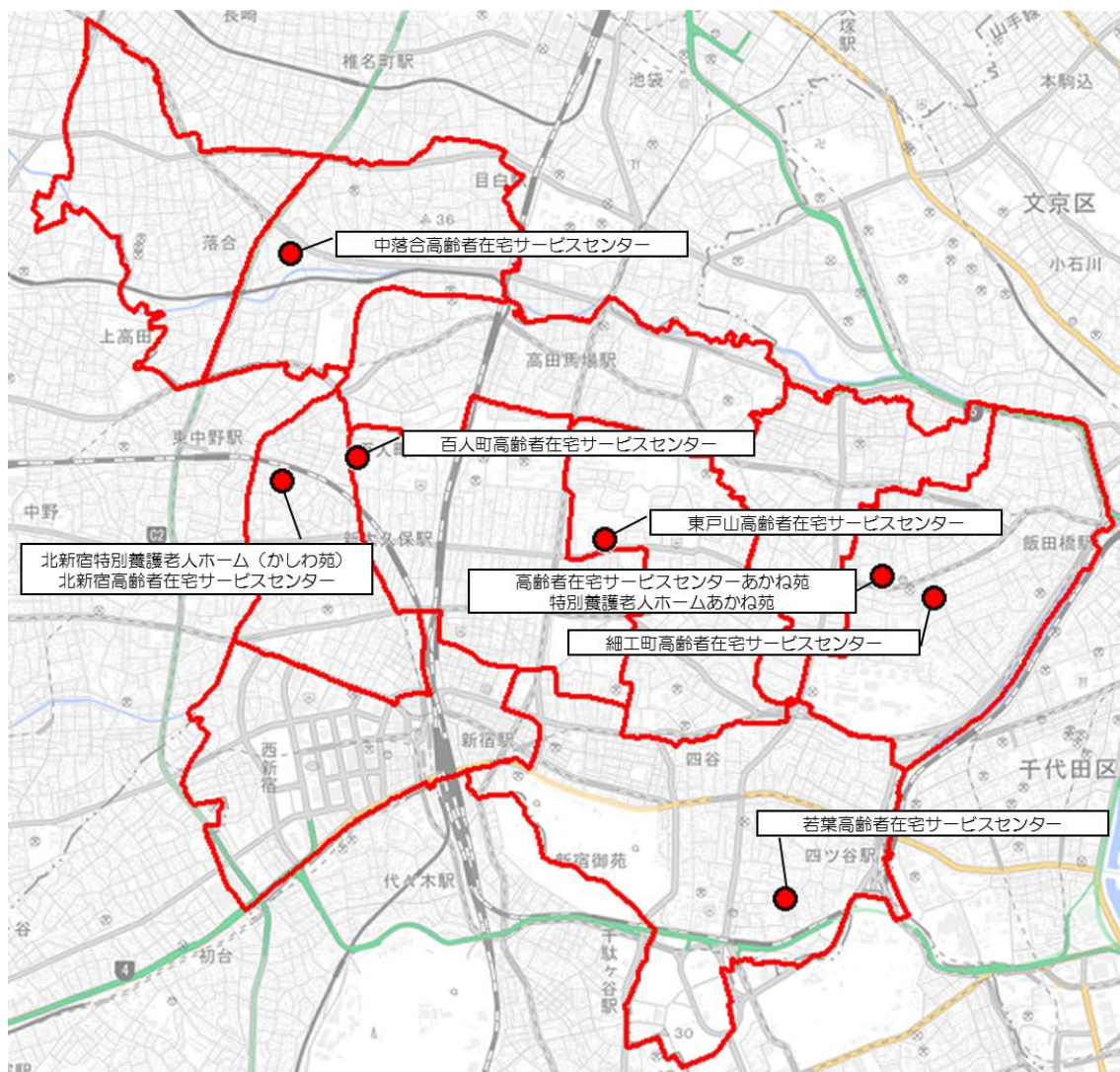
図表 2-3-7-(2) 高齢者福祉施設の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

高齢者福祉施設の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-7-(3) 高齢者福祉施設の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

高齢者在宅サービスセンターでは、一般通所介護、認知症対応型通所介護、介護予防通所介護を行っています。それぞれの延利用人数データは下表のとおりです。

図表 2-3-7-(4)-1 高齢者在宅サービスセンター利用状況(平成 26 年度)

施設名	延利用人数(人)		
	一般通所介護事業	認知症対応型通所介護事業	介護予防通所介護事業
北新宿高齢者在宅サービスセンター	8,900	3,290	1,037
若葉高齢者在宅サービスセンター	9,166	2,381	1,193
中落合高齢者在宅サービスセンター	7,305	1,780	586
百人町高齢者在宅サービスセンター	9,192	2,746	1,251
細工町高齢者在宅サービスセンター	8,664	1,573	1,496
高齢者在宅サービスセンターあかね苑	9,637	2,624	—
東戸山高齢者在宅サービスセンター	5,565	—	—

特別養護老人ホームの入居及びショートステイの稼働率は 100%前後となっています。

図表 2-3-7-(4)-2 特別養護老人ホーム利用状況(平成 26 年度)

施設名	稼働率(%)	
	特別養護老人ホーム	ショートステイ
北新宿特別養護老人ホーム(かしわ苑)	91.2	93.0
特別養護老人ホームあかね苑	95.9	105.2

なお、高齢者在宅サービスセンター及び特別養護老人ホームについては、施設の利用度の指標として適した統計データがないため、(6)のコスト比較分析は行いません。

(5) コスト状況

平成 26 年度の年間費用：トータルコストは、2.17 億円となっています。

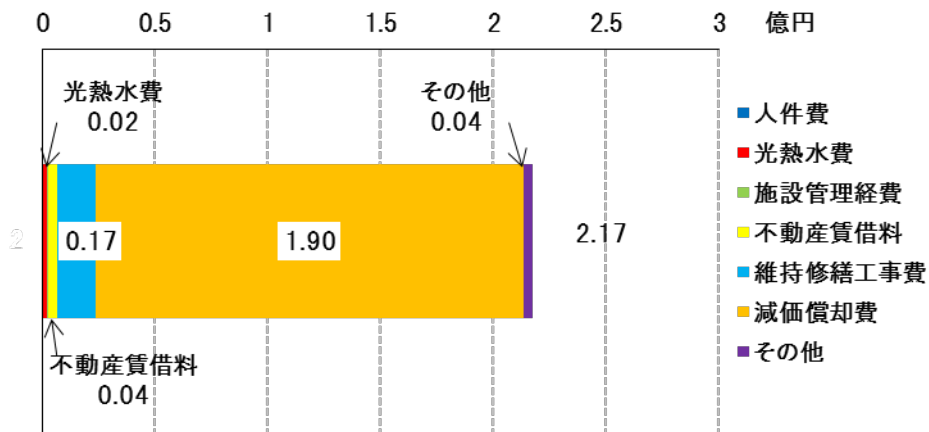
図表 2-3-7-(5)-1 高齢者福祉施設の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	若葉高齢者 在宅サービス センター	中落合高齢者 在宅サービス センター	百人町高齢者 在宅サービス センター	細工町高齢者 在宅サービス センター	高齢者在宅サ ービスセンター あかね苑
費用(トータルコスト)	16,380	21,625	13,432	23,998	14,543
人件費	0	0	0	0	0
光熱水費	0	0	0	0	0
施設管理経費	32	32	39	32	0
不動産賃借料	0	4,223	0	0	0
維持修繕工事費	1,070	1,825	1,535	1,671	0
減価償却費	15,277	15,545	10,627	22,295	14,543
その他	0	0	1,231	0	0
収入	0	0	0	0	0
利用料金等	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	16,380	21,625	13,432	23,998	14,543

	東戸山高齢者 在宅サービス センター	北新宿特別養 護老人ホーム (かしわ苑)	特別養護老人 ホームあかね 苑	合計
費用(トータルコスト)	4,388	84,890	38,133	217,389
人件費	0	0	0	0
光熱水費	2,319	0	0	2,319
施設管理経費	0	32	32	201
不動産賃借料	0	0	0	4,223
維持修繕工事費	973	2,728	7,094	16,896
減価償却費	1,096	82,129	28,408	189,920
その他	0	0	2,598	3,830
収入	0	0	0	0
利用料金等	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	4,388	84,890	38,133	217,389

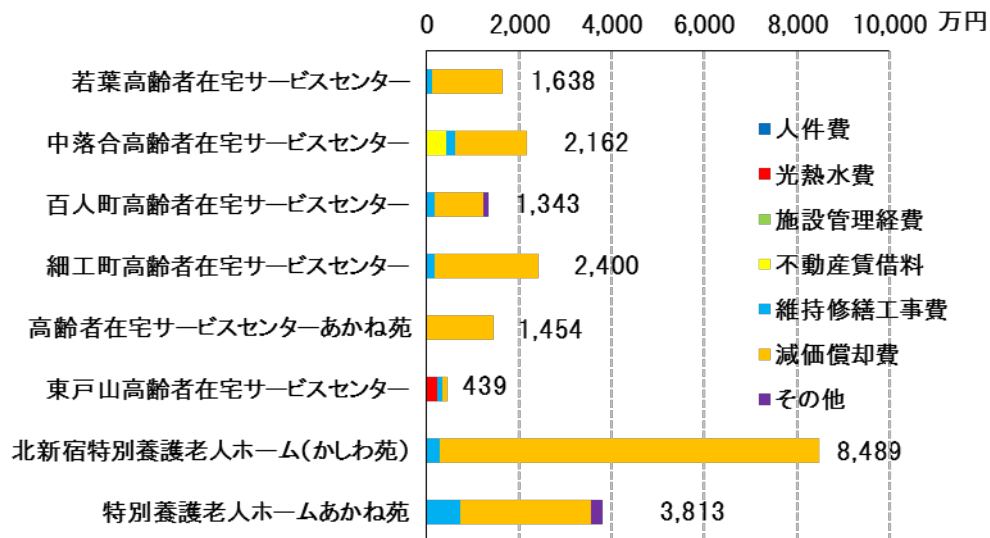
※北新宿高齢者在宅サービスセンターに係るコストは、併設の北新宿特別養護老人ホーム(かしわ苑)に含めています。

図表 2-3-7-(5)-2 高齢者福祉施設のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、高齢者在宅サービスセンターは 439 万円～2,400 万円となっています。なお、北新宿特別養護老人ホーム（かしわ苑）は、併設の北新宿高齢者在宅サービスセンターに係るコストが含まれています。

図表 2-3-7-(5)-3 高齢者福祉施設の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



【高齢者福祉施設のまとめ】

- 高齢者福祉施設には、高齢者在宅サービスセンター（7）、特別養護老人ホーム（2）があります。
- 供用開始後 30 年以上経過した高齢者福祉施設の割合は延床面積ベースで 2.1%と老朽化度は非常に低くなっています。
- 年間トータルコストは 2.17 億円です。

8 福祉施設／障害者福祉施設

(1) 施設概要

障害者福祉施設としては、あゆみの家、障害者福祉センターなど 6 施設があります。
 なお、障害者生活支援センターは平成 27 年 7 月に新たに開設した施設です。

図表 2-3-8-(1)-1 障害者福祉施設の施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
あゆみの家	西落合一丁目 30 番 10 号	2,353	昭和 51	RC		
障害者福祉センター	戸山一丁目 22 番 2 号	2,307	昭和 59	RC	新宿福祉作業所・ 備蓄倉庫	
新宿福祉作業所	戸山一丁目 22 番 2 号	1,364	昭和 59	RC	障害者福祉センター・ 備蓄倉庫	
高田馬場福祉作業所	高田馬場四丁目 10 番 2 号	1,208	平成 25	RC	新宿リサイクル活動 センター	
新宿生活実習所	弁天町 50 番地	1,721	昭和 50	RC	弁天町保育園・牛込 保健センター	
障害者生活支援センター	百人町四丁目 4 番 2 号	767	平成 26	RC		平成 27 年 7 月 開設

6 施設とも指定管理者制度を導入しています。

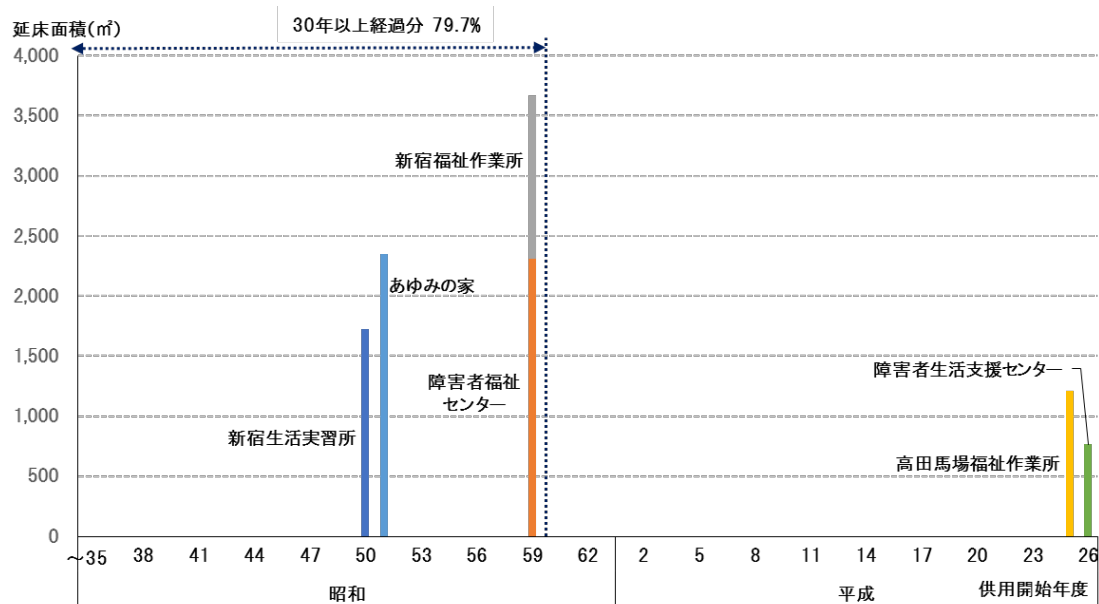
図表 2-3-8-(1)-2 障害者福祉施設の施設概要(2)

施設名	サービス事業の内容	運営体制	開館日時等
あゆみの家	生活介護、短期入所、日中ショートステイ、 土曜ケアサポート	指定管理者	生活介護…8:30～17:00 休館日：土・日曜、祝日、年末年始
障害者福祉センター	生活介護、就労継続支援(B型)、短期入所、 日中ショートステイ、相談支援、機能訓練、 講習会等	指定管理者	9:00～21:30 休館日：第 3 日曜、祝日(日曜の場 合は翌日)、年末年始
新宿福祉作業所	就労継続支援(B型)	指定管理者	9:00～17:00 休館日：土・日曜、祝日、年末年始
高田馬場福祉作業所	就労継続支援(B型)	指定管理者	9:00～17:00 休館日：土・日曜、祝日、年末年始
新宿生活実習所	生活介護、短期入所、日中ショートステイ	指定管理者	生活介護…9:00～17:00 休館日：土・日曜、祝日、年末年始
障害者生活支援 センター	自立訓練(生活訓練)、宿泊型自立訓練、 短期入所、相談支援	指定管理者	自立訓練…9:00～16:00 休館日：土・日曜、祝日、年末年始

(2) 老朽化度

30 年以上経過した障害者福祉施設の割合は、延床面積ベースで 79.7%と老朽化度は高くなっています。

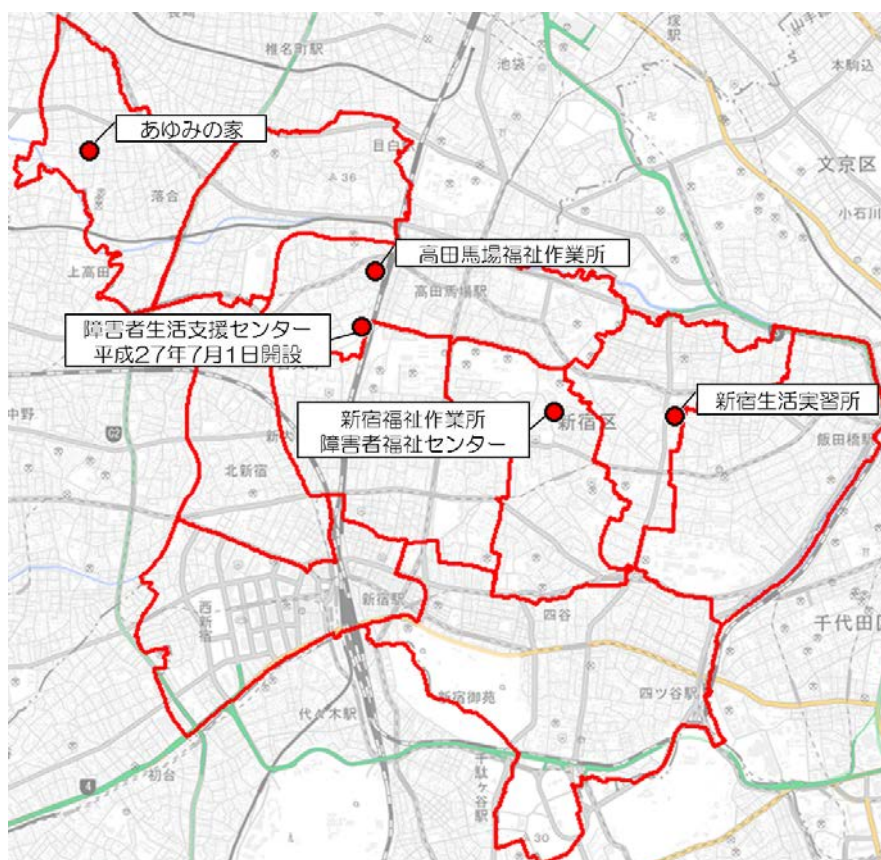
図表 2-3-8-(2) 障害者福祉施設の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

障害者福祉施設の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-8-(3) 障害者福祉施設の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

各施設の利用状況は、下表のとおりです。施設により機能が異なるため、(6)のコスト分析比較は行いません。

図表 2-3-8-(4) 障害者福祉施設の利用状況(平成 26 年度)

施設名	利用者数(人)			短期入所(ショートステイ) (泊)	日中ショートステイ (日)	地域自立生活 支援相談(件)
	機能訓練	就労継続 支援B型	生活介護			
あゆみの家	—	—	45	244	97	—
障害者福祉センター	63	12	11	342	98	1,574
新宿生活実習所	—	—	55	498	210	—
新宿福祉作業所	—	75	—	—	—	—
高田馬場福祉作業所	—	58	—	—	—	—

(5) コスト状況

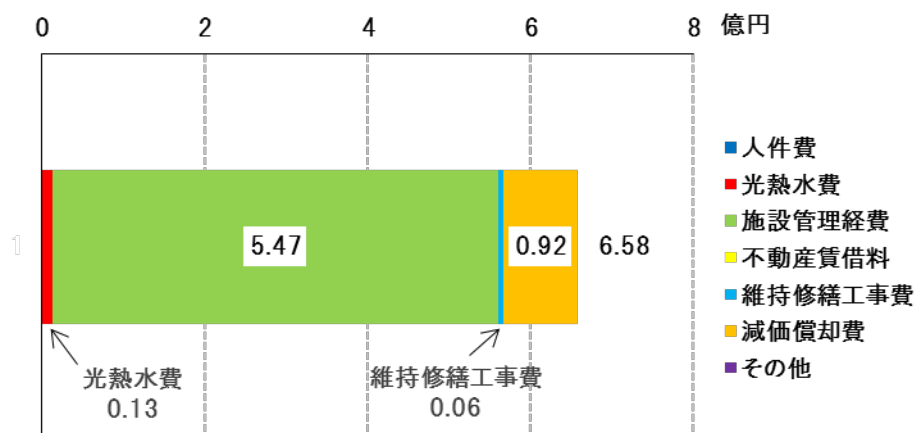
平成 26 年度の年間費用：トータルコストは、6.58 億円となっています。

図表 2-3-8-(5)-1 障害者福祉施設の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	あゆみの家	障害者福祉 センター	新宿 福祉作業所	高田馬場 福祉作業所	新宿 生活実習所	合計
費用(トータルコスト)	182,487	232,753	27,269	73,077	142,357	657,943
人件費	0	0	0	0	0	0
光熱水費	0	0	0	5,680	7,448	13,128
施設管理経費	155,025	209,322	11,267	51,599	119,402	546,615
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	0	3,631	2,782	0	0	6,413
減価償却費	27,462	19,801	13,221	15,798	15,507	91,788
その他	0	0	0	0	0	0
収入	0	21,027	0	0	0	21,027
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	21,027	0	0	0	21,027
その他	0	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	182,487	211,726	27,269	73,077	142,357	636,916

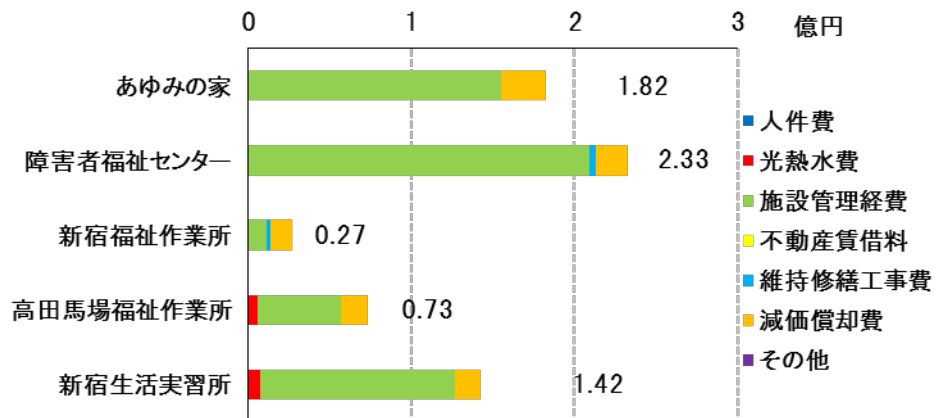
※障害者生活支援センター(平成 27 年 7 月開設)は、平成 26 年度のコストデータがないため掲載していません。

図表 2-3-8-(5)-2 障害者福祉施設のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、障害者福祉センターが 2.33 億円、あゆみの家が 1.82 億円、新宿生活実習所が 1.42 億円などとなっています。

図表 2-3-8-(5)-3 障害者福祉施設の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



【障害者福祉施設のまとめ】

- 障害者福祉施設には、あゆみの家、障害者福祉センターなど 6 施設があります。
- 供用開始後 30 年以上経過した障害者福祉施設の割合は延床面積ベースで 79.7%と老朽化度は高くなっています。
- 年間トータルコストは 6.58 億円です。

9 福祉施設／その他福祉施設

(1) 施設概要

百人町作業宿泊所は、住居及び就業に支援を要する区民等の生活の安定と自立を支援するための住居及び就業の場所です。

母子生活支援施設は、18歳未満の子どもを養育している母子家庭等で、養育が困難な場合等に、自立に向けた支援を行う入所施設です。

病児病後児保育室は、保育施設に在籍している子どもが病気や病気回復期で保育施設を利用できない期間に家庭保育ができない場合に、一時的に保育・看護する施設です。

図表 2-3-9-(1) その他福祉施設の施設概要

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考	運営 形態
百人町作業宿泊所	百人町一丁目 25番19号	741	昭和38	RC		土地の一部を鉄道事業者 から賃貸借契約により借用	直営
母子生活支援施設	(非公表)	783	平成6	RC			指定 管理者
病児病後児保育室	四谷四丁目 17番地	105	昭和53	RC	大木戸 子ども園		直営

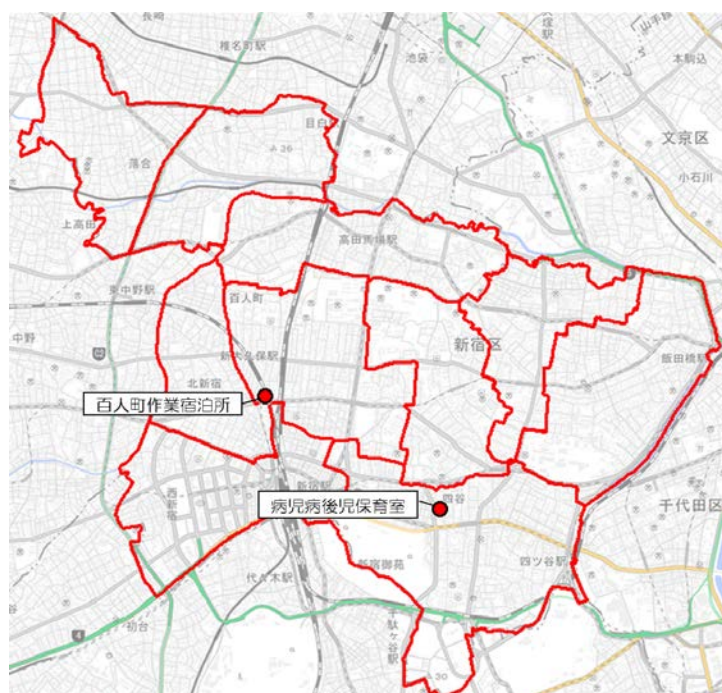
(2) 老朽化度

供用開始後30年以上経過したその他福祉施設の割合は、延床面積ベースで51.9%となっています。

(3) 施設配置状況

その他福祉施設の配置状況は下図のとおりです。

図表 2-3-9-(3) その他福祉施設の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

各施設の定員等は下表のとおりです。なお、いずれも区職員の配置はありません。

図表 2-3-9-(4) その他福祉施設の定員等

施設名	定員等
百人町作業宿泊所	居住室23、作業室15
母子生活支援施設	10世帯、緊急一時保護2世帯
病児病後児保育室	8:00～18:00 延長保育 7:30～18:30

(5) コスト状況

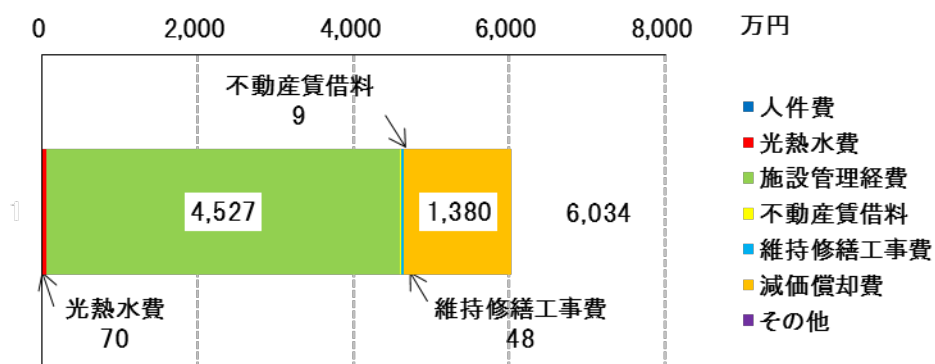
平成 26 年度の年間費用：トータルコストは 6,034 万円となっています。

百人町作業宿泊所は減価償却が終了しており、減価償却費がゼロとなっています。

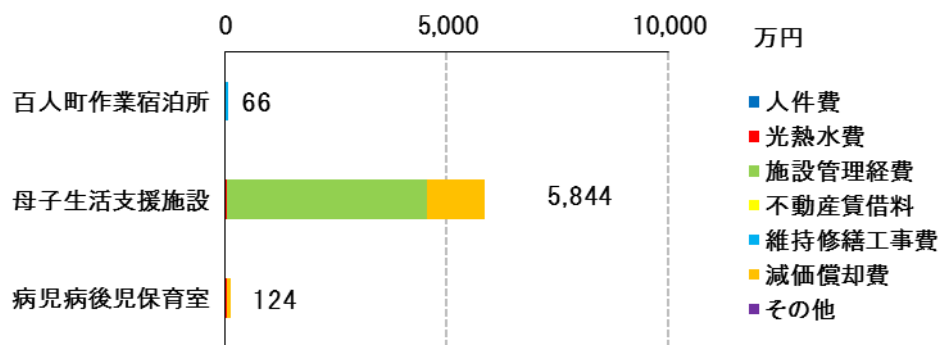
図表 2-3-9-(5)-1 その他福祉施設の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	百人町作業宿泊所	母子生活支援施設	病児病後児保育室	合計
費用(トータルコスト)	657	58,437	1,241	60,335
人件費	0	0	0	0
光熱水費	12	308	378	698
施設管理経費	78	45,195	0	45,273
不動産賃借料	87	0	0	87
維持修繕工事費	481	0	0	481
減価償却費	0	12,933	863	13,796
その他	0	0	0	0
収入	1,061	23,741	590	25,392
利用料金等	1,061	127	0	1,188
国・都補助金	0	23,614	0	23,614
その他	0	0	590	590
収支差額(ネットコスト)	△404	34,696	651	34,943

図表 2-3-9-(5)-2 その他福祉施設のトータルコスト(平成 26 年度)



図表 2-3-9-(5)-3 その他福祉施設の施設別トータルコスト(平成 26 年度)



【その他福祉施設のまとめ】

- その他福祉施設としては、百人町作業宿泊所及び母子生活支援施設及び病児病後児保育室があります。
- 供用開始後 30 年以上経過したその他福祉施設の割合は延床面積ベースで 51.9%となっています。
- 年間トータルコストは 6,034 万円です。

10 子育て支援施設／保育園

(1) 施設概要

区では、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どもが育つ場の整備と充実を図るため、地域の実情に応じて保育園や子ども園などの整備に積極的に取り組み、待機児童の解消を図るとともに、子育て世帯の多様なニーズへの対応を図っています。

保育園は、保護者の就労等により保育を必要とする就学前までの子どもを預かり、「養護と教育」を一体的に行うことを目的とした施設であり、平成 27 年 4 月現在で、区立保育園が 12 園、私立保育園が 21 園あります。本施設白書では、このうち区立保育園を対象とします。

区立保育園 12 園のうち、9 園は他の施設との複合施設となっており、3 園は都営住宅の一部を使用しています。

図表 2-3-10-(1)-1 保育園の施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
弁天町保育園	弁天町 50 番地	1,516	昭和 50	RC	牛込保健センター、 新宿生活実習所	
大久保第一 保育園	大久保三丁目 11 番 1 号	658	昭和 55	SRC	大久保三丁目アパ ート	区営住宅 7 階建ての 1 階部 分を使用
東五軒町 保育園	東五軒町 5 番 24 号	1,650	昭和 40	RC	東五軒児童館、 東五軒地域交流館	延床面積は、1 号館と 2 号館 (構造:S造)を合算したもの
長延保育園	市谷長延寺町 8 番地	420	昭和 39	RC		土地は東京都から行政財産使 用許可により借用 (都営住宅 4 階建ての 1 階部 分を使用)
富久町保育園	富久町 22 番 21 号	989	平成 14	S	富久町児童館	
西早稲田 保育園	西早稲田 一丁目 9 番 30 号	409	昭和 46	RC		土地・建物は東京都から行政 財産使用許可により借用 (都営住宅 9 階建ての 2 階部 分を使用)
高田馬場第二 保育園	高田馬場 一丁目 4 番 17 号	767	昭和 46	RC	高田馬場第二児童 館、高田馬場第二こ とぶき館	併設の高田馬場第二ことぶき 館は平成 27 年 4 月から高田 馬場地域交流館に機能転換
戸山第二 保育園	戸山二丁目 18 番 101 号	599	昭和 45	RC		土地・建物は東京都から行政 財産使用許可により借用 (都営住宅 10 階建ての 1 階 部分を使用)
早稲田南町 保育園	早稲田南町 50 番地	514	昭和 47	RC	早稲田南町児童 館、早稲田南町地 域交流館	
百人町保育園	百人町二丁目 18 番 21 号	682	昭和 49	RC	百人町児童館、 百人町地域交流館	
新宿第二 保育園	新宿五丁目 3 番 13 号	748	昭和 52	RC	新宿地域交流館	平成 27 年 11 月から私立子ど も園に移行(富久ソラのこども園 ちいさなうちゅう分園)
中落合第二 保育園	中落合二丁目 7 番 24 号	996	昭和 52	RC	中落合子ども家庭 支援センター、中落 合地域交流館	

※新宿第二保育園は、平成 27 年 11 月に私立子ども園に移行しており、区立施設としての運営は終了しています。
また、西大久保公園内仮施設で運営していた大久保第二保育園は、平成 27 年 3 月に閉園しました。

保育園の運営体制は、富久町保育園を除いて直営施設であり、富久町保育園では指定管理者制度を導入しています。保育園の開所時間は 7:15～18:15 または 7:30～18:30 です。延長保育はほとんどの園で 1 時間までとなっていますが、百人町保育園は 2 時間まで、富久町保育園は 3 時間までとなっています。

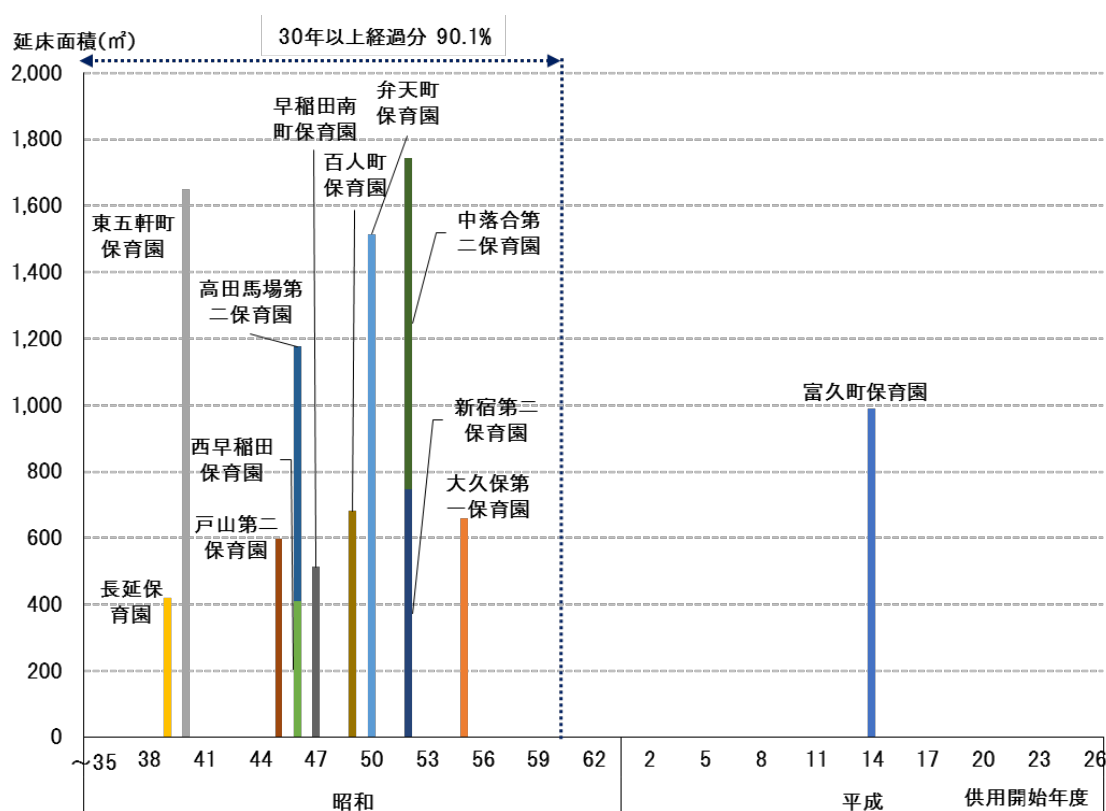
図表 2-3-10-(1)-2 保育園の施設概要(2)

施設名	運営体制	開所時間	延長保育	休園日
弁天町保育園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	日曜、祝日、 年末年始
大久保第一保育園	直営	7:15～18:15	19:15 まで	
東五軒町保育園	直営	7:15～18:15	19:15 まで	
長延保育園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
富久町保育園	指定管理者	7:30～18:30	21:30 まで	
西早稲田保育園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
高田馬場第二保育園	直営	7:15～18:15	19:15 まで	
戸山第二保育園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
早稲田南町保育園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
百人町保育園	直営	7:15～18:15	20:15 まで	
中落合第二保育園	直営	7:15～18:15	19:15 まで	

(2) 老朽化度

供用開始後 30 年以上経過した保育園の割合は、延床面積ベースで 90.1%と老朽化度は非常に高くなっています。昭和 40 年代～50 年代に集中的に供用開始されたためです。

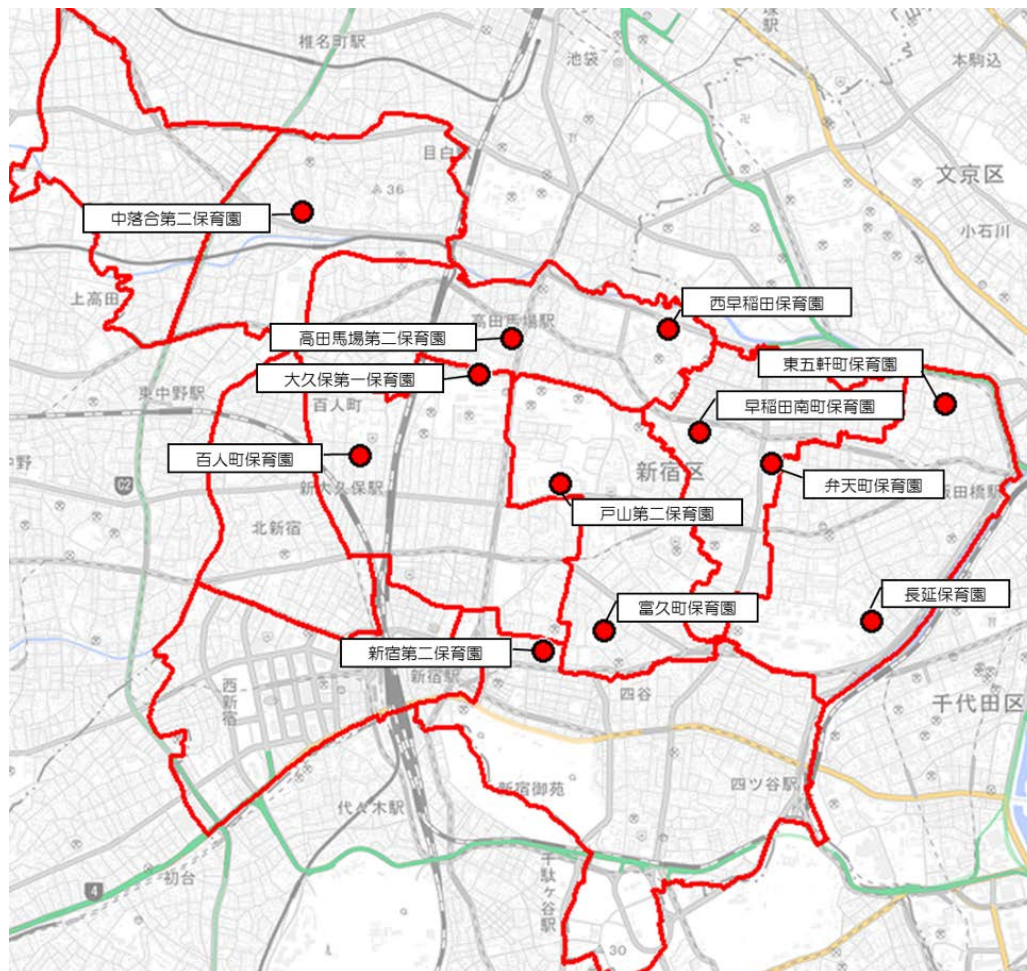
図表 2-3-10-(2) 保育園の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

保育園の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-10-(3) 保育園の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

平成 26 年度における在籍園児の月平均は下表のとおりです。

図表 2-3-10-(4)-1 各保育園の在籍園児数(平成 26 年度)

施設名	園児数(在籍園児の月平均、単位:人)
弁天町保育園	137
大久保第一保育園	108
東五軒町保育園	169
長延保育園	79
大久保第二保育園	100
富久町保育園	145
西早稲田保育園	80
高田馬場第二保育園	106
戸山第二保育園	113
早稲田南町保育園	79
百人町保育園	89
新宿第二保育園	78
中落合第二保育園	122

※新宿第二保育園は、平成 27 年 11 月に私立子ども園に移行しており、区立施設としての運営は終了しています。
また、西大久保公園内仮施設で運営していた大久保第二保育園は、平成 27 年 3 月に閉園しました。

各保育園の職員配置状況は下表のとおりです。なお、富久町保育園は指定管理者制度を導入しているため、職員は配置されていません。

図表 2-3-10-(4)-2 保育園の職員配置（平成 26 年度、単位：人）

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
弁天町保育園	30	1	0	15	46
大久保第一保育園	22	1	1	16	40
東五軒町保育園	41	2	0	23	66
長延保育園	21	0	0	11	32
大久保第二保育園	25	0	0	15	40
西早稲田保育園	20	0	0	11	31
高田馬場第二保育園	24	0	0	18	42
戸山第二保育園	26	3	0	14	43
早稲田南町保育園	20	3	0	14	37
百人町保育園	22	0	0	15	37
新宿第二保育園	20	1	0	14	35
中落合第二保育園	28	0	0	20	48

※新宿第二保育園は、平成 27 年 11 月に私立子ども園に移行しており、区立施設としての運営は終了しています。また、西大久保公園内仮施設で運営していた大久保第二保育園は、平成 27 年 3 月に閉園しました。

（５） コスト状況

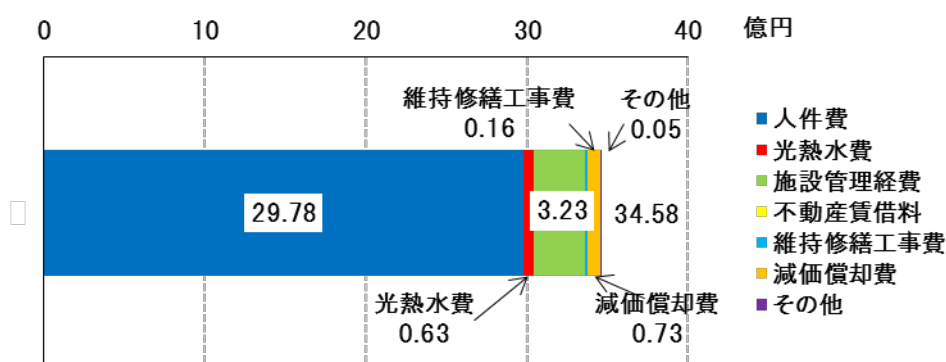
平成 26 年度の保育園の年間費用：トータルコストは 34.58 億円です。このうち、人件費が 29.78 億円となっています。

図表 2-3-10-(5)-1 保育園の施設別行政コスト計算書（平成 26 年度、単位：千円）

	弁天町 保育園	大久保第 一保育園	東五軒町 保育園	長延 保育園	大久保第 二保育園	富久町 保育園	西早稲田 保育園
費用(トータルコスト)	322,101	240,248	426,152	212,830	258,114	307,716	200,535
人件費	292,939	226,506	406,439	203,809	244,172	0	194,280
光熱水費	8,116	5,443	9,206	3,661	4,711	0	4,953
施設管理経費	4,731	1,152	2,381	1,603	9,231	295,439	871
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	2,680	247	855	912	0	0	430
減価償却費	13,635	6,900	7,271	2,846	0	12,277	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
収入	36,792	26,306	48,934	23,567	11,406	37,262	18,069
利用料金等	36,792	26,306	48,934	23,567	11,406	37,262	18,069
国・都補助金	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	285,309	213,943	377,218	189,263	246,708	270,453	182,466

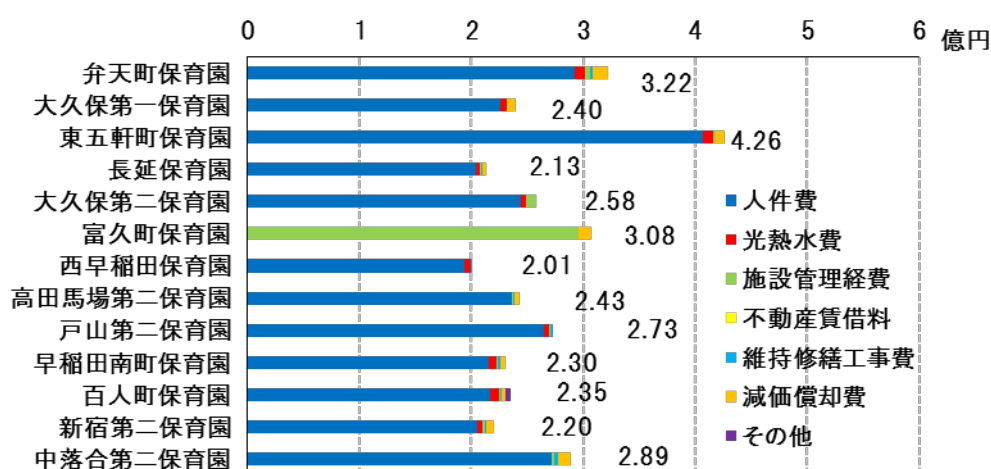
	高田馬場第 二保育園	戸山第二 保育園	早稲田南町 保育園	百人町 保育園	新宿第二 保育園	中落合第二 保育園	合計
費用(トータルコスト)	242,968	272,519	230,220	235,008	219,774	289,368	3,457,554
人件費	236,580	264,767	215,148	216,279	204,887	272,057	2,977,863
光熱水費	0	5,223	7,356	8,250	5,614	0	62,533
施設管理経費	691	1,105	836	1,282	1,731	1,662	322,716
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	1,088	1,425	2,373	776	1,221	4,272	16,278
減価償却費	4,609	0	4,507	3,642	6,321	11,377	73,385
その他	0	0	0	4,779	0	0	4,779
収入	24,974	20,488	19,271	16,202	14,492	33,769	331,531
利用料金等	24,974	20,488	19,271	16,202	14,492	33,769	331,531
国・都補助金	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	217,994	252,032	210,949	218,806	205,282	255,599	3,126,023

図表 2-3-10-(5)-2 保育園のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、直営施設のうち施設規模の大きい東五軒町保育園（2号館を含む）、弁天町保育園及び富久町保育園が3億円を上回っているほかは、おおむね2億円～3億円となっています。費用の大半は人件費です。指定管理者制度を導入している富久町保育園は、指定管理料を支出しているため、施設管理経費が大半を占めています。

図表 2-3-10-(5)-3 保育園別のトータルコスト比較(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積（㎡）、コストは年間費用：トータルコスト（円）、利用度は在籍園児数の月平均（人）の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積（円／㎡）
- ② 施設規模当たり利用度：在籍園児数の月平均／延床面積（人／㎡）
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／在籍園児数の月平均（円／人）

の3つのコスト指標により比較分析を行います。

なお、コスト比較分析は、平成 27 年 3 月に閉園した大久保第二保育園、及び、平成 27 年 11 月に私立子ども園に移行した新宿第二保育園の2園を除く 11 園を対象として、分析を行います。

図表 2-3-10-(6)-1 保育園別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

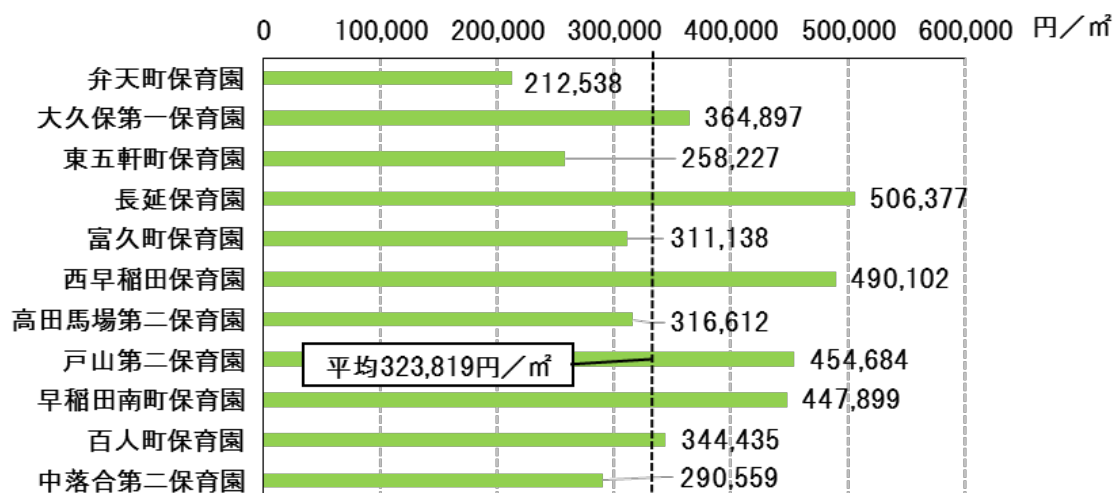
施設名	延床面積(㎡)	園児数(在籍園児の月平均、単位:人)	費用(トータルコスト、千円)
弁天町保育園	1,516	137	322,101
大久保第一保育園	658	108	240,248
東五軒町保育園(2号館を含む)	1,650	169	426,152
長延保育園	420	79	212,830
富久町保育園	989	145	307,716
西早稲田保育園	409	80	200,535
高田馬場第二保育園	767	106	242,968
戸山第二保育園	599	113	272,519
早稲田南町保育園	514	79	230,220
百人町保育園	682	89	235,008
中落合第二保育園	996	122	289,368

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト(円)} \div \text{延床面積(㎡)}$$

施設規模当たりコストの平均はコストの平均は 323,819 円/㎡です。施設によって差があり、もっとも高い長延保育園は、もっとも低い弁天町保育園の 2.4 倍となっています。

図表 2-3-10-(6)-2 保育園の施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

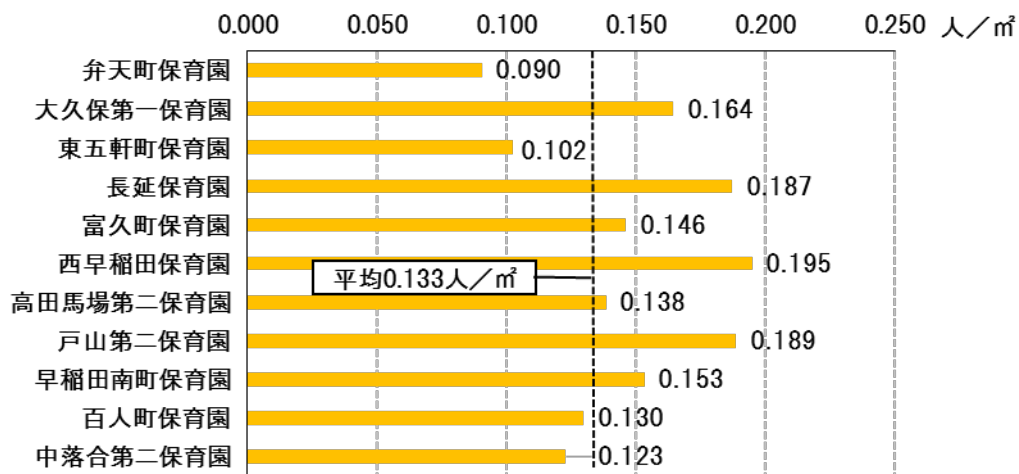


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{在籍園児数の月平均（人）} \div \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は 0.133 人です。施設によって差があり、もっとも高い西早稲田保育園は、もっとも低い弁天町保育園の 2.2 倍となっています。

図表 2-3-10-(6)-3 保育園の施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

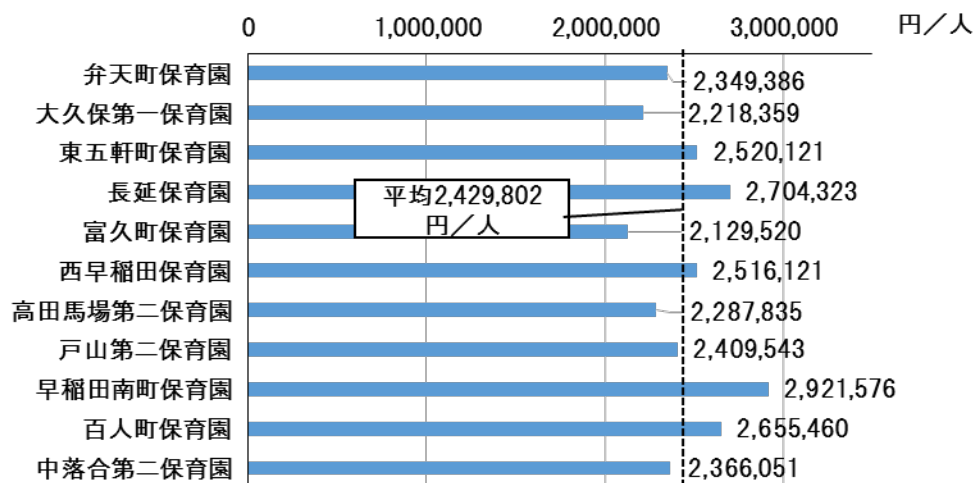


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} \div \text{在籍園児数の月平均（人）}$$

利用度当たりコストの平均は 2,429,802 円/人です。もっとも高い早稲田南町保育園は、もっとも低い富久町保育園の 1.4 倍となっています。

図表 2-3-10-(6)-4 保育園の利用度当たりコスト(平成 26 年度)



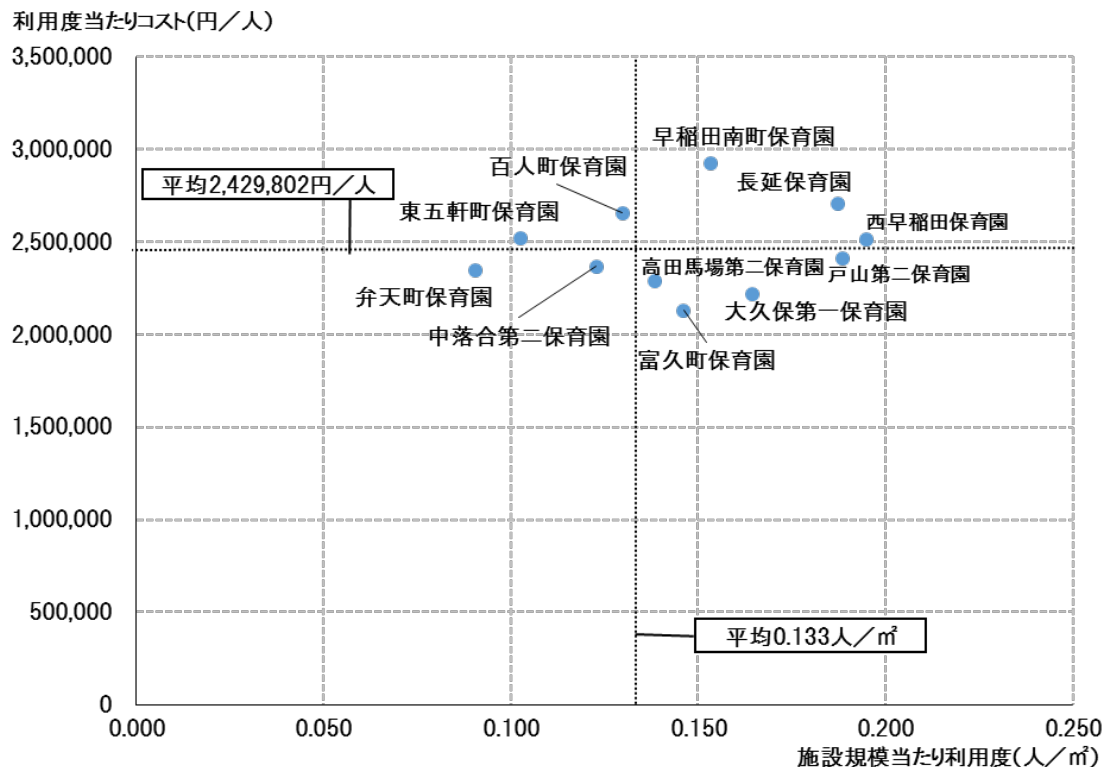
④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には、戸山第二保育園、大久保第一保育園及び富久町保育園などが属しています。

施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には、百人町保育園及び東五軒町保育園が属しています。

図表 2-3-10-(6)-5

保育園の施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況(平成 26 年度)



【保育園のまとめ】

- 保育園は 12 園あります（平成 27 年 4 月現在）。
- 供用開始後 30 年以上経過した保育園の割合は延床面積ベースで 90.1%と老朽化度は非常に高くなっています。
- 年間トータルコストは 34.58 億円です。うち人件費が 29.78 億円となっています。
- 施設規模当たりの利用度（在籍園児数）の平均は 0.133 人/㎡で、利用度（在籍園児数）当たりコストの平均は 2,429,802 円/人です。

11 子育て支援施設／子ども園

(1) 施設概要

子ども園は幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、就学前までの子どもの保育・教育を行う施設です。幼児クラスでは、保育園機能利用の子どもと幼稚園機能利用の子どもと一緒に保育・教育しています。平成27年4月現在で、区立子ども園が10園、私立子ども園が3園あります。本施設白書では、このうち区立子ども園を対象とします。

区立子ども園10園のうち、9園は他の施設等との複合施設となっており、1園は都営住宅の一部を使用しています。

図表 2-3-11-(1)-1 子ども園の施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
柏木 子ども園	(乳児園舎) 北新宿二丁目 3番7号	808	平成6	RC	柏木特別出張所、柏木地 域センター、北新宿第一児 童館、北新宿地域交流館	柏木幼稚園と北新宿第 一保育園の統合による 分園方式の子ども園とし て、平成23年4月に開 設
	(幼児園舎) 北新宿二丁目 11番1号	333	平成10	RC	柏木小学校	
おちごない 子ども園	(乳児園舎) 中井一丁目 8番12号	353	昭和38	RC	中井児童館	落合第五幼稚園と中井 保育園の統合による分 園方式の子ども園とし て、平成24年4月に開 設
	(幼児園舎) 上落合三丁目 1番6号	586	昭和49	RC	落合第五小学校	
大木戸 子ども園	四谷四丁目 17番地	2,619	昭和53	RC	病児病後児保育室	
しなのまち 子ども園	信濃町20番地	839	昭和46	RC	信濃町子ども家庭支援 センター、信濃町シニア 活動館	
戸山第一 子ども園	戸山二丁目 26番101号	614	昭和44	RC		土地・建物は東京都から 行政財産使用許可により 借用 (都営住宅5階建ての1 階部分を使用)
西落合 子ども園	西落合一丁目 31番24号	1,511	昭和47	RC	西落合児童館	
北新宿 子ども園	北新宿三丁目 20番2号	1,033	昭和56	RC	北新宿第二地域交流館、 北新宿子ども家庭支援セ ンター、北新宿図書館、北 新宿生涯学習館、北新宿 防災倉庫	
四谷子ども園	四谷二丁目 6番地	1,307	平成18	RC	四谷小学校	
あいじつ 子ども園	(乳児園舎) 中町25番地	682	昭和58	RC	中町児童館、中町地域交 流館、中町図書館	隣接する愛日幼稚園と 中町保育園を統合し、平 成22年4月に開設
	(幼児園舎) 北町17番地	556	昭和54	RC	愛日小学校屋内運動場	
西新宿 子ども園	西新宿四丁目 35番5号	1,424	平成23	RC	西新宿児童館、西新宿小 学校	

子ども園の運営体制はすべて直営となっています。

開所時間は北新宿子ども園のみ 7:15～18:15、その他の園は 7:30～18:30 となっています。延長保育は、四谷子ども園では 2 時間まで、その他の園では 1 時間までとなっています。

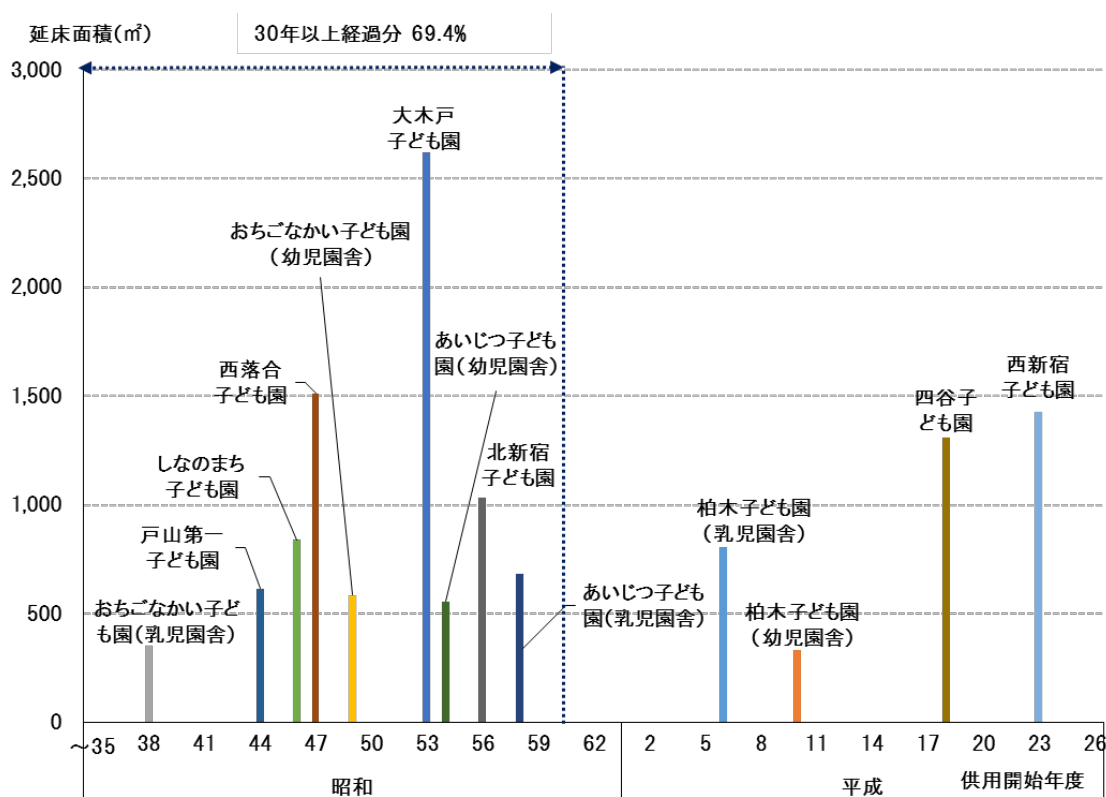
図表 2-3-11-(1)-2 子ども園の施設概要(2)

施設名	運営体制	開所時間	延長保育	休園日
柏木子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	日曜、祝日、 年末年始
おちごなかい子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
大木戸子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
しなのまち子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
戸山第一子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
西落合子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
北新宿子ども園	直営	7:15～18:15	19:15 まで	
四谷子ども園	直営	7:30～18:30	20:30 まで	
あいじつ子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	
西新宿子ども園	直営	7:30～18:30	19:30 まで	

(2) 老朽化度

供用開始後 30 年以上経過した子ども園の割合は、延床面積ベースで 69.4%と老朽化度は高くなっています。昭和 40 年代～50 年代に建設された施設が多いことが理由です。

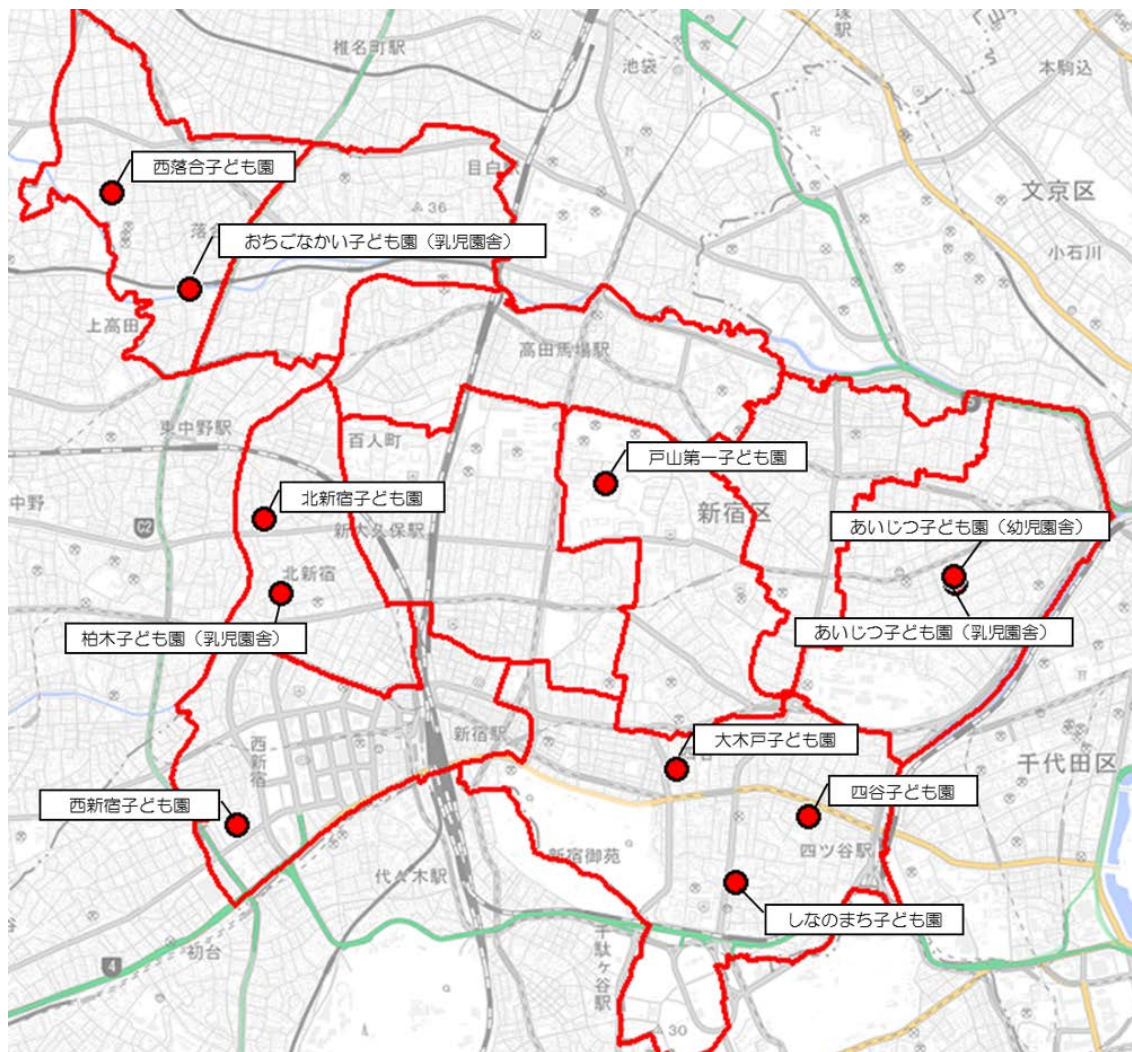
図 2-3-11-(2) 子ども園の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

子ども園の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-11-(3) 子ども園の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

平成 26 年度における在籍園児の月平均は下表のとおりです。

図表 2-3-11-(4)-1 各子ども園の在籍園児数(平成 26 年度)

施設名	園児数(在籍園児の月平均)
柏木子ども園	102.4
おちごなかい子ども園	104.8
大木戸子ども園	148.1
しなのまち子ども園	101.3
戸山第一子ども園	99.5
西落合子ども園	109.9
北新宿子ども園	103.0
四谷子ども園	66.9
あいじつ子ども園	63.0
西新宿子ども園	44.9

各子ども園の職員配置状況は下表のとおりです。

図表 2-3-11-(4)-2 子ども園の職員配置(平成 26 年度、単位:人)

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
柏木子ども園	30	0	0	25	55
おちごなかい子ども園	29	0	0	27	56
大木戸子ども園	37	2	0	27	66
しなのまち子ども園	25	0	0	18	43
戸山第一子ども園	24	0	0	19	43
西落合子ども園	25	0	0	24	49
北新宿子ども園	26	0	0	22	48
四谷子ども園	27	1	0	34	62
あいじつ子ども園	26	1	0	28	55
西新宿子ども園	23	4	1	29	57

(5) コスト状況

平成 26 年度の子ども園の年間費用：トータルコストは 30.09 億円です。このうち人件費が 28.23 億円となっています。

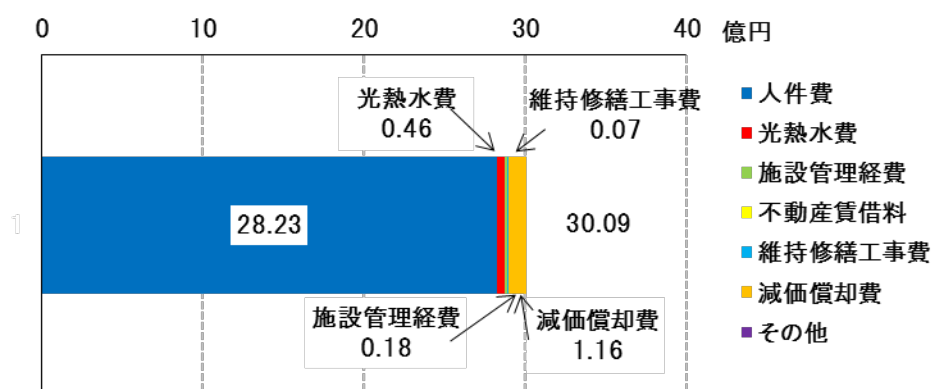
図表 2-3-11-(5)-1 子ども園の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	柏木 子ども園	おちごな かい子ども園	大木戸 子ども園	しなのまち 子ども園	戸山第一 子ども園	西落合 子ども園
費用(トータルコスト)	326,674	314,120	428,723	253,236	245,034	257,647
人件費	304,809	297,439	381,152	247,925	238,138	249,062
光熱水費	932	6,191	6,146	0	4,647	0
施設管理経費	841	1,875	6,745	559	1,396	684
不動産賃借料	0	0	0	0	35	0
維持修繕工事費	267	622	1,080	163	818	379
減価償却費	19,825	7,992	33,599	4,588	0	7,521
その他	0	0	0	0	0	0
収入	20,903	21,111	41,481	34,184	18,762	20,752
利用料金等	20,903	21,111	41,481	34,184	18,762	20,752
国・都補助金	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	305,770	293,009	387,242	219,052	226,272	236,894

	北新宿 子ども園	四谷 子ども園	あいじつ 子ども園	西新宿子 ども園	合計
費用(トータルコスト)	268,852	320,690	297,502	296,197	3,008,674
人件費	257,916	295,166	277,909	273,265	2,822,781
光熱水費	0	10,090	8,554	9,097	45,658
施設管理経費	996	879	1,728	1,909	17,612
不動産賃借料	0	0	0	0	35
維持修繕工事費	1,116	1,742	636	234	7,056
減価償却費	8,825	12,813	8,675	11,692	115,531
その他	0	0	0	0	0
収入	23,971	33,992	39,488	23,902	278,546
利用料金等	23,971	33,992	39,488	23,902	278,546
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	244,881	286,698	258,013	272,295	2,730,128

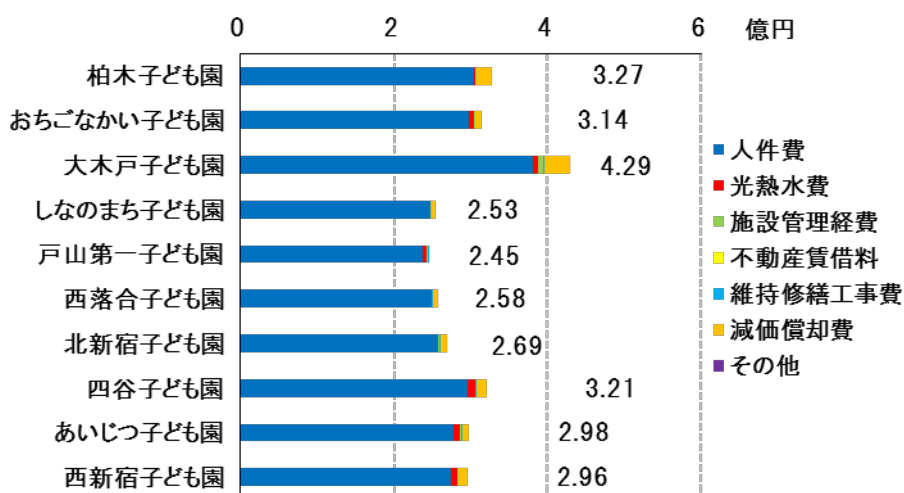
※柏木子ども園・おちごなかい子ども園・あいじつ子ども園は、乳児園舎と幼児園舎の合計額を記載しています。

図表 2-3-11-(5)-2 子ども園のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、施設規模の大きい大木戸子ども園が 4 億円を上回っているほかは、おおむね 2 億円～3 億円です。費用の大半が人件費となっています。

図表 2-3-11-(5)-3 子ども園の施設別トータルコスト比較(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積 (㎡)、コストは年間費用：トータルコスト (円)、利用度は在籍園児数の月平均 (人) の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積 (円／㎡)
- ② 施設規模当たり利用度：在籍園児数の月平均／延床面積 (人／㎡)
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／在籍園児数の月平均 (円／人)

の 3 つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-11-(6)-1 子ども園別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

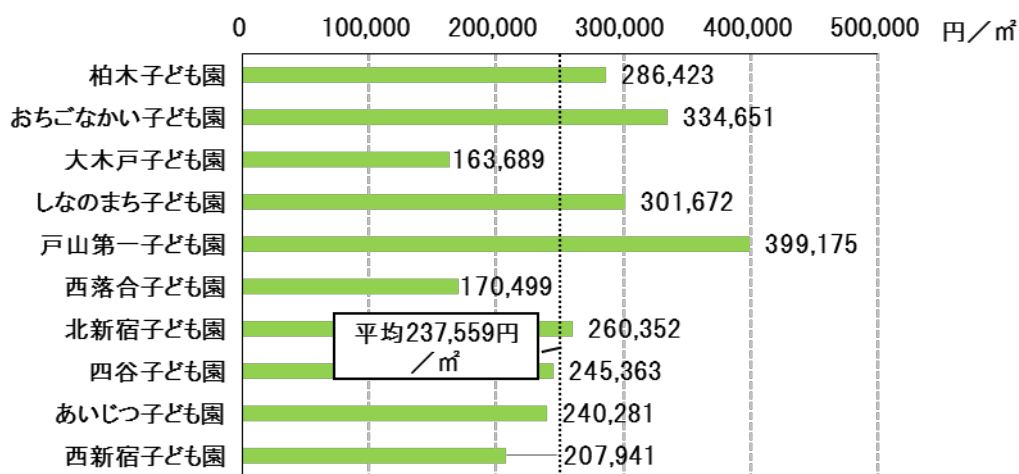
施設名	延床面積(㎡)	園児数 (在籍園児の月平均、単位:人)	費用 (トータルコスト、千円)
柏木子ども園	1,141	102.4	326,674
おちごなかい子ども園	939	104.8	314,120
大木戸子ども園	2,619	148.1	428,723
しなのまち子ども園	839	101.3	253,236
戸山第一子ども園	614	99.5	245,034
西落合子ども園	1,511	109.9	257,647
北新宿子ども園	1,033	103	268,852
四谷子ども園	1,307	66.9	320,690
あいじつ子ども園	1,238	63	297,502
西新宿子ども園	1,424	44.9	296,197

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト(円)} \div \text{延床面積(㎡)}$$

施設規模当たりコストの平均は 237,559 円/㎡です。施設によって差があり、もっとも高い戸山第一子ども園は、もっとも低い大木戸子ども園の 2.4 倍となっています。

図表 2-3-11-(6)-2 子ども園の施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

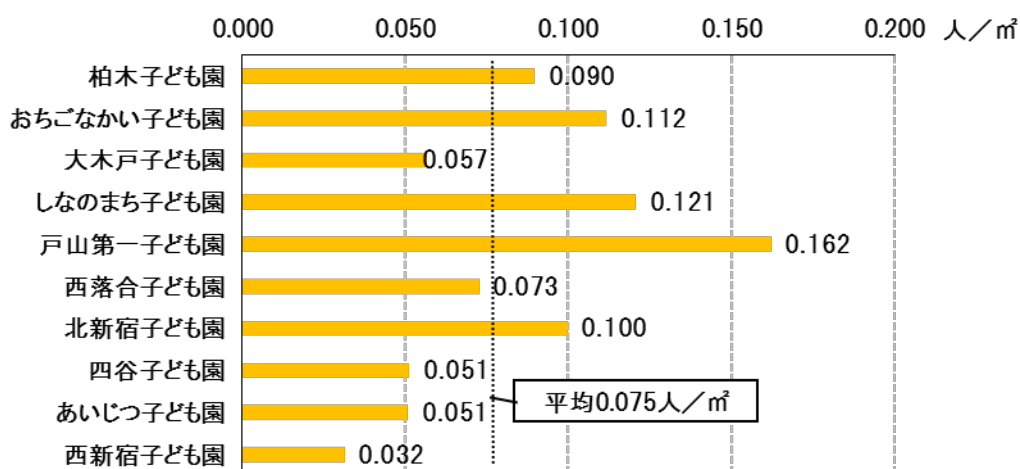


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{在籍園児数の月平均（人）} \div \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は 0.075 人／㎡です。施設によって大きな差があり、もっとも高い戸山第一子ども園は、もっとも低い西新宿子ども園の 5.1 倍となっています。

図表 2-3-11-(6)-3 子ども園の施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

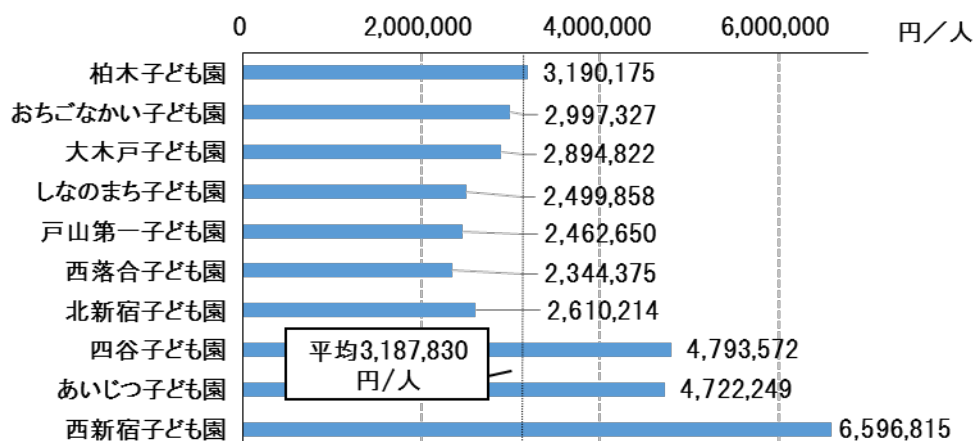


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} \div \text{在籍園児数の月平均（人）}$$

利用度当たりコストの平均は 3,187,830 円／人です。施設によって大きな差があり、もっとも高い西新宿子ども園は、もっとも低い西落合子ども園の 2.8 倍となっています。

図表 2-3-11-(6)-4 子ども園の利用度当たりコスト(円)

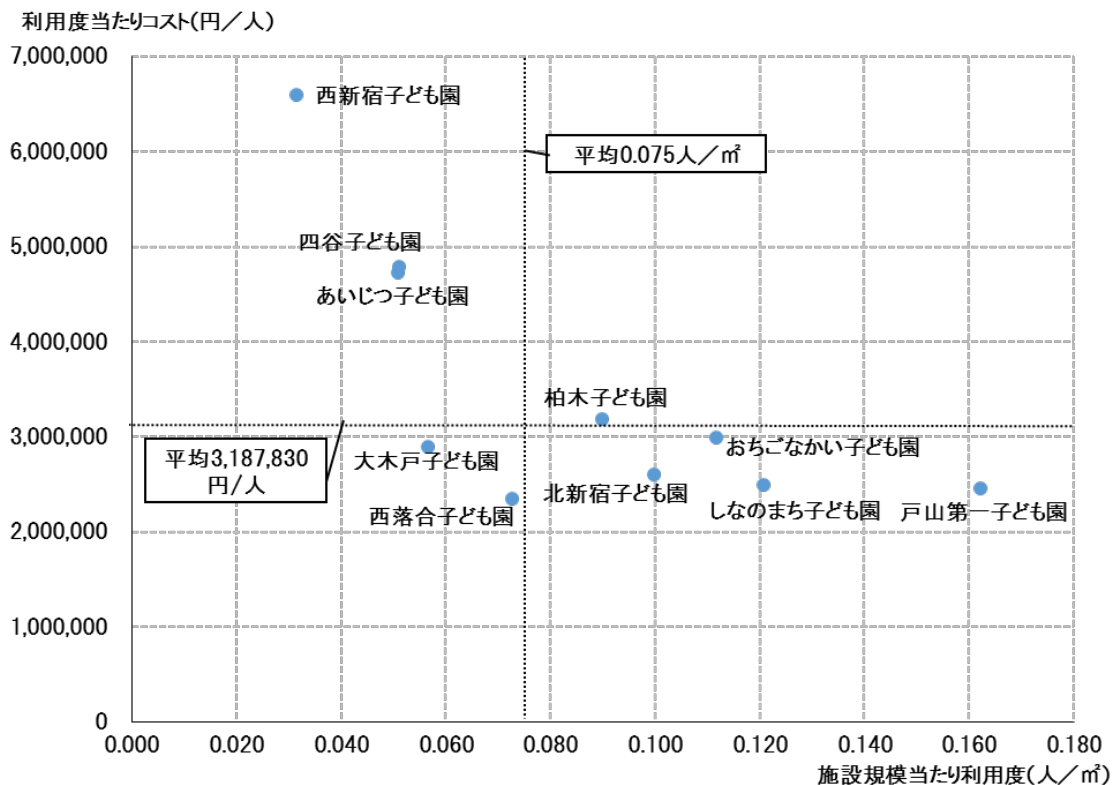


④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には戸山第一子ども園、しなのまち子ども園及びおちごなかい子ども園などが属しています。施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には西新宿子ども園、四谷子ども園及びあいじつ子ども園が属しています。

図表 2-3-11-(6)-5

子ども園の施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況（平成 26 年度）



【子ども園のまとめ】

- 子ども園は 10 園あります。
- 供用開始後 30 年以上経過した子ども園の割合は延床面積ベースで 69.4%と老朽化度は高くなっています。昭和 40 年代～50 年代に建設された施設が多いことが理由です。
- 年間トータルコストは 30.09 億円です。うち人件費が 28.23 億円となっています。
- 施設規模当たりの利用度（在籍園児数）の平均は 0.075 人/㎡で、利用度（在籍園児数）当たりコストの平均は 3,187,830 円/人となっています。

12 子育て支援施設／幼稚園

(1) 施設概要

幼稚園は学校教育法に基づく学校施設であり、3歳から入園することができます。区内には、平成27年4月現在で、区立幼稚園が14園、私立幼稚園が9園あります。本施設白書では、このうち区立幼稚園を対象とします。

14園のうち、13園は区立小学校に併設されており、西戸山幼稚園は生涯学習館との複合施設となっています。このほかに、休園中の幼稚園が7園あり、そのうち5か所は保育ルームなどのスペースとして活用しています。

図表 2-3-12-(1)-1 幼稚園の施設概要

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
津久戸幼稚園	津久戸町2番2号	530	昭和8	RC	津久戸小学校	
市谷幼稚園	市谷山伏町1番3号	677	昭和30	RC	市谷小学校	
早稲田幼稚園	早稲田南町25番地	742	昭和2	RC	早稲田小学校	
鶴巻幼稚園	早稲田鶴巻町140番地	767	昭和50	RC	鶴巻小学校・保育ルーム つまき園	
牛込仲之幼稚園	市谷仲之町4番33号	521	平成元	SRC	牛込仲之小学校	
余丁町幼稚園	若松町13番1号	413	昭和58	RC	余丁町小学校	
四谷第六幼稚園	大京町30番地	679	昭和62	RC	四谷第六小学校・四谷第六小学校内学童クラブ	
花園幼稚園	新宿一丁目22番1号	429	平成8	RC	花園小学校	
大久保幼稚園	大久保一丁目1番21号	635	昭和37	RC	大久保小学校	
戸塚第二幼稚園	高田馬場一丁目25番21号	736	昭和51	RC	戸塚第二小学校・高田馬場第二学童クラブ分室 (27年度から戸塚第二小学校内学童クラブ)	
落合第三幼稚園	西落合一丁目12番20号	434	昭和52	RC	落合第三小学校	
落合第四幼稚園	下落合二丁目9番34号	769	昭和49	RC	落合第四小学校	
淀橋第四幼稚園	北新宿三丁目17番1号	618	昭和48	RC	淀橋第四小学校	
西戸山幼稚園	百人町四丁目7番1号	544	昭和41	RC	西戸山生涯学習館	土地は財務省から有償貸付契約により借用

【「区立幼稚園のあり方の見直し方針」について】

最近の幼稚園児数の動向など幼稚園に対する需要を踏まえ、区立幼稚園のあり方について検討し、平成27年10月に方針を策定しました。具体的には、以下の取組みにより、今後の幼稚園ニーズに効果的・効率的に対応していきます。

- 3歳児定員を17人から20人に拡大（3年保育を実施していない津久戸・早稲田・余丁町の各幼稚園に3歳児学級を新設）
- 預かり保育を実施（平成28年度は、市谷・西戸山・鶴巻・花園の各幼稚園で実施）

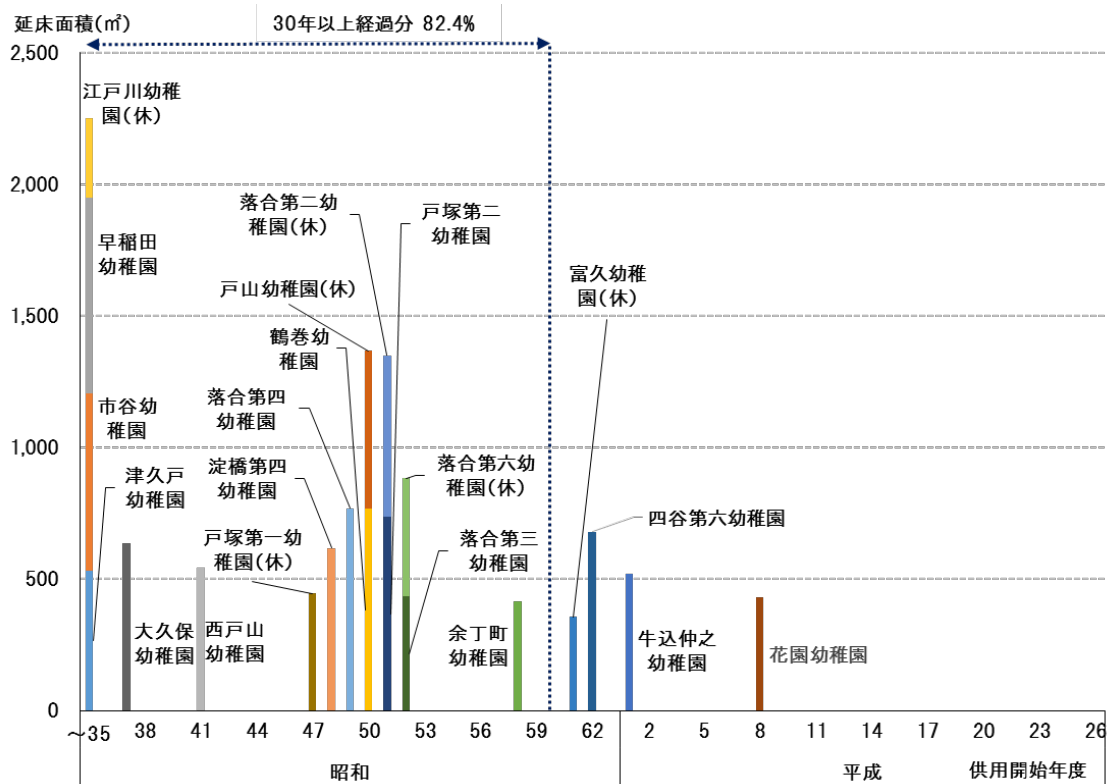
図表 2-3-12-(1)-2 休園中の幼稚園一覧

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	供用開始 年度	構造	併設施設	備考
江戸川幼稚園	水道町 1 番 28 号	304	昭和 10	RC	江戸川小学校	平成 9 年度から休園 保育ルームえどがわ園として利用
富久幼稚園	富久町 7 番 24 号	356	昭和 61	RC	富久小学校	平成 11 年度から休園 富久小学校内学童クラブとして利用
落合第二幼稚園	上落合二丁目 10 番 23 号	613	昭和 51	RC	落合第二小学校	平成 12 年度から休園 保育ルームおちにすくすく園として利用
落合第六幼稚園	西落合四丁目 11 番 21 号	449	昭和 52	RC	落合第六小学校	平成 20 年度から休園 落合第二高齢者総合相談センターとして利用
戸山幼稚園	百人町二丁目 1 番 38 号	600	昭和 50	RC	戸山小学校・戸山小学校内学童クラブ	平成 25 年度から休園
戸塚第一幼稚園	西早稲田三丁目 10 番 12 号	445	昭和 47	RC	戸塚第一小学校	平成 27 年度から休園
戸塚第三幼稚園	高田馬場三丁目 18 番 12 号	平成 15 年度から休園、高田馬場第一児童館として利用(この施設は「13. 子育て支援施設／児童館等」で実態把握を行っています。)				

(2) 老朽化度

供用開始後 30 年以上経過した幼稚園の割合は、延床面積ベースで 82.4%と老朽化度は非常に高くなっています。昭和 40 年代～50 年代に建設された施設が多いことが理由です。

図表 2-3-12-(2) 幼稚園の供用開始年度別延床面積



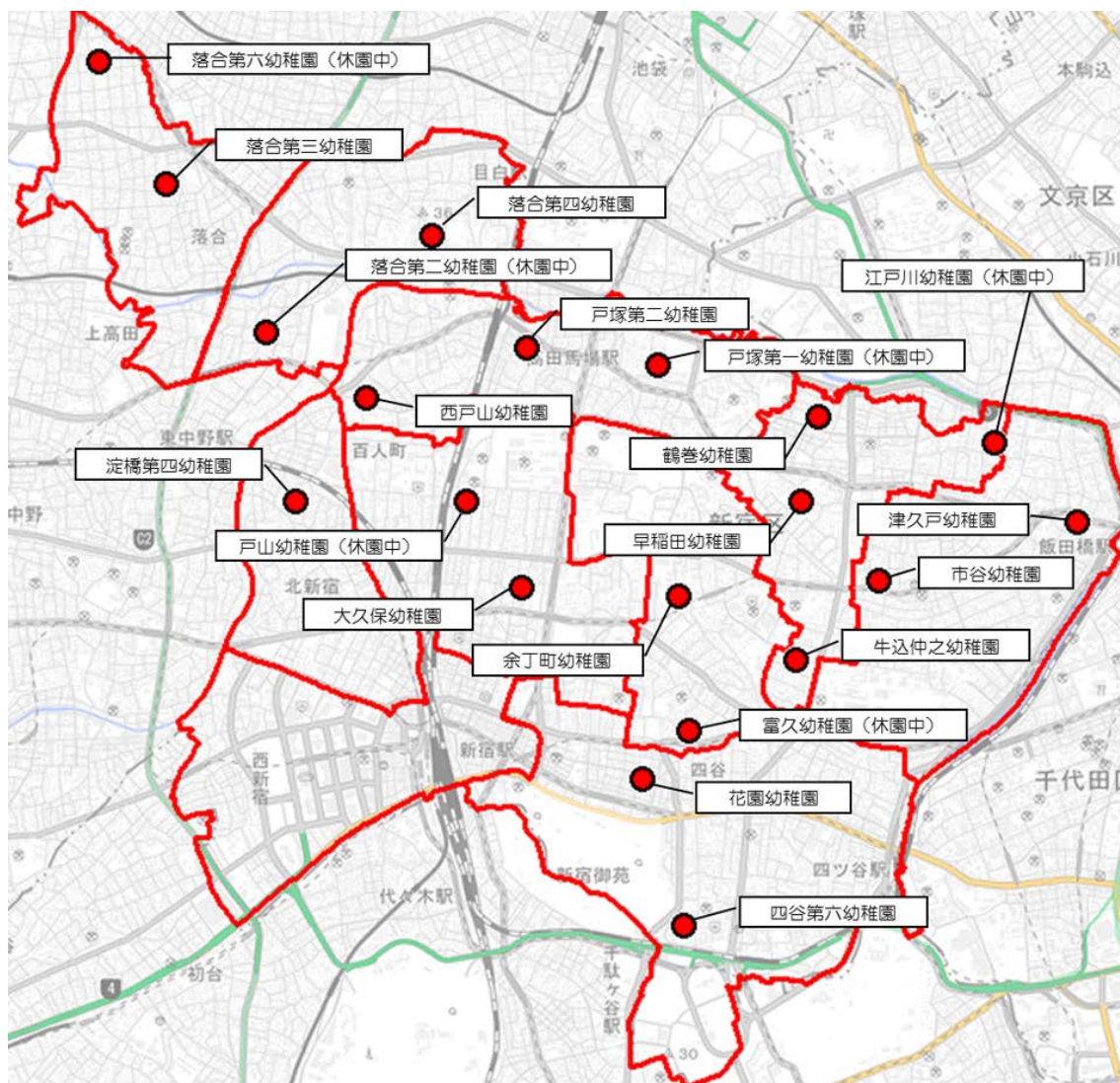
※(休)は休園中の園を示します。

※戸塚第三幼稚園(休)は、高田馬場第一児童館として利用しているため、「13. 子育て支援施設／児童館等」で実態把握を行っており、上図には含んでいません。

(3) 施設配置状況

幼稚園の配置状況は、下図のとおりです。小学校に併設されている例が多いことから全体的に配置されています。

図表 2-3-12-(3) 幼稚園の施設配置状況



※(休)は休園中の園を示します。

※戸塚第三幼稚園(休)は、高田馬場第一児童館として利用しているため、「13. 子育て支援施設／児童館等」で実態把握を行っており、上図には含んでいません。

(4) 利用状況・運営状況

平成 26 年度における在籍園児の月平均は下表のとおりです。

なお、参考に定員充足率^(※)を表記します。

※定員充足率＝園児数（月平均在籍園児数）÷定員

図表 2-3-12-(4)-1 幼稚園の園児数(平成 26 年度)

施設名	学級数 (学級)	定員 (人)	園児数 (人)	【参考】 定員充足率(%)
津久戸幼稚園	2	60	38	63.3
市谷幼稚園	3	77	66	85.7
早稲田幼稚園	2	60	49	81.7
鶴巻幼稚園	3	77	63	81.8
牛込仲之幼稚園	3	77	61	79.2
余丁町幼稚園	2	60	52	86.7
四谷第六幼稚園	3	77	60	77.9
花園幼稚園	3	77	46	59.7
大久保幼稚園	3	77	56	72.7
戸塚第一幼稚園	1	30	11	36.7
戸塚第二幼稚園	3	77	63	81.8
落合第三幼稚園	3	77	54	70.1
落合第四幼稚園	3	77	45	58.4
淀橋第四幼稚園	3	77	57	74.0
西戸山幼稚園	3	77	77	100.0

※戸塚第一幼稚園は、平成 27 年度から休園しています。

各幼稚園の職員配置状況は下表のとおりです。

図表 2-3-12-(4)-2 幼稚園の職員配置（平成 26 年度、単位：人）

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
津久戸幼稚園	2	1	0	0	3
市谷幼稚園	3	0	0	1	4
早稲田幼稚園	3	0	0	1	4
鶴巻幼稚園	3	0	0	1	4
牛込仲之幼稚園	2	0	1	2	5
余丁町幼稚園	3	0	0	0	3
四谷第六幼稚園	3	0	1	1	5
花園幼稚園	3	0	1	1	5
大久保幼稚園	2	1	0	1	4
戸塚第一幼稚園	2	0	0	0	2
戸塚第二幼稚園	3	0	1	0	4
落合第三幼稚園	3	0	0	1	4
落合第四幼稚園	3	0	0	1	4
淀橋第四幼稚園	3	0	0	1	4
西戸山幼稚園	5	1	1	2	9

※戸塚第一幼稚園は、平成 27 年度から休園しています。

(5) コスト状況

平成 26 年度の幼稚園の年間費用：トータルコストは 4.72 億円です。このうち、人件費が 4.34 億円となっています。

小学校併設の幼稚園については、光熱水費や施設管理経費の大部分が小学校の経費として一体的に支出されているため、下表では計上されていません。西戸山幼稚園は小学校併設の園ではないため、光熱水費や施設管理経費が通常の区有施設と同様に計上されています。

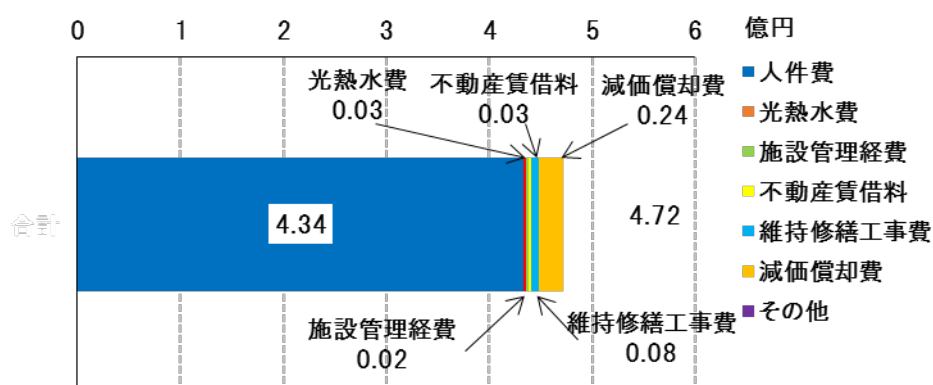
図表 2-3-12-(5)-1 幼稚園の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位:千円)

	津久戸 幼稚園	市谷 幼稚園	早稲田 幼稚園	鶴巻 幼稚園	牛込仲之 幼稚園
費用(トータルコスト)	22,827	30,298	31,019	33,469	30,027
人件費	21,904	30,101	30,112	30,188	27,102
光熱水費	0	0	0	0	0
施設管理経費	19	44	62	65	33
不動産賃借料	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	904	153	846	170	0
減価償却費	0	0	0	3,045	2,893
その他	0	0	0	0	0
収入	1,988	3,181	2,386	3,181	3,181
利用料金等	1,988	3,181	2,386	3,181	3,181
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	20,839	27,117	28,634	30,288	26,846

	余丁町 幼稚園	四谷第六 幼稚園	花園 幼稚園	大久保 幼稚園	戸塚第二 幼稚園
費用(トータルコスト)	29,386	36,608	35,605	25,676	33,364
人件費	26,811	32,561	32,748	25,179	29,354
光熱水費	0	0	0	0	0
施設管理経費	187	57	17	27	73
不動産賃借料	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	87	176	242	470	719
減価償却費	2,302	3,814	2,599	0	3,218
その他	0	0	0	0	0
収入	2,386	2,783	2,386	2,783	3,181
利用料金等	2,386	2,783	2,386	2,783	3,181
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	27,001	33,825	33,219	22,893	30,183

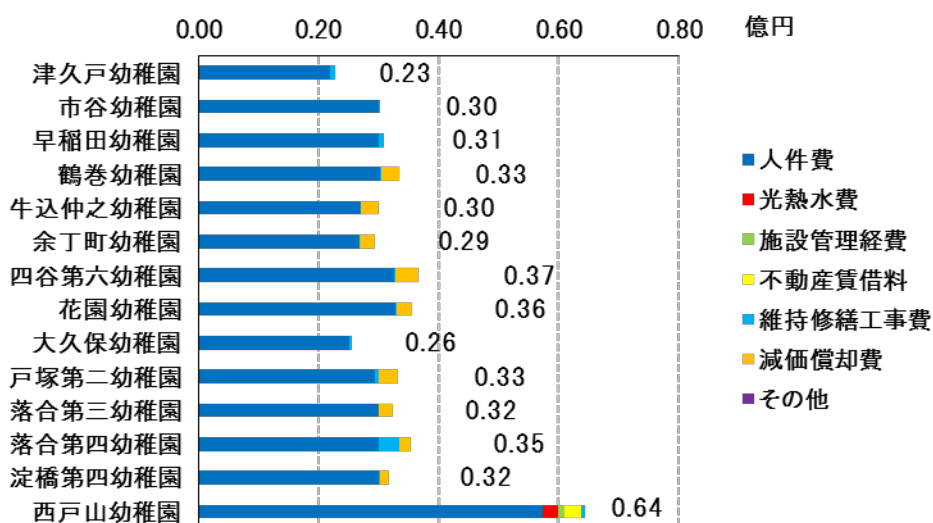
	落合第三 幼稚園	落合第四 幼稚園	淀橋第四 幼稚園	西戸山 幼稚園	合計
費用(トータルコスト)	32,360	35,474	31,838	64,317	472,270
人件費	30,066	30,105	29,987	57,474	433,692
光熱水費	0	0	0	2,551	2,551
施設管理経費	62	70	37	942	1,694
不動産賃借料	0	0	0	2,787	2,787
維持修繕工事費	0	3,268	253	563	7,851
減価償却費	2,233	2,030	1,561	0	23,694
その他	0	0	0	0	0
収入	2,783	2,386	2,783	3,976	39,366
利用料金等	2,783	2,386	2,783	3,976	39,366
国・都補助金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
収支差額(ネットコスト)	29,577	33,088	29,055	60,341	432,904

図表 2-3-12-(5)-2 幼稚園のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、小学校併設の 13 園はおおむね 2,000 万円～4,000 万円程度となっており、小学校併設ではない西戸山幼稚園は 6,400 万円となっています。

図表 2-3-12-(5)-3 幼稚園の施設別トータルコスト比較(平成 26 年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。

施設規模は延床面積 (㎡)、コストは年間費用：トータルコスト (円)、利用度は在籍園児数の月平均 (人) の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積 (円／㎡)
- ② 施設規模当たり利用度：在籍園児数の月平均／延床面積 (人／㎡)
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／在籍園児数の月平均 (円／人)

の 3 つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-12-(6)-1 幼稚園の施設別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

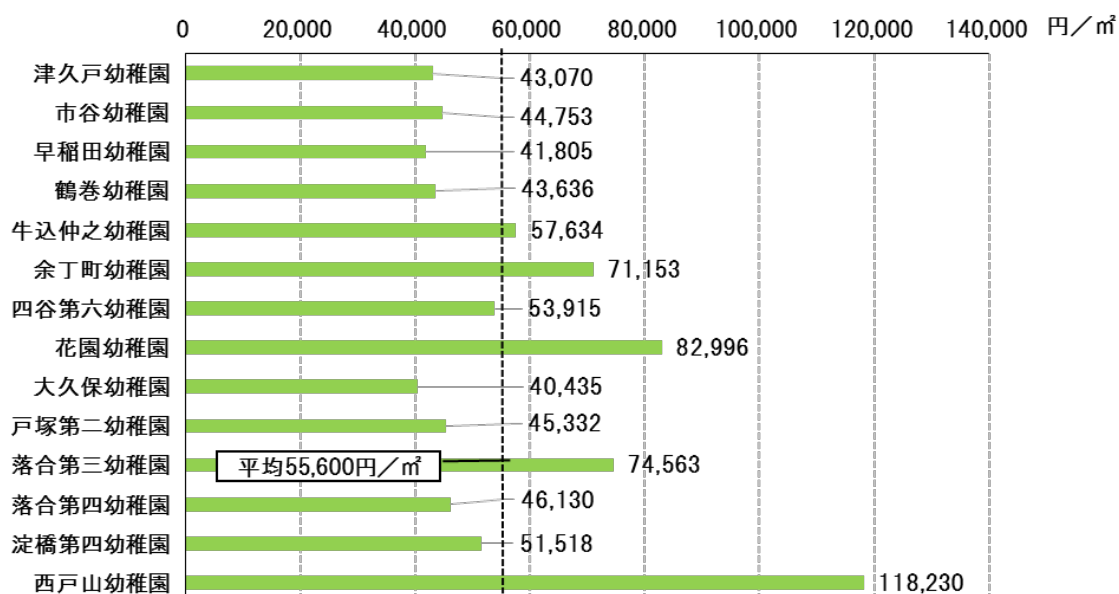
施設名	延床面積(㎡)	園児数 (在籍園児の月平均、単位:人)	費用 (トータルコスト、千円)
津久戸幼稚園	530	38	22,827
市谷幼稚園	677	66	30,298
早稲田幼稚園	742	49	31,019
鶴巻幼稚園	767	63	33,469
牛込仲之幼稚園	521	61	30,027
余丁町幼稚園	413	52	29,386
四谷第六幼稚園	679	60	36,608
花園幼稚園	429	46	35,605
大久保幼稚園	635	56	25,676
戸塚第二幼稚園	736	63	33,364
落合第三幼稚園	434	54	32,360
落合第四幼稚園	769	45	35,474
淀橋第四幼稚園	618	57	31,838
西戸山幼稚園	544	77	64,317

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト(円)} \div \text{延床面積(㎡)}$$

施設規模当たりコストの平均は 55,600 円/㎡です。施設によって差があり、小学校併設ではない西戸山幼稚園がもっとも高くなっており、もっとも低い大久保幼稚園の 2.9 倍となっています。

図表 2-3-12-(6)-2 幼稚園の施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

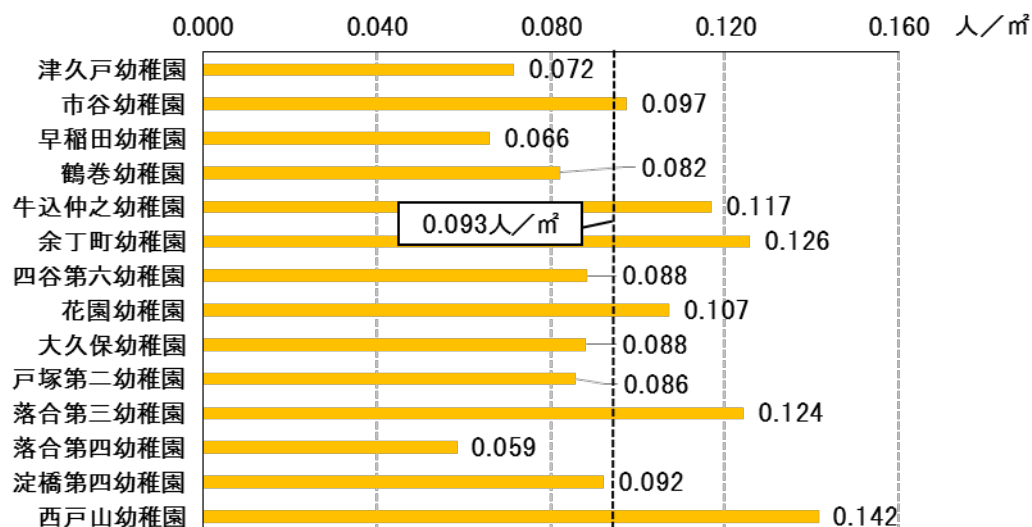


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{在籍園児数の月平均（人）} \div \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は 0.093 人／㎡です。施設によって差があり、もっとも高い西戸山幼稚園は、もっとも低い落合第四幼稚園の 2.4 倍となっています。

図表 2-3-12-(6)-3 幼稚園の施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

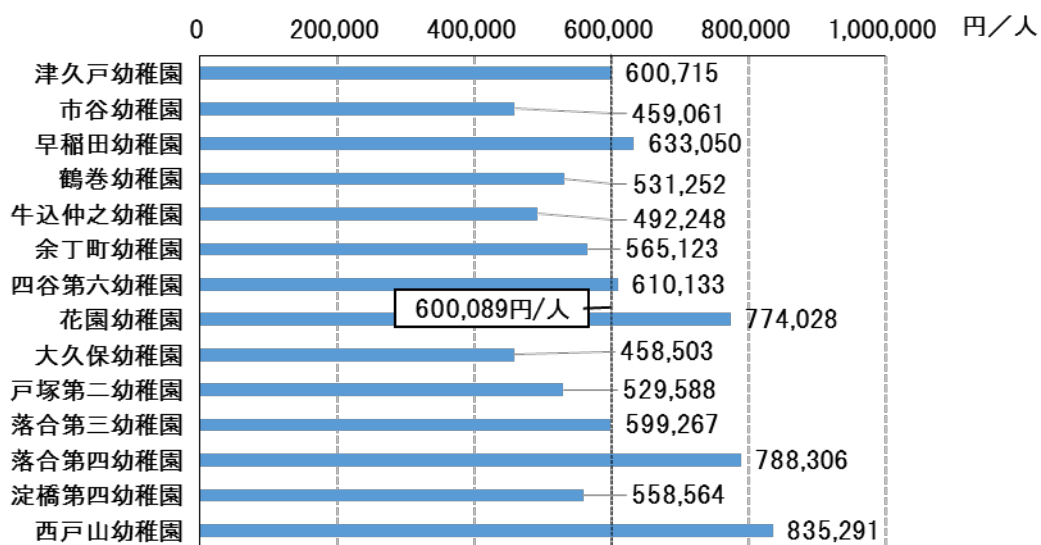


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} \div \text{在籍園児数の月平均（人）}$$

利用度当たりコストの平均は 600,089 円／人です。もっとも高い西戸山幼稚園は、もっとも低い大久保幼稚園の 1.8 倍となっています。

図表 2-3-12-(6)-4 幼稚園の利用度当たりコスト(平成 26 年度)

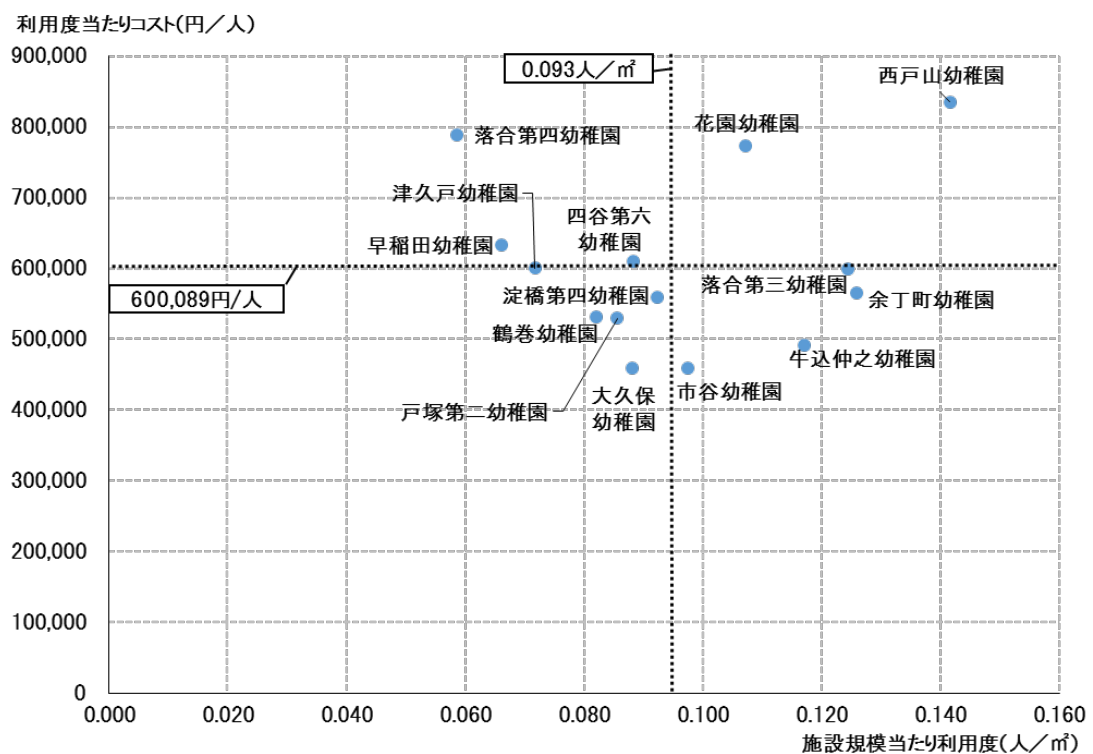


④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には、余丁町幼稚園及び牛込仲之幼稚園などが属しています。

施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には、落合第四幼稚園、早稲田幼稚園などが属しています。

図表 2-3-12-(6)-5
幼稚園の施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況(平成 26 年度)



【幼稚園のまとめ】

- 区立幼稚園は 14 園あります。
- 供用開始後 30 年以上経過した幼稚園の割合は延床面積ベースで 82.4%と老朽化度は非常に高くなっています。昭和 40 年代～50 年代に建設された施設が多いことが理由です。
- 年間トータルコストは 4.72 億円です。うち人件費が 4.34 億円となっています。
- 施設規模当たりの利用度（在籍園児数）の平均は 0.093 人/㎡で、利用度（在籍園児数）当たりコストの平均は 600,089 円/人となっています。

13 子育て支援施設／児童館等

(1) 施設概要

児童館は、0歳～18歳までの子どもとその保護者が利用できる施設です。遊戯室、音楽室、図書室などが利用できるほか、講座・行事の実施や、乳幼児の居場所づくり、育児相談も行っています。区内には15館あり、いずれも、地域交流館や子ども園などとの複合施設となっています。

また、すべての児童館内に学童クラブを開設しています。

なお、子ども総合センター及び4か所の子ども家庭支援センター内にある「児童コーナー」も児童館と同様の機能を有しています。

図表 2-3-13-(1)-1 児童館等の施設概要(1)

施設名	所在地	延床面積(㎡)	供用開始年度	構造	併設施設	備考
本塩町児童館	本塩町8番地	596	平成3	RC	本塩町地域交流館・本塩町備蓄倉庫	
東五軒町児童館	東五軒町5番24号	253	昭和40	RC	東五軒町地域交流館・東五軒町保育園	
北山伏児童館	北山伏町2番17号	858	昭和45	RC	北山伏地域交流館	
中町児童館	中町25番地	293	昭和58	RC	中町地域交流館・あいじつ子ども園(乳児園舎)・中町図書館	
薬王寺児童館	市谷薬王寺町51番地	965	昭和45	RC	薬王寺ことぶき館	
早稲田南町児童館	早稲田南町50番地	398	昭和47	RC	早稲田南町地域交流館・早稲田南町保育園	
富久町児童館	富久町22番21号	606	平成14	S	富久町保育園	
百人町児童館	百人町二丁目18番21号	467	昭和49	RC	百人町地域交流館・百人町保育園	
高田馬場第一児童館	高田馬場三丁目18番21号	760	昭和52	RC	戸塚第三小学校	
高田馬場第二児童館	高田馬場一丁目4番17号	498	昭和46	RC	高田馬場第二ことぶき館(平成27年4月から高田馬場地域交流館)・高田馬場第二保育園	
上落合児童館	上落合二丁目28番8号	510	昭和59	SRC	上落合地域交流館	土地は個人から賃貸借契約により借用
西落合児童館	西落合一丁目31番24号	686	昭和47	RC	西落合子ども園	
中井児童館	中井一丁目8番12号	381	昭和38	RC	おちごなかい子ども園(乳児園舎)	
北新宿第一児童館	北新宿二丁目3番7号	468	平成6	RC	柏木特別出張所・柏木地域センター・柏木子ども園(乳児園舎)・北新宿地域交流館	
西新宿児童館	西新宿四丁目35番28号	444	昭和61	RC	西新宿子ども園・西新宿小学校	
子ども総合センター	新宿七丁目3番29号	5,321	平成22	RC	地域文化部新宿七丁目事務所(しごと棟)	延床面積には子ども総合センター内タイムケアゾーン、新宿ここから広場 談話コーナー・更衣室等を含む
信濃町子ども家庭支援センター	信濃町20番地	1,251	昭和46	RC	信濃町シニア活動館・しなのまち子ども園	
榎町子ども家庭支援センター	榎町36番地	1,307	平成5	SRC		
中落合子ども家庭支援センター	中落合二丁目7番24号	696	昭和52	RC	中落合地域交流館・中落合第二保育園	
北新宿子ども家庭支援センター	北新宿三丁目20番2号	539	昭和56	RC	北新宿第二地域交流館・北新宿子ども園・北新宿図書館・北新宿生涯学習館・北新宿防災倉庫	

平成 27 年 4 月現在、15 館のうち直営が 3 館、指定管理者が 12 館となっています。
 中井児童館は平成 26 年度まで直営でしたが、27 年度から指定管理者に移行しました。
 子ども総合センター及び 4 か所の子ども家庭支援センターはすべて直営です。

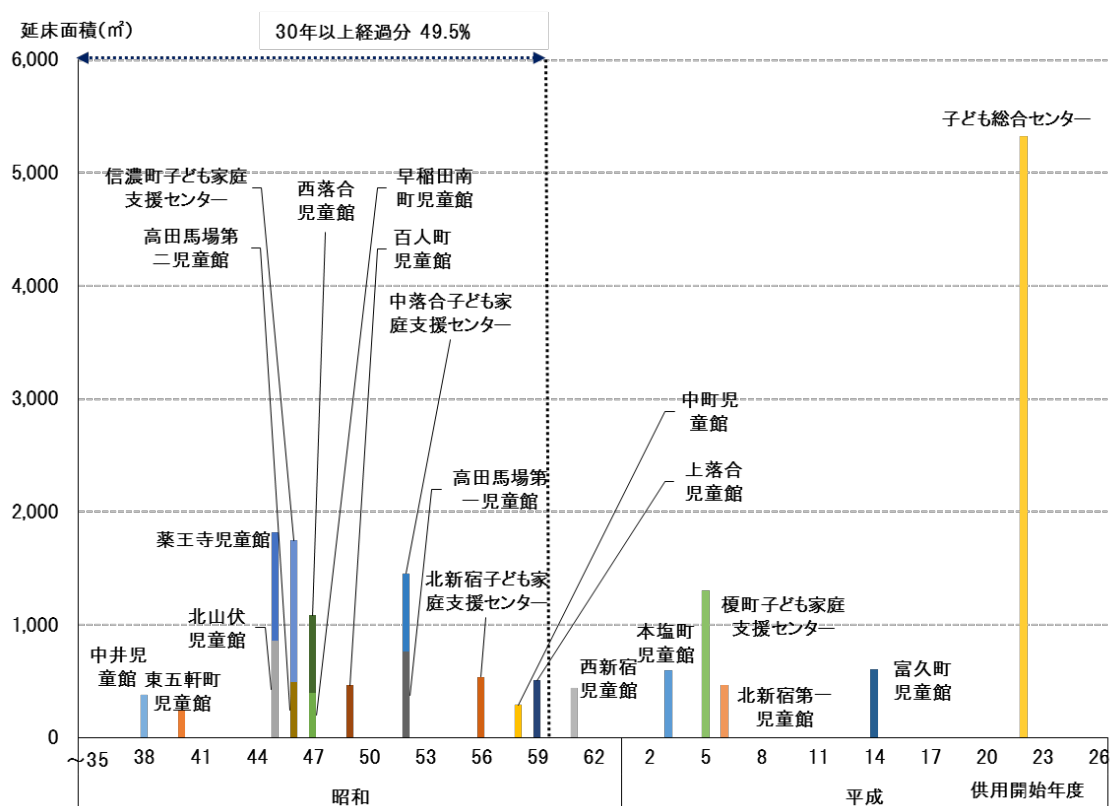
図表 2-3-13-(1)-2 児童館等の施設概要(2)

施設名	運営体制	開館日・開館時間
薬王寺児童館 高田馬場第二児童館 西落合児童館	直営	月曜～金曜:9:30～18:00 (区立学校長期休業日は 9:00～18:00) 土・日曜、祝日:9:00～17:00 休館日:年末年始
本塩町児童館 東五軒町児童館 北山伏児童館 中町児童館 早稲田南町児童館 富久町児童館 百人町児童館 高田馬場第一児童館 上落合児童館 中井児童館 北新宿第一児童館 西新宿児童館	指定管理者	9:00～18:00 休館日:年末年始
子ども総合センター	直営	子どもと家庭の総合相談 平日・土曜 8:30～19:00 日曜・祝日 8:30～17:00(電話相談のみ) 親と子のひろば・児童コーナー 平日 9:30～18:00(中学生以上は 19:00 まで) 土・日曜・祝日 9:00～18:00 学校休業日 9:00～18:00(中学生以上は 19:00 まで) 発達支援(電話相談) 平日 9:00～18:00 土曜 9:00～17:00
信濃町子ども家庭支援センター 榎町子ども家庭支援センター 中落合子ども家庭支援センター 北新宿子ども家庭支援センター	直営	子どもと家庭の総合相談 平日 8:30～17:00 土曜 9:30～18:00(来所相談のみ) 親と子のひろば・児童コーナー 9:30(学校休業日の平日は 9:00 から)～18:00(中学生以上は 19:00 まで) 土・日曜・祝日 9:30～18:00

(2) 老朽化度

供用開始後 30 年以上経過した施設の割合は、延床面積ベースで 49.5%となっています。しかし、面積の大きい子ども総合センターが平成 22 年度竣工と新しい一方で、児童館の多くは昭和 40～50 年代に建設されています。このため、児童館だけを見ると、30 年以上経過した施設の割合は 7 割以上と老朽化度は高くなっています。

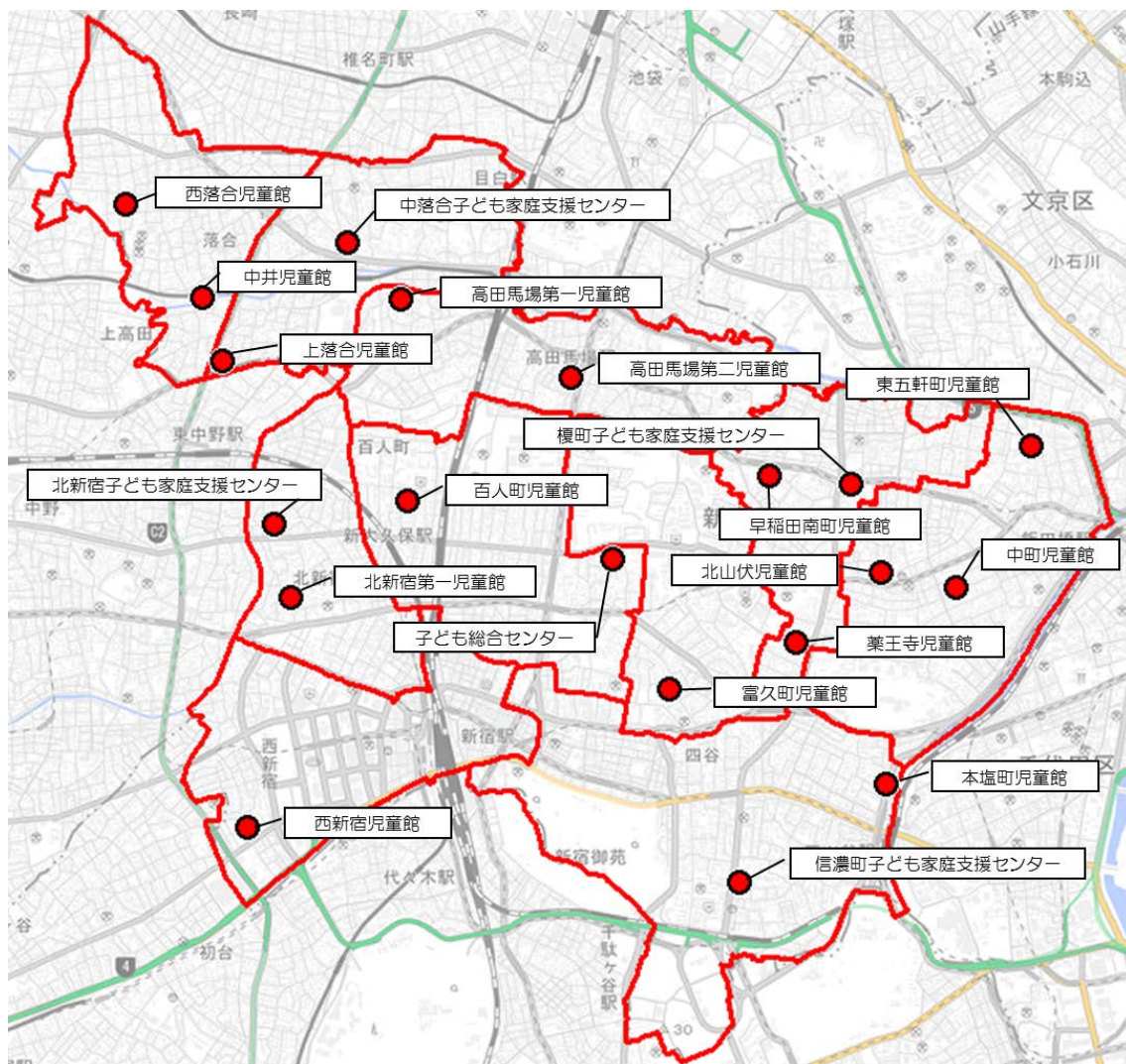
図表 2-3-13-(2) 児童館等の供用開始年度別延床面積



(3) 施設配置状況

児童館等の配置状況は、下図のとおりです。

図表 2-3-13-(3) 児童館の施設配置状況



(4) 利用状況・運営状況

平成 26 年度の利用実績は次のとおりです。

なお、定員に対してどの程度利用されているかを考慮するため、参考に利用率^(※)も併記します。子ども総合センター及び 4 か所の子ども家庭支援センターに関しては、児童コーナーのみの定員と利用人員を掲載しました。

(※) 利用率＝利用人員÷(定員×開館日数(359日))

図表 2-3-13-(4)-1 児童館等の定員・利用人員(平成 26 年度)

施設名	定員 (人)	利用人員 (人)	【参考】 利用率
本塩町児童館	100	18,475	51%
東五軒町児童館	70	27,533	110%
北山伏児童館	100	16,938	47%
中町児童館	100	18,901	53%
薬王寺児童館	140	20,192	40%
早稲田南町児童館	80	17,490	61%
富久町児童館	110	36,583	93%
百人町児童館	140	28,738	57%
高田馬場第一児童館	185	39,906	60%
高田馬場第二児童館	150	29,822	55%
上落合児童館	100	33,927	95%
西落合児童館	165	44,126	74%
中井児童館	90	14,248	44%
北新宿第一児童館	90	31,270	97%
西新宿児童館	100	21,961	61%
子ども総合センター	120	51,735	120%
信濃町子ども家庭支援センター	140	30,717	61%
榎町子ども家庭支援センター	150	45,923	85%
中落合子ども家庭支援センター	120	51,429	119%
北新宿子ども家庭支援センター	100	24,203	67%

直営の児童館 4 館^(※)、子ども総合センター及び 4 か所の子ども家庭支援センターの職員配置状況は下表のとおりです。

※ このうち、中井児童館は平成 27 年 4 月から指定管理者制度を導入しています。

図表 2-3-13-(4)-2 児童館等の職員配置(平成 26 年度、単位:人)

施設名	常勤職員	再任用職員	区政推進員等	事業費非常勤	職員数合計
薬王寺児童館	4.5	0	1	0	5.5
高田馬場第二児童館	5.5	1	0.5	0	7
西落合児童館	5	0	0	0	5
中井児童館	5	0	0	0	5
子ども総合センター	42	9	5	28	84
信濃町子ども家庭支援センター	6	1	0	6	13
榎町子ども家庭支援センター	7	1	0	9	17
中落合子ども家庭支援センター	7	0	0	7	14
北新宿子ども家庭支援センター	6	0	0	6	12

※他の施設等と兼務の職員が配置されている場合は、0.5 人で計上しています。

(5) コスト状況

平成 26 年度の児童館等の年間費用：トータルコストは 17.56 億円です。このうち人件費は 9.97 億円となっています。

児童館のうち指定管理者が運営する 11 館（平成 26 年度現在）のコストの内訳は、指定管理料を含む施設管理経費が多くを占めています。薬王寺児童館、高田馬場第二児童館、西落合児童館及び中井児童館は直営^(※)のため、人件費を計上しています。

同様に、直営の子ども総合センター及び 4 か所の子ども家庭支援センターのコストの大半は人件費です。

※ 中井児童館は平成 27 年 4 月から指定管理者制度を導入しています。

図表 2-3-13-(5)-1 児童館等の施設別行政コスト計算書(平成 26 年度、単位：千円)

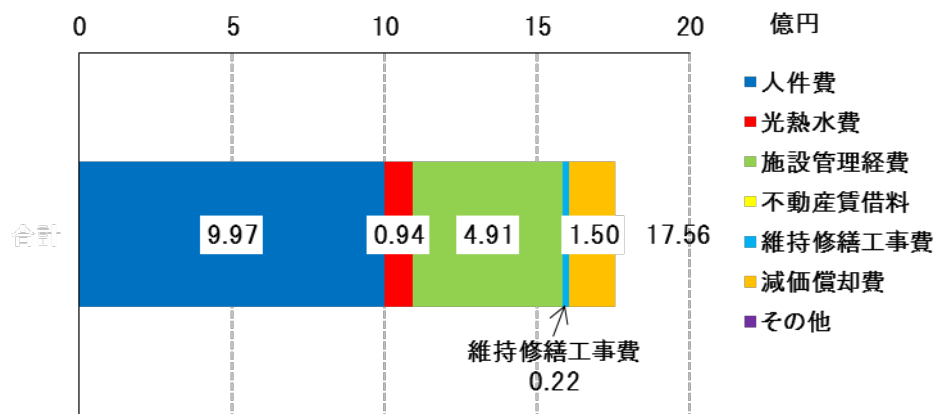
	本塩町 児童館	東五軒町 児童館	北山伏 児童館	中町児 童館	薬王寺 児童館	早稲田南 町児童館
費用(トータルコスト)	44,170	35,263	38,043	36,368	58,974	32,873
人件費	0	0	0	0	42,760	0
光熱水費	3,365	3,134	3,526	0	4,276	0
施設管理経費	30,475	31,880	29,235	30,369	4,615	28,813
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	239	250	736	369	2,069	1,200
減価償却費	10,092	0	4,547	5,630	5,254	2,860
その他	0	0	0	0	0	0
収入	176	0	97	68	698	298
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	176	0	0	68	687	298
その他	0	0	97	0	10	0
収支差額(ネットコスト)	43,994	35,263	37,946	36,300	58,276	32,575

	富久町 児童館	百人町 児童館	高田馬場 第一児童館	高田馬場 第二児童館	上落合 児童館	西落合 児童館
費用(トータルコスト)	64,858	40,856	50,259	72,070	46,509	64,111
人件費	0	0	0	54,455	0	44,685
光熱水費	10,241	0	869	7,347	3,408	9,591
施設管理経費	46,210	37,948	45,786	2,652	35,439	5,757
不動産賃借料	0	0	0	0	1,481	0
維持修繕工事費	885	416	38	1,230	539	663
減価償却費	7,522	2,493	3,566	6,386	5,642	3,414
その他	0	0	0	0	0	0
収入	0	0	0	293	0	57
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	221	0	57
その他	0	0	0	72	0	0
収支差額(ネットコスト)	64,858	40,856	50,259	71,777	46,509	64,054

	中井 児童館	北新宿第 一児童館	西新宿 児童館	子ども総合 センター	信濃町子ど も家庭支援 センター	榎町子ども 家庭支援セ ンター
費用(トータルコスト)	48,512	41,761	40,211	593,009	96,375	135,623
人件費	44,685	0	0	490,929	74,688	92,143
光熱水費	0	0	3,047	15,102	8,815	3,298
施設管理経費	3,272	33,631	30,968	49,919	5,610	14,153
不動産賃借料	0	0	0	0	0	0
維持修繕工事費	555	173	2,278	3,923	426	2,646
減価償却費	0	7,957	3,918	33,136	6,836	23,382
その他	0	0	0	0	0	0
収入	0	0	0	6,498	54	385
利用料金等	0	0	0	0	0	0
国・都補助金	0	0	0	2,093	54	308
その他	0	0	0	4,404	0	77
収支差額(ネットコスト)	48,512	41,761	40,211	586,511	96,321	135,237

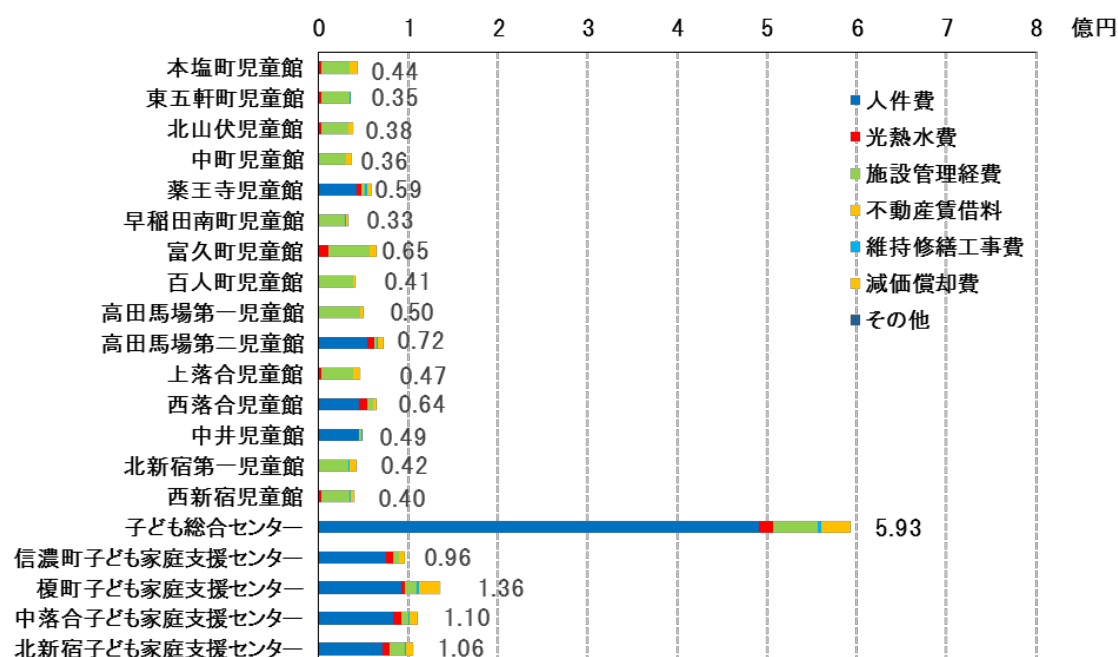
	中落合子ど も家庭支援 センター	北新宿子ど も家庭支援 センター	合計
費用(トータルコスト)	110,489	105,600	1,755,933
人件費	82,435	70,658	997,438
光熱水費	9,434	8,304	93,756
施設管理経費	7,693	16,524	490,949
不動産賃借料	0	0	1,481
維持修繕工事費	1,522	1,765	21,920
減価償却費	9,406	8,349	150,389
その他	0	0	0
収入	531	522	9,677
利用料金等	0	0	0
国・都補助金	464	324	4,751
その他	67	198	4,926
収支差額(ネットコスト)	109,958	105,078	1,746,256

図表 2-3-13-(5)-2 児童館等のトータルコスト(平成 26 年度)



施設別にみると、児童館の中では、高田馬場第二児童館が7,200万円となっているほかは、3,000万円～6,000万円台となっています。子ども総合センターは5.93億円で、4カ所の子ども家庭支援センターは1億円前後です。

図表 2-3-13-(5)-3 児童館等の施設別トータルコスト比較(平成26年度)



(6) コスト比較分析

ここでは、行政コスト計算書、施設規模及び利用度の数値により、施設のコスト分析を行います。子ども総合センター及び4カ所の子ども家庭支援センターは、事業内容が多岐にわたり、利用度となる指標の設定が困難であるため、ここでは児童館のみで比較分析を行います。

施設規模は延床面積(㎡)、コストは年間費用：トータルコスト(円)、利用度は各園の利用人員(人)の数値を用いることとします。

コスト分析としては、

- ① 施設規模当たりコスト：コスト／延床面積(円／㎡)
- ② 施設規模当たり利用度：利用人員／延床面積(人／㎡)
- ③ 利用度当たりコスト：コスト／利用人員(円／人)

の3つのコスト指標により比較分析を行います。

図表 2-3-13-(6)-1 児童館の施設別施設規模・利用度・コスト比較(平成 26 年度)

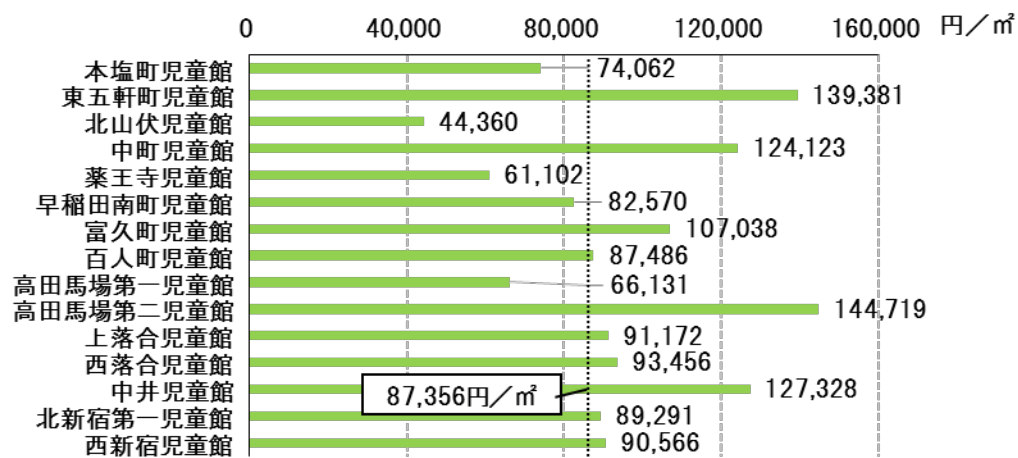
施設名	延床面積(㎡)	利用人員(人)	費用 (トータルコスト、千円)
本塩町児童館	596	18,475	44,170
東五軒町児童館	253	27,533	35,263
北山伏児童館	858	16,938	38,043
中町児童館	293	18,901	36,368
薬王寺児童館	965	20,192	58,974
早稲田南町児童館	398	17,490	32,873
富久町児童館	606	36,583	64,858
百人町児童館	467	28,738	40,856
高田馬場第一児童館	760	39,906	50,259
高田馬場第二児童館	498	29,822	72,070
上落合児童館	510	33,927	46,509
西落合児童館	686	44,126	64,111
中井児童館	381	14,248	48,512
北新宿第一児童館	468	31,270	41,761
西新宿児童館	444	21,961	40,211

①施設規模当たりコスト

$$\text{施設規模当たりコスト} = \text{コスト(円)} \div \text{延床面積(㎡)}$$

施設規模当たりコストの平均は 87,356 円/㎡です。施設によって差があり、もっとも高い高田馬場第二児童館は、もっとも低い北山伏児童館の 3.3 倍となっています。

図表 2-3-13-(6)-2 児童館の施設規模当たりコスト(平成 26 年度)

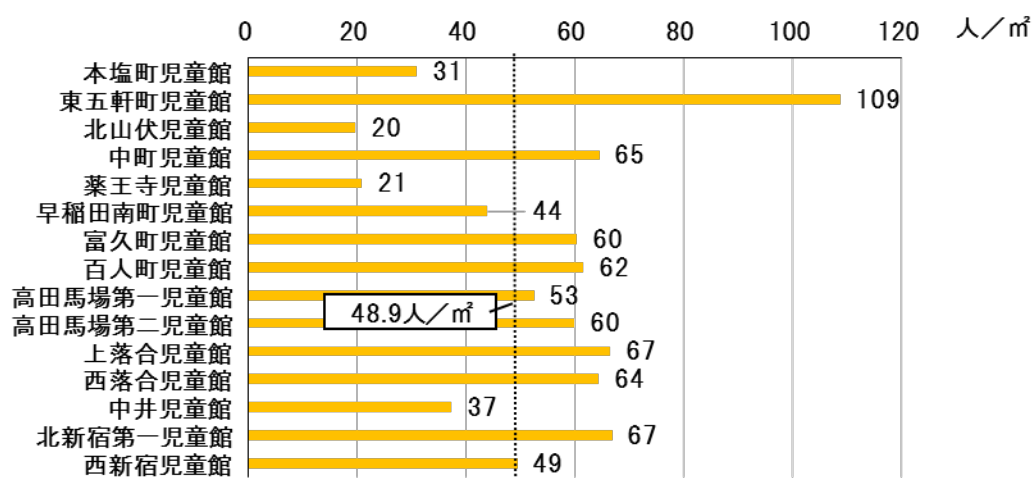


②施設規模当たり利用度

$$\text{施設規模当たり利用度} = \text{利用人員（人）} / \text{延床面積（㎡）}$$

施設規模当たり利用度の平均は 48.9 人／㎡です。施設によって大きな差があり、もっとも高い東五軒町児童館は、もっとも低い北山伏児童館の 5.5 倍となっています。

図表 2-3-13-(6)-3 児童館の施設規模当たり利用度(平成 26 年度)

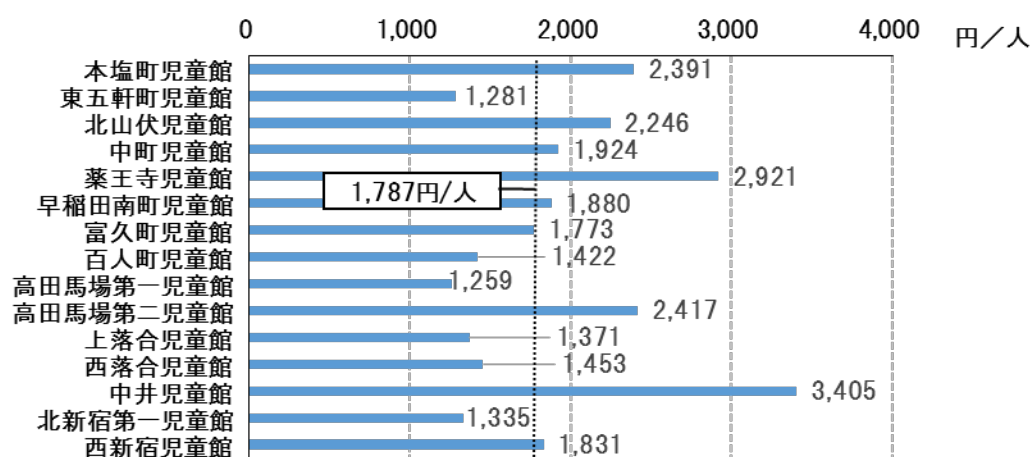


③利用度当たりコスト

$$\text{利用度当たりコスト} = \text{コスト（円）} / \text{利用者数（人）}$$

利用度当たりコストの平均は 1,787 円／人です。施設によって差があり、もっとも高い中井児童館は、もっとも低い高田馬場第一児童館の 2.7 倍となっています。

図表 2-3-13-(6)-4 児童館の利用度当たりコスト(平成 26 年度)



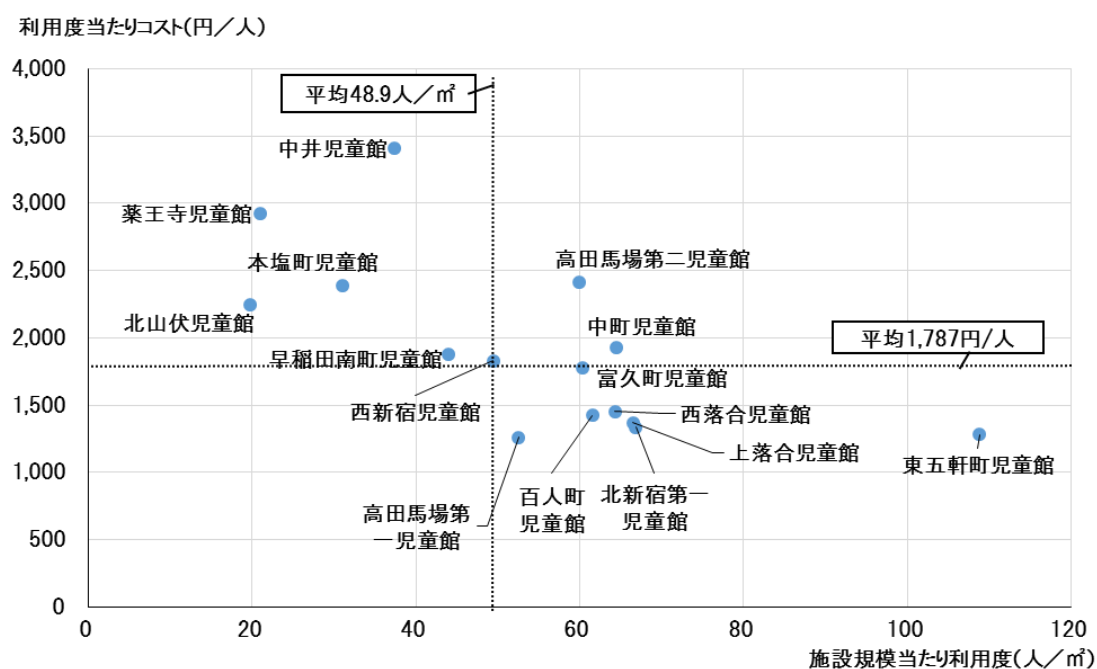
④利用度を用いたコスト分析

施設規模当たり利用度が高く利用度当たりコストが低いグループ（右下）には東五軒町児童館、北新宿第一児童館及び上落合児童館などが属しています。

施設規模当たり利用度が低く利用度当たりコストが高いグループ（左上）には薬王寺児童館及び中井児童館などが属しています

図表 2-3-13-(6)-5

児童館の施設規模当たり利用度と利用度当たりコストの状況（平成 26 年度）



【児童館等のまとめ】

- 児童館等には、児童館(15)、子ども総合センター及び子ども家庭支援センター(4)があります。
- 供用開始後 30 年以上経過した児童館等の割合は延床面積ベースで 49.5%となっています。
- 児童館等のトータルコストは 17.56 億円です。このうち人件費は 9.97 億円となっています。
- 共通の利用度指標のある児童館に係る施設規模当たりの利用度（利用人員）の平均は 48.9 人/㎡で、利用度（利用人員）当たりコストの平均は 1,787 円/人となっています。